

札幌・ポートランド



姉妹都市提携60年のあゆみ



SINCE 1959

札幌・ポートランド 姉妹都市提携60年のあゆみ

目 次

■ あいさつ

札幌市長 秋元 克広	2
ポートランド市長 テッド・ウィーラー	3
札幌姉妹都市協会 会長 福迫 尚一郎.....	4
ポートランド・札幌姉妹都市協会 前会長 マイケル・ベーコン	4
在札幌米国総領事館 総領事 アンドリュー・リー	5
在ポートランド領事事務所 前総領事 寺岡 敬	5

■ 60周年記念事業を振り返って

新たな取組	6
札幌からポートランドへ	10
ポートランドから札幌へ	16
その他 60周年関連事業	20

■ 姉妹都市交流のあらまし

姉妹都市提携への道のり	22
姉妹都市交流の概要	23
具体的な交流事業	23
ポートランドで学ぶための取組	27
札幌姉妹都市協会	28
ポートランド・札幌姉妹都市協会	29
市民ボランティアに支えられた国際交流	30
60年のあゆみ	33

■ オレゴン州とポートランド市の概要

オレゴン州	54
ポートランド市	56

■ 資料編

盟約書、決議文、合意書	60
姉妹提携団体一覧	69
主な姉妹都市関係寄贈品及び施設	71
姉妹都市活動受賞一覧	73
歴代ポートランド市長・ポートランド市機構図	74

札幌・ポートランド姉妹都市提携 60 周年を迎えて

札幌市長 秋元 克広



2019年、札幌市とポートランド市は姉妹都市提携60周年を迎えました。この姉妹都市交流は、両市にとって最も古い関係であるのみならず、草の根の活動により様々な分野の交流が充実する『姉妹都市交流のモデル』として高い評価を受けている、素晴らしい交流です。

6月には、姉妹都市提携60周年を記念した訪問団を結成し、ポートランドを訪問しました。訪問中に、北海道大学のポートランドオフィス開所や北海道日米協会とオレゴン米日協会による姉妹協会再調印、札幌とポートランドの若手起業家交流など、様々な分野の様々な年代が活発に交流に取り組んだことは、今後の姉妹都市交流の充実に弾みをつけることでしょう。他にも、平和の梵鐘の移設式を兼ねた60周年記念式典、ポートランド日本庭園で行われたアイヌ民族の伝統芸術を取り上げた展示会も開催され、先住民への感謝の想いと60年の歴史の重み、将来への展望を感じることができる素晴らしいイベントでした。

10月には、ウィーラー市長をはじめとする訪問団を札幌にお迎えし、改修を行ったベンソンの水飲み、今回寄贈を受けた平和の燈籠、雨水浸透型花壇など、ポートランド所縁の場所を見学いただきました。地震対策先進国であり、大きな震災を経験した札幌から学びたいというご要望に応え、札幌都心の防災対応施設の視察なども行いました。この滞在中には、札幌とポートランドの高校生同士の交流を支える協定が締結され、未来の姉妹都市交流を担う若者を育む重要な一歩となりました。

また、市民による60周年を記念する事業も多数生まれました。戦前にポートランドで発行されていた日本語新聞の現代語訳プロジェクトでは、両市のボランティアが多数参加し交流を深めました。また、ポートランドの特徴あるカルチャーの一つであるクラフトビールが繋ぐ交流として、札幌の醸造家がポートランドの醸造所を訪問して醸造した記念ビールや、両市の市民が企画し、協定書に署名した11月17日に両市をオンラインでつないで行った乾杯パーティなど、草の根の交流を象徴する取組やイベントが多数、行われました。

60年前に姉妹都市提携を結んだ札幌市とポートランド市は、その長きにわたる姉妹都市交流の中で、それぞれの市民が、お互いの文化や優位性を知り、学び、実践することで、それぞれのまちの魅力を高めてきました。先人のこれらの功績に感謝の念を持ち、この深い絆を礎とし、これからも皆で一緒に、より一層輝く姉妹都市交流を続けていきましょう。

60周年に寄せて

ポートランド市長 テッド・ウィーラー



2019年の6月に秋元市長と札幌の60周年訪問団をポートランドにお迎えできたことは、私にとって最大の喜びでした。60周年記念式典の一環として、10月に札幌の魅力に直接触れる機会にも恵まれました。どちらの機会でも、豊かな歴史と文化、革新的なサステナビリティの実践、そして私たちの2つの都市とコミュニティの真のつながりに圧倒されました。札幌は本当に特別な街です。

60年前、第二次世界大戦からわずか14年後であった当時は、今とは大きく異なる時代でしたが、私たちの都市は平和を育み、数十年後に私たちを結びつけることとなる人と人のつながりを築く必要性を認識していました。このような友好関係から、私たちの都市は、文化的にも経済的にも強い国際的な結びつきを持ち続けています。過去60年に

わたり、学生、教師、芸術家、アスリート、政府関係者、専門家の交流、その他の多くの人脈を通じた訪問団の訪問を通じて、両市の市民の間で何千もの個人的な交流が行われ、その絆はさらに深まってきました。

2018年、ポートランドではこの種のサミットとしては初となる「第1回民族サミット」が開催されました。長い時間が経過してしまいましたが、多民族政府を認識し、協力するための活動を誇りに思っています。これと同じ精神で、ポートランド日本庭園では、北海道と太平洋岸北西部の先住民族の芸術性に光を当てるアイヌとネイティブアメリカンの木彫りの美術展が開催されました。アイヌの人々は、太平洋岸北西部のネイティブアメリカンと同様に、両国の歴史の中で共通している部分があり、太平洋が障壁ではなく、両国の架け橋となっていることを感じさせてくれます。過去、現在、未来を認識することで、私たちは何世代にもわたってこの理解を共有することができ、このような交流をさらに60年間続けていくことができるのです。

札幌ポートルンド 姉妹都市提携60周年を迎えて

札幌姉妹都市協会
会長 福迫 尚一郎

札幌市とポートルンド市は、1959年の姉妹都市提携から、市、団体、市民など、様々な形で交流を続け、今年60周年を迎えました。市民訪問団の団長として6月にポートルンドを訪れた際には、心のこもったおもてなしを受け、素晴らしい思い出となりました。また10月には、ポートルンドから親善訪問団を札幌にお迎えし、ともに記念すべき節目の年を祝うことができました。

札幌とポートルンドは、この60年間、色々な分野の交流を通じて、互いに学びあってきました。札幌は、ポートルンドの優れたまちづくりや環境意識を学ぶだけでなく、“市民同士の草の根交流”を通じて、ボランティア活動が盛んなポートルンドから、その先進事例なども学んでまいりました。

集大成ともいえる「央州日報プロジェクト」では、20世紀初頭のポートルンドで発行されていた日本語新聞「央州日報」の207ページもの記事を、両市の市民ボランティアが協力して現代の英語に翻訳しました。私も、市民ボランティアのひとりとして、この歴史的プロジェクトに参加し、姉妹都市交流の新たな形を見ることができました。

60周年は、暦が一巡する「還暦」です。両市の友情がここまで長く続いたことは、60年前に姉妹都市提携を実現させた方々やこれまで交流をつないでこられた皆様のお力によるものです。この素晴らしい交流が、今後もさらに続いていくことを祈念するとともに、引き続き、姉妹都市交流へのご理解とご協力をお願いいたします。

60周年：平和の鐘を鳴らせ

ポートルンド・札幌姉妹都市協会
前会長 マイケル・W・ベーコン

昨年は、札幌とポートルンドの両市民が、過去を振り返り、現在を祝い、次の60年とその先の永続的な友好関係について考えるために、様々な形で交流し、集う素晴らしい機会となりました。太平洋の両側にいる多くの友人やパートナーと協力して、この喜ばしい出来事を祝福する役割を担えたことは、謙虚な気持ちになるとともに、光栄なことでした。

30年以上前、ポートルンド市は素晴らしい贈り物を受け取りました。札幌市が、姉妹都市提携30周年を記念して、美しい梵鐘を寄贈してくださったのです。第二次世界大戦後にアイゼンハワー大統領が提唱した姉妹都市構想の精神の下、この贈り物は友情と平和を象徴するものとなり、心配事や祝事に際して市民が鐘を鳴らしてきました。その後、この鐘は「札幌平和の鐘」として知られるようになりました。2020年6月には、札幌から秋元市長と60周年記念訪問団がお越しになり、ポートルンドのウィーラー市長や市民とともに、この二つの素晴らしい都市の友情と平和の大切さを祝いました。

私たちは鐘を鳴らしました。

昨年、私たちはもう一つの贈り物をいただきました。オレゴンコンベンションセンターの工事のため、札幌平和の鐘をセンターの南東の角に移動することになったのですが、この新たな設置場所は、すべての人が過去を再認識し、60周年という今を祝い、活気に満ちた革新的な私たちの都市のすべての人々が共有すべきこの友情の未来、そしてその友情に対する新たな誓いを思い描く機会を与えてくれました。札幌とポートルンドの先住民の代表者も、格言と歌と踊りで式典に参加しました。

私たちは鐘を鳴らしました。

未来に向かうにあたり、ポートルンド・札幌姉妹都市協会の使命は、ポートルンドと札幌の人々の交流を通じて、友好と相互理解を促進し、より平和的で持続可能な世界の基盤を築くことにあります。そのためにも、札幌とポートルンドの過去・現在・未来のすべての人々を繋ぎ続けていきたいと考えています。

私たちは再び鐘を鳴らします。

全ての人に平和と善意を

札幌・ポートランド 友情の花を咲かせ続けよう

在札幌米国総領事館
総領事 アンドリュー・リー

昨年、日米で最も長い姉妹都市関係の一つである札幌・ポートランド姉妹都市提携 60 周年を秋元、ウィーラー両市長、そして両市の市民グループの方々と一緒にお祝いしました。秋元市長とロイヤルロザリアンが記念のバラの苗木の鉢にスコップを入れ、会場の全員が祝福するその様子は、7,000 キロ離れている両市の市民がまるで一つの大きな家族となったようでした。

どれだけ地理的に離れていても、ふれあう機会があれば、お互いにいかに共通点が多いかがわかります。だからこそ、姉妹都市関係は外交にとって不可欠な要素なのです。札幌市とポートランド市の場合は、開拓の歴史や周囲の自然環境を大切に作る姿勢などの共通点がいわば種となり、友情が芽生えました。そして 60 年に渡る相互訪問、異文化イベント、学生の交流がこの友情を育んできました。今日、両市は環境に配慮した地域づくりや独特の文化、起業家精神といった都市文化の花を咲かせ、それぞれの国で最も住みたいまちとして知られるようになりました。

60 年の交流という素晴らしい功績は、今後も続いていくでしょう。以前、私はポートランド訪問を終えたばかりの札幌市立大学の学生さん達に会いました。彼らは滞在中、ポートランド市民に日本についての印象をインタビューし、帰国してから、その模様をアートビデオにまとめました。作品からは、アメリカ人達が純粋に日本での暮らしに感心を抱いていることが伺えます。そして同時に、この映像を撮った若者達が自らの経験にワクワクし、また海外に行こうという気持ちになっている様子が見受けられました。

この様な若い情熱と異文化への好奇心が、両市の姉妹都市関係をさらに力強く育んでいくでしょう。記念すべき 60 周年おめでとうございます。今後もさらに多くの国際間の友情が生まれることを願っております。

札幌・ポートランド姉妹都市提携 60 周年記念誌の発行に寄せて

在ポートランド領事事務所
前総領事 寺岡 敬

札幌・ポートランド姉妹都市提携 60 周年を記念する記念誌が発行されますことを心よりお祝いを申し上げます。

私が在ポートランド領事事務所長・総領事を務めさせていただいた 2018 年 3 月から 2020 年 3 月の期間中、2019 年は姉妹都市提携 60 周年の年であり、秋元市長を始めとする札幌市の代表団のポートランド訪問、ウィーラー市長一行の訪日を始めてとして様々な交流事業が行われ、両市の関係は益々発展致しました。領事事務所の館員とともに、私も両市の協力関係の進展に微力ながらお手伝いできたことを大変嬉しく思っていると同時に、両市の市長を始めとする市役所関係者、経済、学術・教育、文化等の各界関係者、さらに多くの市民ボランティアの皆様の熱意とご努力に心より感謝する次第です。

札幌市とポートランド市の交流は、オレゴン州内で最も古くから交流が続けられている姉妹都市交流であるとともに、数多くの日本と米国の姉妹都市交流の中でも最も活発な交流の一つであります。現在の日米両国の緊密かつ友好的な関係は、長年に亘る市民同士の密接な交流がなければ実現できなかったものであり、将来に向けて札幌市とポートランド市のような姉妹都市関係が日米間で益々増え、両国の関係がより一層深まることを願ってやみません。

最後に、60 周年を契機として両市の姉妹都市交流が更なる発展を遂げられますよう祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

60周年記念事業を振り返って

新たな取組

今回の60周年では、60年という節目の年を迎えるにあたり、近年の周年事業とは異なる新たなアプローチによる取組を行いました。

○札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年事業連携連絡会議

「札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年事業連携連絡会議」は、ポートランド市との姉妹都市提携60周年に向け、産学官民の様々な主体が60周年に実施する様々な事業を共有し便宜を図り合うことで、記念周年に関わる事業を一体的に実施し、その事業効果効率を高めるため、周年前年である平成30年（2018年）5月に設置したものです。

連携連絡会議では、札幌市が行う各種事業の他、各構成団体やオブザーバー団体が行う事業を共有したことで、60周年記念訪問時の北大北米オフィスの開所式や市立大学のPacific Northwest College of Art (PNCA) との交流（P.24）への米国総領事館による支援などの成果にもつながりました。

連携連絡会議構成団体

代 表：札幌市 町田副市長
 事務局長：札幌市 総務局 市長室長（事務局：国際部）
 構成団体：札幌市（国際部、広報部、文化部、スポーツ部、国際経済戦略室、観光・MICE 推進部、議会事務局）、札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会、札幌市芸術文化財団、札幌市体育協会、札幌商工会議所、札幌物産協会、札幌観光協会、札幌青年会議所、札幌市立大学、札幌市立高校・特別支援学校長会、さっぽろ青少年女性活動協会、北海道日米協会、ポートランド・札幌姉妹都市協会



第1回連携連絡会議

■ 連携連絡会議開催状況

開催日	会議名	主な議題
2018年5月14日	第1回連携連絡会議	・会議設置と今後のスケジュールについて ・ポートランド側の予定事業について
2018年5月14日	第1回実務者会議	・第1回連携連絡会議の内容について ・60周年事業について
2018年9月3日	第1回コア会議	・事前協議団のポートランド出張報告 ・60周年に向けた事業検討状況の共有 ・12月実施の日本庭園 CEO 招請等について
2018年11月21日	第2回実務者会議	・ブレ事業の実施について ・60周年時の記念事業（予定）について ・60周年記念訪問団について ・寄贈品交換について
2019年3月12日	第3回実務者会議	・60周年ブレ事業開催結果 ・60周年記念訪問団派遣事業 ・60周年記念事業認定制度概要
2019年8月1日	第4回実務者会議	・60周年記念訪問団訪問結果の報告 ・10月のポートランド訪問団受入について

○ブレ事業の実施

札幌・ポートランド姉妹都市提携 60 周年事業連携連絡会議での活動を通じ、ポートランド市との姉妹都市提携 60 周年に向け、機運醸成を図るため周年前年の平成 30 年（2018 年）に 2 つのブレ事業が実施されました。

物産展「Sapporo Food Fair」

姉妹都市提携 60 周年に向け両市の文化と経済の交流を図るため、平成 30 年（2018 年）7 月に、連携連絡会議構成団体である札幌物産協会とポートランド・札幌姉妹都市協会の連携によりポートランド近郊の日系スーパー「宇和島屋」にて物産展「Sapporo Food Fair」が開催されました。

当該物産展は、60 周年本年である令和元年（2019 年）7 月にも開催され、この際はビーバートの店舗に加え、本部があるシアトル店でも開催されました。



物産展Sapporo Food Fair

記念フォーラムの開催

姉妹都市提携 60 周年に向けた機運醸成のため、平成 30 年（2018 年）12 月に札幌で記念フォーラムを開催しました。

当該イベントには、両市の姉妹都市提携を契機に造成され、現在ではポートランドでの日本文化の発信拠点ともなっているポートランド日本庭園 CEO の招へいによる基調講演を行った他、秋元市長をはじめとした関係者によるパネルディスカッションも実施しました。

また、日本庭園 CEO の来札がきっかけとなり、令和元年（2019 年）8 月にポートランド日本庭園で開催された札幌カルチャーフェスティバルの実現にもつながりました。



フォーラムの様子

■ 記念フォーラム「札幌・ポートランド～姉妹都市関係の未来」プログラム

(1) 札幌市職員研修成果発表「ポートランドの魅力と現在～まちづくりの成功とは」

(2) 基調講演「ポートランド日本庭園と姉妹都市」

ポートランド日本庭園 CEO スティーブン・D・ブルーム氏

(3) パネルディスカッション「札幌・ポートランド～姉妹都市関係の未来」

秋元克広 札幌市長

スティーブン・D・ブルーム ポートランド日本庭園 CEO

レイチェル・ブルネット-チェン 在札幌米国総領事館首席領事

枝川敏実 北海道新聞社編集局デジタル戦略担当部長（元同社ポートランド支局長）

【ファシリテーター】高橋 彩（北海道大学総長補佐・高等教育推進機構副機構長）

○ 札幌・ポートランド姉妹都市提携 60 周年記念事業認定制度

札幌市では、ポートランド市との姉妹都市提携 60 周年に合わせて、ポートランドや札幌の文化、芸術、スポーツ、学術、教育、経済、観光などの分野において、その魅力を紹介し理解を深めるために開催する事業、互いの交流と相互理解を促進する事業、両市の連携の強化に資する事業を認定する「札幌・ポートランド姉妹都市提携 60 周年記念事業制度」を創設し、合計 15 件の事業を認定しました。

この認定を受けた事業には、記念ロゴマークの使用が認められた他、これをモチーフにした缶バッチの提供やポートランド市や同市との交流を紹介するパネルの貸出も行われました。



記念ロゴマーク

<主な認定事業>

札幌食彩フェア

「札幌食彩フェア」は、北海道各地の食材を使用した料理を月替わりで提供するレストランフェアにおいて、札幌・ポートランド 60 周年をサブテーマに札幌産の食材を活用したポートランドを感じられる料理をホテルの館内レストランで提供したものです。

6 月に開催したフェアでは、ポートランドで有名なバラや個性的なドーナッツ、定番の中華料理などをモチーフにした料理の提供はもとより、フェアのチラシや館内でのパネル展示等を通じて両市の交流の歴史やポートランドの魅力を紹介しました。



食彩フェアチラシ



フェアで提供されたメニュー (ドーナッツ) の一例

60人ビールプロジェクト

「60人ビールプロジェクト」は、60人の有志で構成する委員会が札幌・ポートランド両市のクラフトビール醸造家や醸造所の協力のもと、60周年記念のコラボレーションビールを醸造・販売したものです。

このプロジェクトは、当該事業認定制度を活用し、市民有志の力で行われたもので、これまで培われた両市の姉妹都市交流を基盤に様々な主体が連携して事業が行われた60周年を象徴するプロジェクトの一つとなりました。

なお、プロジェクトで製作されたブルー（IPA）とオレンジ（WHEAT ALE）2種類の記念ビール缶には、それぞれ60周年の記念ロゴマークが付けられ、10月にポートランド市記念訪問団が来札した際に開催した記念レセプションの会場でも参加者に提供されました。



プロジェクトにより制作された
記念缶ビール

■ 認定事業一覧

	認定事業名	主催者
1	「央州日報」翻訳プロジェクト	オレゴン日系基金、札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会、ポートランド・札幌姉妹都市協会
2	やさしい英語で聞く 行ったつもりでポートランド	札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会
3	札幌市立高等学校・ポートランド市 高校生交流事業「帰国報告会」	札幌市立高等学校・特別支援学校校長会、札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会
4	ポートランド市民交流の旅	札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会
5	北海道大学ポートランドオフィス開所式 及びアンバサダー・パートナー委嘱式	国立大学法人北海道大学国際連携機構
6	札幌食彩フェア	株式会社ホテルオークラ札幌
7	60人ビールプロジェクト	札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念ビール委員会
8	姉妹校交流（宮の森小・リッチモンド小）	札幌市立宮の森小学校
9	朗読劇「青い目をしたお人形は」	NPO 法人ことばのひろば五億の鈴の音
10	さっぽろオクトーバーフェスト 2019	さっぽろオータムフェスト実行委員会 (会場管理：(株)ウエス)
11	さっぽろ市民カレッジ 札幌の姉妹都市 ポートランドの魅力	札幌市生涯学習センター
12	ポートランド親善訪問団受入	札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会
13	米国ポートランドを知るセミナー	札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会、北海道大学
14	札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年 「乾杯」パーティ	札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年 「乾杯」パーティ実行委員会
15	ポートランド&新さっぽろミニフォーラム	新札幌駅周辺地区G・I街区 開発エリアマネジメント準備組織

札幌からポートランドへ

2019年（令和元年）6月、札幌市とポートランド市の姉妹都市提携60周年を祝うため、札幌から78名の親善訪問団がポートランドを訪れました。

6月5日のポートランド空港でのロイヤルロザリアンによる歓迎式に始まり、60周年の記念式典、グランドフローラルパレード、そして最終日のフェアウェルパーティまで、4日間を通してポートランドの方々との温かいおもてなしに触れ、交流を深めました。

60周年記念式典では、30年前に札幌市が寄贈した「平和の鐘」の移設除幕式も行われ、両市の市長が60年に渡る両市の市民の友情の軌跡を振り返り、さらなる友好の発展を誓いました。

○ ポートランドでの主な行事

2019年（令和元年）

6月5日（水）

- ポートランド国際空港での歓迎式
- 行政視察（グラント高校日本語イマージョン教育、カルミネーションブルワリー、イーストサイド地区リノベーション事業）

6月6日（木）

- ポートランド全姉妹都市レセプション・パーティ
- 60周年記念式典・レセプション

6月7日（金）

- ロイヤルロザリアン名誉ナイト授与式
- 北海道大学北米ポートランドオフィス開所式
- ポートランド日本庭園先住民展オープニングレセプション

6月8日（土）

- ローズ・フェスティバル／グランドフローラルパレード
- 日系レガシーセンター視察・央州日報翻訳ボランティア特別表彰式参加
- フェアウェルパーティ



ポートランド市長と



札幌平和の鐘



グランドフローラルパレード

○ 親善訪問団の紹介

訪問団は、市民訪問団を含む民間交流団体が26名、経済訪問団26名、大学訪問団9名、市議会訪問団11名、市長訪問団6名の5つの団からなり、総勢78名が姉妹都市提携60周年記念訪問団としてポートランドを訪れました。



ポートランド空港での歓迎式



グラント高校イマージョン教育視察



ポートランド全姉妹都市レセプション



60周年記念式典



ポートランド日本庭園視察



フェアウェルパーティ



姉妹都市提携 60 周年記念事業に携わって

ポートランド日本庭園

CEO スティーブ・D・ブルーム

札幌のみなさん、こんにちは。

私たちの姉妹都市関係は、オレゴン州ポートランド市にとって最も長いだけでなく、全米で見ても最も歴史あるものの一つです。今年 61 年目を迎えるこの特別な絆と関係は、経済連携を推進し、私たちの国際的な繋がりは、文化的そして経済的にも両市に恩恵をもたらし続けています。

昨年、姉妹都市提携 60 周年を記念するため、札幌市より約 80 名の記念訪問団をポートランドへお迎えしました。ポートランド日本庭園も市を挙げての記念行事の一環として、北海道と札幌に注目したテーマのアート展覧会や文化プログラムを実施しました。

その一つが、アメリカ北西部の先住民族と北海道のアイヌの人々の共通点に注目したアート展「Forest of Dreams」で、オープニングには秋元克広市長にもお立ち合いいただきました。本展は、これまでにない着眼点より両文化を紹介するという他に類を見ない展覧会となりました。

また、このたびの大きな行事の一つに、30 年前に札幌市からポートランド市へ寄贈された梵鐘の移設除幕式がありました。弊園は「Forest of Dreams」展のために作成されたパワーボードと呼ばれる木彫りのモニュメント 2 基を同除幕式に合わせてポートランド市へ贈呈し、梵鐘と並んで設置されました。両市の過去から現在、そして未来に思いを馳せるこのうえない機会となったと思います。秋元市長とポートランドのテッド・ウィーラー市長の両市長も、この素晴らしい友好関係を高く評価しました。

私たちの文化の共通点は、太平洋が両国を隔てるものではなく、繋ぐものであることを思い出させてくれます。私たちには相違点以上に似ている点がありますし、視点を共有することは相互理解と調和に不可欠であると思います。

共に築いてきた絆は、両市の友好関係を更に深め、豊かにしてくれました。私たちはこのかけがえのない文化交流関係、そして何よりも友情を将来に継続していくために尽力していきます。



パワーボードと梵鐘



両市長と筆者(右)の記念写真



北海道大学北米ポートランドオフィス開所式

前 北海道大学理事・副学長
長谷川 晃

ポートランドと北海道大学の関わりは、1972年に始まったポートランド州立大学との協定校関係にあります。半世紀近く続く交流は、教育学、経済学、法学での教員連携から始まり、今も学生交流が続いています。

北海道大学では、ポートランド、札幌両市の姉妹都市提携60周年記念事業に合わせて、2019年6月7日に、ポートランド州立大学内「北海道大学北米ポートランドオフィス」の開所式を開催しました。開所式には、秋元市長をはじめとする札幌市役所、札幌姉妹都市協会、ポートランド・札幌姉妹都市協会等からの参加を頂き、ポートランド州立大学プロボストのスーザン・ジェフォース博士、ロン・ウィクザック国際部長とともに、オフィス開設の覚書への署名を行いました。

このオフィスは、北米における北海道大学の戦略的・組織的な国際連携を推進すべく、米国機関との教職員・学生双方の人的交流支援を行い、北米の情報収集拠点としての機能を担うこととなります。また、このオフィスは横浜国立大学との共同運営によるもので、両大学のロゴを用いて製作したオフィスプレートをオフィスに設置していますが、これは、一対一の連携以上の相乗的、効果的な活動を行いたいと考えている、両校の意識の表れです。

今般、本学は初めて記念訪問団に参加させて頂き、地域社会の一員としての大学であることや、産学官民で多角的に連携に関わり、長年の交流を更に広げていく可能性を、改めて強く感じました。北海道大学としても、次の提携65周年に向けて、両市の縁がいつそう深まるための一助となれればと考えております。



参加者集合写真



合意覚書と代表者(筆者は左)



姉妹都市ポートランドを訪れて

野口 良江
(市民訪問団参加者)

札幌市とポートランド市の姉妹都市提携 60 周年記念にあたり、秋元市長はじめ各関係機関団体総勢 80 名近い訪問団の一員として訪れたポートランドは、緑の豊かな街でした。新千歳空港での出発式、ポートランド空港では心のこもった歓迎式と本当に盛り沢山の公式行事が組み立てられ、私たちの宿泊ホテルから式典レセプション会場までは徒歩圏内の為市内を見学しながら移動。その中で私に関わる活動に参考になる箇所を見つけ驚きと関心を持ったのは、信号の四つ角ごとに設置された分別ゴミ収集ボックスです。ポートランド市民が街の景観を守る心意気だと思いながら会場へ。全てのレセプションでは多くのボランティアが活動され、手作りの心温まるおもてなしを受け、また感激です。

ホームビジットは、2 週間後札幌に短期交流で来る高校生のお宅に伺いました。4 人の高校生とその家族が集まり手作りパーティーでの歓迎。札幌での再会を約束し楽しく記念撮影。

グランドフローラルパレードでは飾りつけボランティアの体験、日頃手に出来ないほどのバラの花を惜しげもなく飾りました。多くの事を体験し、改めて今後の活路を見出せた訪問となり、この様に小さな市民間の交流が紡がれ 60 年継続できた姉妹都市、今後益々発展継続されますこと祈念いたします。

また、福迫会長はじめ札幌国際プラザの方々、そして現地通訳ボランティアの皆様、お世話になりました。訪問団で一緒できた皆様に感謝。

後記 札幌でのホームビジットと日本文化体験も良き思い出です。



ホームビジット



フローラルパレード飾り付けボランティア



札幌からの訪問団受入に携わって

ポートランド・札幌姉妹都市協会
理事 名取 洋子 グールディ

今回の60周年記念行事の準備では、過去の周年行事よりも早くから両市の間で緊密な話し合いが始められました。札幌市の国際部そして札幌国際プラザに比べると、ポートランド札幌姉妹都市協会は非常に小さな組織なのですが、それを補って他の多くの組織や企業からの惜しみないサポートを得て、たくさんのアイデアが検討・実現されていきました。

私がポートランドに来たのは1973年。留学先のルイスアンドクラーク大学に紹介されたホストファミリーのお父さんが姉妹都市協会の初代会長で、私も自動的に姉妹都市交流活動に親しむようになり、80年代半ばからは理事として主要な周年行事にも深く関わってきました。

綿密な準備を重ね、ついに6月が来て札幌からの訪問団を空港でお出迎えし、そこから数々の祝賀行事が盛り込まれた怒涛の4日間が始まりました。パレードでフロートの牽引車が故障するなど「サプライズ」はいくつかありましたが、訪問団の皆さんが快く対応してくださいましたし、晴れ男の秋元市長のおかげで晴天にも恵まれ、今まで最高の周年のお祝いが実現できました。

札幌の皆さんから、たくさんの「ありがとう」の言葉をいただきました。こちらこそ、ありがとうございました。そして秋元市長、予定以上の場でスピーチをして頂くことになってしまいましたが、一つひとつのスピーチに心がこもっていて、多くのポートランド市民の心に響きました。ありがとうございました。



空港の歓迎式典で通訳をする筆者



日系レガシーセンターでのプログラムで
感謝の花束を受け取る筆者

ポートランドから札幌へ

2019年（令和元年）10月に、テッド・ウィーラー市長を団長とする46名のポートランド親善訪問団が札幌を訪れました。

紅葉が深まる景色の中で市内に点在するポートランドに所縁のスポットやアイヌ文化を紹介する施設を訪れたほか、市長訪問団は、まちづくりや防災の関連施設も視察しました。60周年記念式典では、両市が贈った記念品が紹介されたほか、札幌市立高校とポートランド・グラント高校の派遣交流に係る協定書の締結が行われました。

両市の姉妹都市交流は互いの市民による草の根交流に支えられています。今回も日本文化体験やホームビジット等、様々なプログラムを通して市民ボランティアと訪問団の参加者が再会を喜ぶ姿がみられるなど、両市の結びつきを再確認する機会となりました。

■ 札幌での主な行事

	市長訪問団	訪問団
2019年（令和元年） 10月24日（木）	●ポートランド所縁の施設視察	
	●行政視察（まちづくり）	●市民防災センター視察 ●ホームビジット
10月25日（金）	●サッポロピリカコタン視察	
	●行政視察（防災、教育・避難施設）	●小樽視察
	●姉妹都市提携60周年記念式典・レセプション	
10月26日（土）	●サッポロビール博物館視察	
	●日本文化体験	
	●ポートランドセミナー	
		●フェアウェルパーティー



60周年の記念にポートランドから贈られた雨水浸透型花壇



ポートランド親善訪問団の代表と

訪問団の参加者は、テッド・ウィーラー市長をはじめとする市長訪問団、市民訪問団、ロイヤルロザリアン、ポートランド・札幌姉妹都市協会、ポートランド日本庭園、経済・学術関係者の方々など、総勢46名となりました。



ポートランド広場での記念撮影



市民防災センターでの消火体験



日本文化体験



姉妹都市提携60周年記念式典



米国ポートランドを知るセミナー



フェアウェルパーティ



日本のポートランドに出会える素敵なまち札幌

Essay

親の会会長
シヨーン・江草

札幌は未来です。

60年というのは、あらゆる意味で重要な節目です。ポートランド・札幌姉妹都市提携60周年にかかわることができたのは本当に特別なことでした。

ポートランドと札幌という、美しく、温かく、友好的な2つの国際都市は、昨年、60年にわたる友情を祝いましたが、次の60年はどうなっていくのでしょうか?その答えとして、双方の都市、市民、教育者によって生まれ、支援されている高校生の交流事業「札幌夏期研修 (SSI)」をご紹介します。

2011年から、両市は地球市民を育成するために高校生の交流を行っています。今までに200名以上の高校生がポートランドと札幌を結ぶ絆の一翼を担ってきました。ちょうど今年、ポートランドでは5年前に高校生として初めてポートランドを訪れた2名を教育インターンとして受け入れました。

幸運なことに私は両市における交流の結果をこの目で見てきました。親の会の共同会長として、札幌市立高校8校の素晴らしい先生方やこの取組のキーパートナーである札幌国際プラザのスタッフと出会うことができました。

最近では、60周年記念行事の一環として、秋元市長とウィーラー市長の立ち合いの下、共に協定書に署名しました。この交流がいかにして未来の市民を育てるかという重要性を行政が認識することは、次の60年の私たちの文化の相互理解、尊重、連携を確かなものにしていく上で欠かせません。ポートランドと札幌の未来を守っていくのは今日の若者だからです。

私たちは、札幌市との唯一無二のパートナーシップをこれからも大切にしていきます。過去を祝うことは、未来の基盤を築くことです。そしてSSIを通して、両市は世代を超えたつながりを強くしていくことを約束しているのです。

■ 俳句

さくらさく

あら、いっしょがんばれ

ばらもさく



記念式典での協定書調印式
(筆者は左から2人目)



グラント高校札幌夏期研修



ボウン夫妻をお迎えして

札幌国際プラザホームステイボランティア
浅野 政枝

昨年10月、ポートランド市から夕食にお招きしたキンバリーさんが居間に入るなり本棚へ行き、水色の絵本『ちいさいおうち』を手に「私も持っている」と懐かしそうに見た。静かな佇まいの60歳代のボウン夫妻が食卓に着くと、箸を上手に持ちほんの少しずつ召し上がった。夕食一回だけのホームビジットなので、我々が普段食べており、外国人にとってなるべく選り好みの少ない献立にした。

それは家庭菜園のサラダ、五目寿司、ジンジスカン、飲み物、フルーツなど。今までサラダを食べない人はほぼおらず、五目寿司はひょっとしてベジタリアンだったら…と想定、羊肉は北海道の定番で皇室行事でも用いられている。ところがご夫妻とも小食で、キンバリーさんは錦糸卵を一本取り、「これは何？」と口に運んだ。私は『それ一つだけでなく、ご飯と具と一緒にガバッと口に入れると美味しいですよ』と心の中で言った。

私も22年前の6月に、スウェーデンで夏の小芋料理とキッシュ、小麦煎餅を頂いたが、外国での初めての家庭料理はなぜか緊張し、それぞれ少量ずつしか喉を通らなかった。

人生百年時代が到来。今後は80歳代、90歳代のご夫婦をお迎えするかもしれない。次回からは来る前にメールで、「日本食で何がお好きですか？」と質問してから作ってあげたい。ポートランド市の街並みは札幌市と似ており、米国で最も暮らしやすい街という。パトカーのドアにも赤いバラが咲いている。永遠に姉妹都市であるよう祈願致します。



ホームステイ対面式

その他 60 周年関連事業

○『央州日報』翻訳プロジェクト

ポートランドの日系人の歴史を語りつごうと、ポートランドで「オレゴン日系レガシーセンター」の運営を行う「オレゴン日系基金」と札幌国際プラザによる共同プロジェクトです。

オレゴン日系基金は、約 100 年前にジャパントウンで発行されていた旧仮名遣いの日本語による日刊新聞“Oshu Nippo (央州日報)” (The Oregon News) を翻訳するプロジェクトを 2017 年秋に立ち上げました。

このプロジェクトでは、日系一世たちの暮らしや日米の情勢が反映されている貴重な資料を後世に残すことを目的に、2,777 部という膨大な資料の中から、最も興味深い、あるいはよく時代を反映している 10 部 (370 ページ) を選び、札幌とポートランドの約 150 名のボランティアが協力し、紙面の現代語訳と英訳の作業を行いました。生まれ変わった日本語・英語の央州日報は、オレゴン日系基金に収蔵され、インターネットでも公開されています。

オレゴン日系アメリカ人博物館

(Japanese American Museum of Oregon)

ホームページ：<http://www.oregonnikkei.org/oshunippo.htm>



○札幌・ポートランド姉妹都市提携 60 周年記念事業 やさしい英語で聞く『行ったつもりでポートランド』

2019 年 2 月 9 日、札幌国際プラザにて「やさしい英語で聞く 行ったつもりでポートランド」を開催し、札幌市国際交流員リア・クラスさんとマージェリー・ワイドマンさんがやさしい英語を使いながら、ツアー形式でポートランドを案内しました。日本庭園やローズガーデンなどの観光名所や、地元の人々が楽しむランチやアイスクリームの店、郊外の大自然などの写真や動画がふんだんに使われた、臨場感たっぷりのセミナーとなりました。

参加者の皆さんからは「とてもわかりやすく、ポートランドのよさが伝わりました。まだアメリカに行ったことがないので、最初はぜひポートランドに行ってみたいです」など感想が寄せられました。



○ 札幌・ポートランド姉妹都市提携 60 周年記念事業

『米国・ポートランドを知るセミナー～わたしの街、わたしの暮らし～』

ポートランド親善訪問団の来札に合わせて、2019年10月26日、北海道大学学術交流会館において、「米国・ポートランドを知るセミナー～わたしの街、わたしの暮らし～」を開催しました。

当日は、ポートランドのテッド・ウィーラー市長にも開会のご挨拶をいただきました。

第一部は、(一社)クリエイティブシティラボ代表理事 山崎満広氏による基調講演「ポートランドがなぜ生き生きしているか」に続き、北海道大学3年生 盛藤舞さんと北海道教育大学2年生 佐々木珠希さんにポートランド滞在中の経験談をお話いただきました。

第二部は、ポートランド・札幌姉妹都市協会理事／オレゴン日系レガシーセンターボランティアであるグールドエイ・洋子氏、札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念ビールプロジェクト代表大阪匡史氏、ポートランド在住経験のある在札幌米国総領事館 ロバート・ピケット領事、そして北海道大学ポートランドオフィス所長／北海道大学国際連携機構副機構長 川野辺創氏の4名をお迎えし、パネルディスカッション「街の人々が活躍するから楽しい、住みやすい」を行いました。ポートランド・札幌双方の市において地域の活動に尽力する方々のお話を聞きました。

多角的な視点による様々なお話を聞くことでポートランドの活力の源を探るセミナーとなりました。札幌のまちづくりに有益な意見も数多く聞かれ、今後活用されることが期待されます。



開会の挨拶を行うウィーラー市長



パネルディスカッションの様子

姉妹都市交流のあらし

姉妹都市提携への道のり

○成立の経過

1959年10月末、外務省アメリカ局長とポートランド日系人会長・民安薫人氏から、ポートランド市との姉妹都市縁組を要請する書簡が、原田市長宛に送られてきました。

アメリカ局長からの書簡は、ポートランド市において海外に姉妹都市を持つ機運が高まっており、日本の都市との提供を強く希望していること、また、ポートランド市長が訪日の際に候補都市として札幌、静岡の両市長との話し合いの斡旋を、ポートランド日本総領事館から依頼してきたことを伝えるものでした。民安氏の書簡も、ポートランド市が札幌市との姉妹提携縁組を強く望んでいるため、ぜひシュランク・ポートランド市長が訪日の際に、意見交換をしてほしいという依頼でした。

この書簡を受け取った原田市長及び札幌市幹部職員は、直ちに姉妹都市提携の検討に着手。その結果、

- ①両市とも、約百数十年前に開拓者によって開かれた都市であり、今後ますます発展を期待されている青年都市である。
- ②両市はほぼ同緯度に位置し、風土も似通っており、かつ比較的近距离にある。
- ③ポートランド市がオレゴン州最大の都市であり産業、経済、文化の中心地であるのと同様、札幌市も北海道最大の都市であり政治、経済、文化の中心地である。
- ④北海道は開拓当時、ウィリアム・クラーク、ホーレス・ケブロンなど、多くの米国人によって教育及び産業技術面で指導を受け、物心両面にわたって多大の影響を受けたという経過からも、北海道開拓の中心地として発展した札幌市が、米国の開拓都市であるポートランド市と提携することは極めて意義深い。

などの点から、ポートランド市が札幌市の姉妹都市としてふさわしく、両市の提携が極めて適切であり、望ましい、という結論を得るに至りました。

そして、1959年11月4日～7日の4日間、第5回日米市長及び商工会議所会頭会議が大阪市で開かれました。この会議にはポートランド市からはシュランク市長夫妻、フルトン商業会議所会頭夫妻のほか17名が出席。原田市長は早速大阪に飛び、シュランク市長と姉妹都市提携についての会談を持ち、両者の間で完全な意見の一致をみたのでした。会議最終日の11月7日、両市長は札幌・ポートランド両市の提携が成立した旨の共同発表を行いました。

○札幌における調印

11月17日、シュランク市長夫妻とフルトン商業会議所会頭夫妻は、姉妹都市提携調印のため札幌市を訪問。正午過ぎ、市庁舎に到着した一行は、玄関まで出迎え

た原田市長夫妻や廊下を埋め尽くす職員の盛大な拍手を受けて応接室に入室。応接室では、市理事者、市議会正副議長、商工会議所正副会頭等としばし歓談の後、両市長により、両市の永遠の発展と協力を誓う提携盟約書に署名、ここに札幌市とポートランド市の姉妹都市提携が実現したのでした。

シュランク市長は、この記念すべき日のために、ポートランド市から取り寄せた市の象徴のバラの苗6株と、市民の心の扉を開くという敬愛の意味を持つ「市の鍵」を原田市長に贈呈。原田市長からは、ポートランド市民へのメッセージがシュランク市長に託され、北海道の案内書と札幌の名産品、麻のテーブルクロスが贈られました。提携調印を終えてから、一行は北海道、札幌市、札幌商工会議所、北海道日米協会共催の歓迎昼食会に臨み、その後、原田市長の案内で藻岩山、中島公園、円山公園など市内見学を行いました。夕方には札幌グランドホテルで歓迎レセプションが開かれ、市内各界の代表者約200名が出席、知事、アメリカ総領事等から祝辞を述べられるなど、和気あいあいの歓談を楽しんだ後、帰国の途につきました。

○市議会の決議

姉妹都市提携について、札幌、ポートランド両市の市長は、市民の総意を代表すべき市議会に諮るが、両市議会とも全会一致で都市提携に関する決議を採択。両市間の提携関係の成立に全面的に賛意を表すとともに、今後両市間における提携活動が全市民の理解と協力のもとに促進され、相互に友好を深め、あわせて日米両国の親善に寄与することを確認しました。

○都市提携とは

都市提携は、規模や性格の似た二つの都市の市民が、人種や国境を越えた友情によって結ばれ、文化、経済の交流を通じて相互理解を深め、国際親善と世界平和に役立てようとするものです。そして純粋に民間の運動として行われるところに大きな意義があります。都市提携は第2次大戦後、ヨーロッパとアメリカとの間で結ばれたのが始まりです。戦後のヨーロッパ復興に励む人々と、アメリカの人々の温かい友情とが触れ合った結果、次々と姉妹都市が誕生していきました。やがてこの動きは中南米、アジアへと広がり、1956年には米国のアイゼンハワー大統領が大々的に都市提携を提唱し、拍車がかかりました。

わが国での姉妹都市提携は、1955年12月、長崎と米国ミネソタ州セントポール市が最初。北海道では札幌とポートランド市が提携したのが最初で、2020年12月現在、道内では72の市町村が姉妹提携を行っています。

姉妹都市交流の概要

札幌市とポートランド市の姉妹都市交流の特色は、市民レベルの草の根交流にあり、現在 100 組を超える姉妹提携が結ばれています。また、姉妹提携団体の枠を超えた交流も盛んで、両市のスポーツ団体や文化芸術団体などがそれぞれの分野で姉妹都市間の市民交流と友情の輪を広げています。

札幌市とポートランド市のこのような市民レベルでの活発な交流は、姉妹都市交流のモデルとして国際的にも高い評価を受けおり、これまで何度も「世界姉妹都市コンテスト」に入賞を果たしています。また、1989 年には姉妹都市交流の功績を認められ札幌姉妹都市協会が、2004 年には、日米交流の増進への顕著な功績が認められ、ポートランド・札幌姉妹都市協会が、それぞれ日本国の外務大臣表彰を受賞しています。

さらに、両市の交流は単なる友好親善にとどまらず、環境や市民参加の分野などで、お互いが学びあい、それぞれのまちづくりに生かしています。

具体的な交流事業

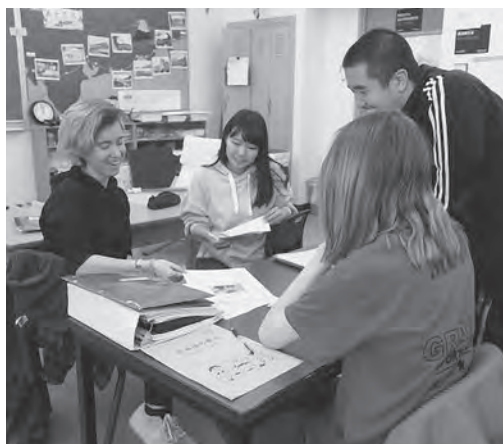
○札幌市立高校とポートランド市グラント高校の交流

札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会などが主催し、1969（昭和 44）年より継続していた英語弁論大会は、2011（平成 22）年第 43 回までに 1,612 名が参加、成績優秀者がポートランドに派遣されるなど、姉妹都市交流を促進する事業ではありましたが、運営や財源の問題により 2012 年以降、開催が見送られています。新たなポートランド交流事業として、2012（平成 23）年より、札幌市立高校生・ポートランド市グラント高校生交流事業が始まりました。

初回となる 2013（平成 24）年 1 月、グラント高校生 6 名が来札し、市立高校生徒宅にホームステイをしながら生徒と一緒に高校に通い、市民との交流を通じて日本語を学びました。以降、2019（令和元）年までに 100 名の生徒が参加しています。

2013（平成 25）年からは、札幌市立高等学校・特別支援学校校長会も加わり、市立高校生のポートランド・グラント高校派遣事業を開始。ポートランド・札幌姉妹都市協会やグラント高校などの「親の会」の協力のもと、第 1 回研修で 21 名が派遣されました。学校での授業体験やボランティア施設訪問などを行い、札幌市とポートランド市の高校生相互派遣交流が実現したのです。その後、毎年 16 名を派遣、2018（平成 30）年までに 101 名が参加、研修後には、その成果を札幌市民向けの帰国報告会で発表しています。

姉妹都市提携 60 周年となる 2019 年（令和元年）10 月には、相互交流プログラムを円滑に行うため、交流事業を実施する 4 団体の間で協定書を締結しました。継続的な高校生同士の交流が、姉妹都市交流を担う青少年の人材育成につながるがますます期待されています。



グラント高校での授業体験



ホストファミリーとの交流パーティー

○宮の森小学校とリッチモンド小学校の交流

札幌市立宮の森小学校（1958年開校・児童数681名〔2020年2月現在〕）では、2005年2月に姉妹都市提携45周年を祝う訪問団が来札された際、団員だったリッチモンド小学校校長より姉妹校提携の希望があったことをきっかけに交流を始めました。

その後、2009年11月の50周年イベントの際に、正式に姉妹校提携の調印を行いました。2019年までに計8回、リッチモンド小学校の訪問団が来校しています。2019年は、リッチモンド小学校の5年生児童15名を迎え、3・4年生児童と歌やゲームを共に行い、5・6年生の教室での算数や書道の授業受講などを通して親睦・交流を深めました。

宮の森小学校ホームページ：

<https://www.miyanomori-e.sapporo-c.ed.jp/>



リッチモンド小学校の児童とともにいった書道の学習

○札幌市立大学とPNCAの交流

札幌市立大学は、ポートランド市内の芸術系大学「Pacific Northwest College of Art (PNCA)」と交流しています。

2018年には学生が相互に訪問し、お互いの街をイメージした映像やグラフィックアートを制作するワークショップを行いました。その成果は、両都市の都心部に設置されているデジタルサイネージで発表しました。2019年も、同様の取組を継続しました。

姉妹都市提携60周年の2019年9月には、大学間連携協定が締結されており、今後、交流が活性化することが期待されます。



札幌市立大学とPNCAの交流

○札幌ポートランド会による交流

札幌ポートランド会は、札幌からポートランドに派遣された女性たちが、派遣先での経験を地域に還元したいという思いで1987年に発足させた団体です。

2010年に「札幌市女性海外派遣団協議会」から名称を変更し、近年では、ポートランド市グラント高校生の来日時、札幌市の防災センター見学を支援するなど、ポートランドの高校生との交流を中心にこなっています。



グラント高校生との防災センター視察

○北海道陶芸会（HPS）による交流

北海道陶芸会は1968年に発足した会員数32名（2020年2月現在）の団体です。

2004年2月、さっぽろ雪まつりの国際雪像コンクールに参加したオレゴン陶芸家協会（OPA）会員との出会いを機に交流が始まり、2008年当会設立40周年記念事業を初の海外展としてポートランド市 OPA ショールーム及び同市日本庭園にて開催しました。

札幌芸術の森美術館で開催した2008年40周年記念展、2014年45周年記念展、2018年50周年記念展ではOPA作家の出品、来札があり、その後ポートランド市近郊での登り窯の窯焚きなどを通して交流を深めてきました。

2019年には、札幌市とポートランド市の姉妹都市60周年を記念して、ポートランド日本庭園より招待を受け、「Northern Lights - Ceramic Art of Hokkaido Revisited -」と題した展覧会を開催しました。

北海道陶芸会ホームページ：

<http://www.hokkaido-pottery-society.org/>



ポートランド日本庭園での作者による作品解説



現地高校での陶芸に関する授業実施

○スポーツ分野における交流

ポートランドとのスポーツ交流の歴史は古く、1960年に札幌スキー連盟の菊池定夫氏がローズフェスティバルジャンプ大会に参加したのが始まりです。その後、各種競技選手の行き来が盛んになり、姉妹都市提携20周年を迎えた1979年からはマラソン選手の相互派遣が始まりました。

さらに、1984年の札幌市選抜ジュニア・アイスホッケーチームのポートランド派遣、1985年1月のポートランド・ジュニア・アイスホッケーチーム、フィギュアチームの来札など、スポーツを通じた交流は年々盛んになっていきました。

1985年10月には札幌を含む4つの姉妹都市の間で、5年毎の各姉妹都市締結記念年に、全姉妹都市が一堂に集まって12歳から14歳までのジュニアを対象としたスポーツ交流を4市持ち回りによって開催することで合意し、1985年から交流が始まり、1989年の姉妹都市提携30周年には、ポートランドで女子陸上大会が開催されました。

1995年からは、このジュニアスポーツ姉妹都市交流事業は、札幌と提携記念年に該当する都市との2都市間で行うこととし、記念年がない年には札幌に姉妹都市4市が集まり、交流大会を実施しています。

近年では、2017年9月にポートランドの体操選手12名及び引率5名が来札し、本市で開催された市民大会へ参加した他、2018年2月には札幌市内の小中学生体操選手16名及び引率5名がポートランドを訪問し、現地で開催された体操国際大会へ出場し、競技や各種の歓迎行事を通して現地関係者との交流を深めました。

また、2021年3月には姉妹都市提携60周年を記念し、ジュニアスポーツ姉妹都市交流事業の一環として、札幌のクロスカントリースキー選手4名と引率4名をポートランドへ派遣する予定でしたが、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止を余儀なくされました。

○経済分野における交流

1982年の第1回北方都市会議への参加を契機に、札幌及びポートランドでは、両市の経済交流の促進に向けた取組が盛り上がりを見せるようになりました。1984年にオープンした札幌流通総合会館（アクセスサッポロ）は、姉妹都市間における経済交流事業の先鞭をつけるものとして期待され、札幌国際見本市等の国際的な催事にポートランドの企業も参加するなど、経済交流の場としての機能を果たしてきました。

同じく1984年には、札幌・ポートランド・瀋陽の3市による『経済・技術・文化の友好交流及び協力に関する合意書』が、さらに1986年には、『経済・技術・文化の友好交流および効力に関する合意書』がミュンヘン市を含めた4市によって交わされるなど、姉妹都市間の経済交流の機運も高まり、取組が進められてきました。

また、姉妹都市提携以降、様々な経済団体・企業がそれぞれ交流を進めてきました。札幌商工会議所は、姉妹都市提携40周年の1999年に姉妹都市提携を記念したシスターシティワイン「ローズ・シティ」を販売しました。提携50周年の2009年には、えぞ麦酒（株）がオレゴン物産フェアを開催し、50周年を記念したビールやジュースなどを販売しました。

近年では、姉妹都市提携60周年の前年から立ち上げた「札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年事業連携連絡会議」での連携により、ポートランド近郊日系スーパーでの札幌物産展開催やポートランド日本庭園において、札幌の食・観光・文化などをポートランド市民に紹介する「札幌カルチャー・フェスティバル」の開催につながりました。

また、60周年の記念訪問団へ札幌商工会議所による経済訪問団に加え、北海道の若手経営者による団体「北海道経営未来塾」も参加し、現地経済関係者とのネットワークの機会を持つなどの動きも生まれました。

さらに、姉妹都市提携60周年に合わせて設置した「札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念事業認定制度」を活用し、札幌とポートランドのビール醸造者がコラボレーションによる記念ビールを開発・販売するなど、姉妹都市提携のプラットフォームを活用し、市民や民間企業などが交流事業を自ら行う動きも増えています。

ポートランドで学ぶための取組

近年、ポートランドは、持続可能なまちづくりを進める都市として世界的にも高い評価を受けているほか、「全米で最も住んでみたい都市」に選ばれるなど、全米の若者を引き付けて経済成長を続けている他、イマージョン教育で日本語を学ぶ若者も多くいます。

姉妹都市である札幌では、そのポートランドで学ぶための取組が進められています。

○ ISECE 日本語インターン

(一財) 国際教育文化交流協会 (ISECE) では、ポートランド市内にある日本語イマージョン教育を実施する公立小・中・高校へ日本語アシスタント教師を派遣するインターシッププログラムを実施しています。

日本語イマージョン教育とは、英語以外の科目を日本語で教えることで教科内容の理解と日本語の定着を図るものです。派遣者は、約1年間ポートランドに滞在し、日本語アシスタント教師として、日本語クラスだけでなく全教科のアシスタント業務を担い、日本語指導や教材作りなどを行います。また、夏休みには、親の会の支援を受けて、ポートランド地域一帯の日本語イマージョン教育に携わっている幼稚園児から5年生、並びに自宅で日本語を勉強している子どもたちを対象にサマーキャンプを計画し、自主運営するなど、業務は多岐にわたります。

派遣者は、ポートランド滞在中、市内スーパーマーケットで開催される日本のお祭りなどにも参加することができ、日本文化を通じて地元の方とも交流を深めることができます。

札幌国際プラザでは、平成22年より、同プログラムの説明会を共催し、ポートランドに派遣された方々には、市民向けポートランド関連事業での情報提供などの協力をいただいております。同プログラムに参加された方が、札幌とポートランドの交流のかけはしとなり、市民レベルでの姉妹都市交流の発展へつながることが期待されます。



ポートランドでのインターンの様子

○ポートランド州立大学「まちづくり人材育成プログラム (JaLoGoMa)」

ポートランド州立大学が提供するまちづくり人材育成プログラム JaLoGoMa (Japanese Local Governance and Management) は、ポートランドが全米一住みやすいまちと言われる基盤である住民主体のまちづくりの仕組みを、官民間問わず日本で地域のまちづくりに携わる方を対象にレクチャーするプログラムです。

札幌市では、実際にポートランドを訪問し様々な事例を学び、他自治体職員や住民自治に携わる民間人と熱く議論ができるこのプログラムに職員を派遣することで、自治体職員としての国際感覚養成、スキルアップを図ることができると考え、2017年から参加しています。

当初2年間は、各1名の派遣でしたが、姉妹都市提携60周年となる2019年は、前年から取り組んだブレ事業の効果で、各職場にも姉妹都市ポートランドの魅力に対する認知度が向上していたこともあり、本庁舎や区役所、一般事務や土木職、様々な職場の様々な職種から、5名の職員の派遣を行いました。

1週間の研修プログラムを受けた5名は、ポートランドの市民自治の素晴らしさを十分に感じ、学び、早速各職場で実践しています。また、職場での報告会を通じポートランドのまちづくりの知見を広めることで、参加していない職員にも職員派遣の成果が浸透しています。

また業務の中で研修成果を発揮するだけではありません。60周年記念事業で紹介した事業のうち、記念ビールの醸造は2017年に参加した職員が、姉妹都市提携日を祝うポートランドとの交流イベントは2019年に参加した職員が、それぞれ市職員としての立場ではなく札幌市民の一人として、現地で知り合った参加者やポートランド在住者と協力して企画・実施したものです。

このように、業務の内外を問わず、派遣から得たスキルを活用していることも JaLoGoMa が優れたプログラムであることの証明です。



JaLoGoMa研修修了式の様子

札幌姉妹都市協会

札幌市の姉妹都市交流は、1959年にポートランド市と姉妹都市提携を結んだのを皮切りに1972年にドイツ・ミュンヘン市、1980年に中国・瀋陽市、1990年にロシア・ノボシビルスク市、そして2010年には韓国・大田広域市との提携で、交流の輪を次第に広げてきています。

札幌と姉妹都市間の交流事業の発展、拡大に伴って、個々の提携委員会では対応しきれない事例も多くなり、同時に市民の間にも一つの姉妹都市の情報以外に、複合的に姉妹都市の交流に関する情報提供を望む声が強くなっていました。

こうした背景のもと、1986年4月23日、「札幌姉妹都市協会」が設立され、その後1997年より、より市民に近い活動への期待とともに、事務局が札幌市国際部から財団法人札幌国際プラザに移管されました。同協会は札幌、ポートランド、ミュンヘン、瀋陽、ノボシビルスク、大田との間で、教育、科学、芸術、体育、経済、技術の分野で、相互に総合的な交流を図るための事業を推進し、姉妹都市間相互の友好親善に寄与することを目的として活動してきました。

設立時の札幌姉妹都市協会は、市からの補助金に加え、多くの市民、企業等からの寄付金で運営されており、姉妹都市との交流プログラムの実施や助成等を行っていましたが、2012年4月からは、約40の関係団体による組織へと姿を変え、札幌国際プラザと一体となって姉妹都市交流事業を進めています。

現在は、各姉妹・友好都市の生活や文化などを紹介

するため、姉妹都市ニュース「TOMO」を発行するほか、子ども向けの姉妹都市紹介パネルの無料貸出やパンフレットの無料配布を行っています。また関係団体と協力し、「札幌姉妹都市スペシャルデイ」や各種セミナーを実施し、幅広い世代の方に対して姉妹・友好都市のPRを行います。

ポートランドとの交流においては、1970年6月に「各姉妹校間の交流活動の情報交換を行い、その内容の充実をはかり、教育的意義を高める」という目的で設立された札幌市姉妹校連絡会との協力で、1979年からはポートランド市との20周年を記念し、5年毎の周年時にポートランドに姉妹校を持つ札幌市内の中学校および高校から生徒をポートランドへ派遣し、また2010年1月には50周年記念として、姉妹校を持つ中学校1校、高校5校の代表生徒各1名と引率教諭1名をポートランドに派遣しました。

2012年に組織編制が変わって札幌姉妹都市協会独自の予算を持たなくなつてからは、ポートランドとの交流事業も形を変え、現在は毎年早春に札幌市立高校の生徒をポートランドへ派遣、初夏にポートランドからイマージョン教育を行っているグラント高校の生徒を市立高校へ受け入れる札幌市立高校生・ポートランド市グラント高校生交流事業などの活動の支援を行っています。

札幌姉妹都市協会は、今後も、札幌市と各姉妹・友好都市との友好親善と交流の拡大発展を図って活動していきます。



姉妹都市ニュース「TOMO」



札幌姉妹都市スペシャルデイ

ポートランド・札幌姉妹都市協会
会長 菊地 真巨

ポートランド・札幌姉妹都市協会（Portland-Sapporo Sister City Association、略して PSSCA）は、ボランティアで活動する理事とポートランド市民有志による NPO です。

アイゼンハワー大統領が提言した、人と人との交流を通じた国家間の平和と繁栄を促進する取組の一環として、1959年にポートランド市と札幌市の姉妹都市が始まりました。1962年に当時のポートランド市長テリー・シュランク氏が、15名の市民を姉妹都市提携委員会の委員に指名し、1969年に同委員会が現在の PSSCA へ移行。50年以上にわたって、様々な民間企業、教育・行政機関、各種の地元団体等と提携しながら、両市を繋ぐ交流を支えてきました。

現在、PSSCA は企業や団体と個人の支援者、各種イベントからの寄付金によって運営されています。理事の顔ぶれは毎年少しずつ入れ替わりますが、30年以上も活動を続けてきたベテラン、日本語を学ぶ高校生、またポートランド日本庭園や地元の日系スーパーの宇和島屋など他団体との窓口役まで、年齢も経験も多種多様なメンバーが揃っています。それぞれ興味も得意分野も異なりますが、共通しているのは両市への愛情。自分たちの住むポートランドと大好きな札幌との交流を盛り上げたい、というのが私たちの原動力です。

2018年に新たなミッションに掲げた「より平和で持続可能な世界に向けて、ポートランドと札幌の人々が、交流と活動を通じて互いを理解し友情を育むのを促進・応援する」ため、私たちは様々な活動に取り組んでいます。両市の高校生の交流プログラムや宇和島屋での「札幌フー



60周年を記念し新たに作られた
PSSCAのロゴマーク

ドフェア」をサポートし、地元の日本文化イベントでは札幌及び姉妹都市交流について紹介。2016年に「札幌市長賞」が新設された中高生向けの日本語スピーチコンテストでは、日本語ネイティブの理事が審査員を務めています。また、2018年春から、ポートランド市民同士の交流を目的として「札幌ハングアウト」というイベントを始めました。これは、四半期ごとにカフェやレストランを会場に会話や情報交換を楽しむ気楽な集まりで、札幌を訪れたことのある又は住んでいた方、札幌出身者、札幌旅行を計画中の方など、様々な方が友達作りを楽しんでいます。

2020年から、60周年の記念行事や地元のイベント等を通じて知り合った5名が理事に新たに加わりました。新しい仲間と共に、PSSCAは今後も楽しく精力的に札幌とポートランドの友情の輪を広げていきたいと思っています。

市民ボランティアに支えられた国際交流

市民の深い理解と積極的な参加に支えられる札幌の国際交流は、市民レベルでの草の根交流が幅広く浸透していることで、全国的に高い評価を得ています。そうした交流を支えているのが、札幌国際プラザのホームステイボランティア、外国語ボランティアや日本文化体験ボランティアをはじめとした市民ボランティアです。

○ ホームステイボランティア

【経緯】

札幌国際プラザでは、普段着で誰もが参加できる国際交流を進めるためにホームステイ制度を運用しています。このホームステイ制度は、国際交流を目的に外国から札幌を訪問する方々や道内の留学生を家庭に迎え、家族ぐるみの交流を通して、文化・習慣の違いを相互に認識し、理解を深めるものです。

札幌市におけるホームステイ制度の歴史は長く、1968年に全国の自治体に先駆けて設立しました。当時は「札幌市民泊受入家庭登録制度」と称しました。

1987年に「札幌国際プラザ（任意団体）」が発足したのを機に、運用事務を同団体が担当し、1991年8月当財団の設立時に制度を移管し、名称も「(財)札幌国際プラザホームステイ制度」となりました。

【ボランティア登録と主な活動について】

2020年3月31日現在、札幌市内の家庭を中心に108家庭が登録しており、2019年度は10の国と地域から53名を受け入れています。1968年の制度設立から2019年度までの受入ゲスト総数は、151の国と地域から8,044名に上ります。

年間を通して様々なホームステイプログラムを実施しており、受け入れるゲストは、姉妹都市交流関係者、国際交流事業やスポーツ大会の参加者、留学生、日本語学習を目的とする外国人など多様です。

1998年に北海道内で学習、研究に従事する外国人留学生が、希望する時期に道内各地でホームステイすることができるように構築された「留学生のための Home Sweet Homestay」プログラムを利用した留学生のホームステイも大きな割合を占めています。

【札幌ホームステイ協会】

札幌ホームステイ協会は、札幌国際プラザのホームステイボランティアによる自主活動の組織です。

札幌ホームステイ協会は1986年に「ホームステイ7区連絡会」として、当時札幌のホームステイ制度登録家庭の情報交換などを目的としたネットワークとして設立されました。以後、財団法人札幌国際プラザの設立に伴い、「札幌ホームステイ協会」と改称し、ホームステイ登録家庭同士の情報交換、研修会の実施や広報誌「かけはし」の発行など、会員間の親睦、ホームステイ家庭としてのホスピタリティーの向上を目指して活動しています。



家族の一員として



ホストファミリーと日本文化も体験

○ 外国語ボランティア制度

【経緯】

外国語ボランティア制度は、札幌市において1972年の冬季オリンピック開催をはじめ国際化が進む中、「語学力を国際親善に役立てましょう」という合言葉によって1977年9月に開始されました。

1991年8月に札幌国際プラザが財団法人となり、外国語ボランティア制度は「"3C"（市民・コンベンション・コミュニケーション）によるまちづくり」のひとつの事業として、札幌市から国際プラザに移行されました。市民のボランティア精神により、外国語を使って「国際交流とコンベンション」を、さらに近年は外国籍市民との多文化共生を支えるものとして、着実に実績を積み重ねています。

【ボランティア登録と主な活動について】

2020年3月31日現在14ヶ国語延べ620名（英語442名、中国語50名、韓国語32名、フランス語24名、ドイツ語23名、ロシア語16名、スペイン語17名など）が登録しています。派遣活動として年に約30回程度、国際交流や多文化共生事業の運営・通訳補助や札幌で開催される国際会議において特に海外からの出席者に対する情報提供、市内案内等を行っています。



防災訓練での通訳活動

【外国語ボランティアネットワークの活動】

登録したボランティアが自ら企画運営する事業を実施し、日頃からボランティア同士で研修会等を行い横のつながりを強め、地域に貢献する活動を行う組織が「札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワーク」です。外国につながる子どもたちの学習支援、札幌の歴史的シンボル「時計台」での館内案内や、北海道大学キャンパスウォークツアーなどの活動を行っています。また、札幌を代表する冬のイベント「さっぽろ雪まつり」の会場において、海外からの観光客に対する案内等を行っています。

札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワークHP

<http://sapporo-flv.com/>



雪まつり期間中の地下鉄駅での案内活動

○ 日本文化体験ボランティア

【経緯】

日本文化体験ボランティアの活動の発端は、旧札幌天神山国際ハウスに海外から来訪中の学者が茶室を覗き込み、何をしているかとたずねられたことでした。その後、茶室を利用している市民の方が、滞在している海外のお客様への茶道のおもてなしを行うようになりました。さらに、地域（澄川・平岸地区）に住む主婦の方々が日本文化を紹介するボランティアとして活動をしたのが「(旧)札幌天神山 国際ハウスボランティア会」の始まりです。

会は平成20年3月31日の札幌天神山国際ハウスの閉館にともない、札幌国際プラザ多文化交流部に所属を移行しました。

【ボランティアの活動内容、方法】

2020年3月31日現在、55名がボランティア登録しており、各人の知識や技能を生かして、着物の着付け、茶道、華道、書道、折り紙などの種目に登録しています。

2019年度は、交流事業の文化体験を11回実施し、延べ111名の方が活動、538名が体験しました。体験実績内訳は、国際学会が4回、ポートランド市やノボシビルスク市との姉妹都市交流事業が4回、ラグビーワールドカップ事業が2回、札幌国際プラザ交流イベントが1回など、活動の場が広がっています。



着付け体験



茶道の様子

60年のあゆみ

札幌市とポートランド市は、1959年（昭和34年）11月に両市にとっては初めての姉妹都市提携を結びました。60年間の交流のあゆみとして、様々な分野での市民交流が絶えまなく続いています。

1959年(昭和34年) [姉妹都市提携調印]

- 11月 ・テリー D.シュランク市長夫妻及びジョン・フルトン商業会議所会頭が来札し、姉妹都市提携盟約書に調印。バラ6株を持参



1959年11月 原田市長とシュランク市長、姉妹都市提携盟約書に調印

- 12月 ・札幌・ポートランド都市提携委員会が発足(委員長 原田興作市長)
・ポ市議会において姉妹都市提携推進決議

1960年(昭和35年)

- 1月 ・札幌市がポ市に映画『札幌のプロフィール』を贈呈
2月 ・札幌市議会において姉妹都市提携促進を決議
3月 ・スキー選手団5名が訪泊し、ジャンプ競技に参加し、1、2、4位入賞
・札幌市がポ市に映画『雪まつり』を贈呈
・小・中学生の交換図画作品展を札幌市、ポ市で開催
4月 ・ポ市が札幌市にオレゴン松苗1,000本、ポ市紹介映画『上水道プラン』を贈呈
・いづみ幼稚園～ロバートグレイ校が提携(姉妹提携第1号)
・北海道大学交響楽団～ポートランド州立大学音楽部が提携
・南高校～ワシントン高校が提携
5月 ・札幌東ロータリークラブ～北ポートランドロータリークラブが提携
6月 ・中島好雄教育長が訪泊し、札幌市代表としてローズフェスティバルに参加。藻岩山と札幌神社をデザインした花車に乗って、パレードに参加
・菊地定夫氏が訪泊し、ローズフェスティバルジャンプ大会に参加
7月 ・世界一周産業使節団(団長 福山甚三郎氏) 14名が訪泊
8月 ・北海道放送世界経済事情視察団(団長 松原太郎氏) 9名が訪泊
9月 ・全日本写真連盟札幌支部～オレゴンカメラクラブが提携
10月 ・東洋貿易視察団(団長 マーシャル・デーナ氏) 16名が来札

1961年(昭和36年)

- 2月 ・全日本写真連盟札幌支部がポ市写真展で札幌の紹介写真124点を展示

- ・東高校・高橋トモ子さんがシュライナーズ肢体不自由児病院に千羽鶴を贈呈
3月 ・ブルーバース少女団体が札幌市にオレゴン松苗50本を贈呈
・ポ市が札幌市にバラ(ピナフォローズ)30株を贈呈
・ジム・ブレナン選手が来札し、姉妹都市代表として宮様スキー大会に参加
・札幌市がポ市に北海道の歴史・産業・観光などを紹介する写真アルバム500部を贈呈
4月 ・皇太子殿下がポ市ご訪問の際にシュランク市長から贈呈された草花の種子のうち800袋を札幌に下賜
6月 ・日本料理精覚流家元直門北海道支部～オレゴン料理長協会が提携
8月 ・ポ市キャンプファイアガールズが札幌の子どもたちに人形、玩具、衣料品を贈呈
9月 ・原田市長親善使節団6名が訪泊
・札幌市がポ市に観光フィルム『北海道』及び『札幌の四季』を贈呈
・ポートランドジュニアシンフォニーが札幌市に演奏テープを贈呈
11月 ・北海道大学交響楽団が姉妹都市交歓演奏会を開催し、クローリー ポートランド州立大学教授の作品を演奏
12月 ・札幌市がポ市に日米修好百年祭を記念した北海道とアメリカの修好の英文回顧録を贈呈

1962年(昭和37年)

- 1月 ・札幌エスペラント会～ポートランド世界理解委員会が提携
2月 ・鉦山技師・秋葉安一氏がポ市に市内で産出したアンチモニー鉱物標本の学校教材を贈呈
4月 ・ポートランド貿易促進委員会(団長 シュランク市長) 33名が来札
・オレゴンカメラクラブが全日本写真連盟札幌支部に作品95点を贈呈し、6月に丸井デパートで展示会
・阿部謙夫提携副委員長・北海道放送社長が訪泊し、ポ市に映画『丹頂鶴の生態』を贈呈
・札幌交響楽団がポ市に市民コンサート録音テープ2本を贈呈
・札幌市がポ市庭園展示会に植木を贈呈
・旭丘高校～ジェファーソン高校が提携



Lunch party at Women's Hall

1962年4月 シュランク市長夫人を迎えての歓迎会

- 5月 ・ポ市訪問経験者を中心にポートルランド会設立(会長 三浦祐晶氏)
- 6月 ・米艦マッギンティ号乗組員(全員がポ市の予備兵)が来札
・ポ市が日本庭園とあずまやをかたどった花車『Sapporo』を制作し、ローズフェスティバルパレードに参加
- 8月 ・北海道大学北米大陸国立公園学術調査隊、斉藤斉副知事が訪ポ
- 9月 ・道青少年指導者海外派遣団が訪ポ
- 10月 ・コージーコーナー喫茶店～レストランアイランドが提携
- 12月 ・札幌中央ライオンズクラブ～ダウンタウンライオンズクラブが提携

1963年(昭和 38年)

- 1月 ・リーダーズダイジェスト財団及びアメリカ都市協会主催世界姉妹都市活動コンテストで2位入賞
- 4月 ・ポートルランド日本観光団(団長 A・ロキア氏) 10名が来札
- 6月 ・札幌駅前通商店街連合会がローズフェスティバルに山本洋子氏を札幌ローズクイーンとして派遣し、ライラック苗木を贈呈
- 7月 ・オレゴン州選抜高校生レスリング選手団 13名が来札
- 8月 ・ライオンズ交換青少年が訪ポ
・プロビデンス号乗組員のポ市出身者7名が来札
- 10月 ・ルイス&クラーク大学学生(スルトツ教授引率) 24名が来札し、1カ月の海外学習
・聖マーガレット教会～セントポール教会が提携
- 11月 ・シュランク市長親善使節団 21名が来札
・提携委員会、商工会議所、青年会議所、札幌東ロータリークラブ、札幌中央ライオンズクラブがポ市に御影石の石灯ろうを贈呈し、現在、ポートルランド日本庭園に設置
・南小の生徒がポ市動物園の子象を『花子』と命名
・切手文化会札幌支部～ビーバースタンプクラブが提携
・香蘭女子学園高校～オレゴンエビスコバルスクールが提携
・札幌市医師会～マルトノマ郡医師会が提携

1964年(昭和 39年) [姉妹都市提携 5周年]

- 1月 ・南小学校～メリーズビル校が提携
- 2月 ・ポ市小学生合唱団が札幌市に『偉大なる北西部の歌』と題する音楽祭録音レコードを贈呈
- 3月 ・日本キリスト教団月寒教会～第一コングレグレーション教会が提携
- 4月 ・町村金五知事夫妻が訪ポ
- 6月 ・日米海底ケーブル完成を記念した北海道放送主催姉妹都市国際通話を実施



1964年6月 北海道放送のスタジオで国際電話「ハロー・ポートルランド」

- 9月 ・クリスチャン文書伝道団～良書と聖書普及会が提携
・札幌婦人団体連絡協議会～ポートルランド婦人団体連合会が提携
- 10月 ・琴似小学校～マウントテーパー校が提携
・札幌歯科医師会～マルトノマ郡歯科医師会が提携
・北海道拓殖銀行～オレゴン USナショナル銀行が提携
・真駒内小学校～クレストン校が提携
・北海道労働組合が訪ポ
- 11月 ・西高校～ウィルソン高校が提携
・ホテル丸惣～シティセンターモーターホテルが提携
・ルイス&クラーク大学海外兵慰問団(アイアン教授引率) 16名が来札
・オレゴン貿易使節団(代表 マーク・ハットフィールド オレゴン州知事) 37名が来札
- 12月 ・ポートルランド地域洪水水害が発生し、札幌市がポ市に見舞電報を送付

1965年(昭和 40年)

- 1月 ・新川小学校～ヤングサン校が提携
- 2月 ・北海道日米協会～オレゴン日米協会が提携
- 3月 ・ベバリー・ブロックウェー氏が来札し、宮様スキー大会女子大回転で優勝
・月寒高校～レイノルズ高校が提携
・札幌北光教会～ノースミンスター長老教会が提携
- 4月 ・幌西小学校～ジャンジャコブアスター校が提携
・ポートルランドジュニアシンフォニーが札幌市に演奏テープを贈呈
・札幌の歯科医師団(団長 大庭秀一氏) 6名が訪ポ
・都市提携ニュース第1号及び『都市提携5年のあゆみ』を刊行
・札幌パークホテル～ベンソンホテルが提携
・札幌整肢学院～シュライナーズ肢体不自由児病院が提携
・手稲養護学校～ホラデーセンターが提携
- 5月 ・ロイヤルホテル～ポートルランドヒルトンホテルが提携
・栄養短期大学付属高校～セントメアリーズアカデミーが提携
・北星学園大学～ルイス&クラーク大学が提携
・アーネスト・タラ 北ポートルランドロータリークラブ会長夫妻が来札
- 6月 ・北海道放送がポ市で映画『姉妹都市ポートルランドを訪ねて』制作取材
- 7月 ・日本棋院札幌丁嚙会支部～日本棋院ポートルランド支部が提携
- 8月 ・札幌市議団4名が訪ポ
- 10月 ・日新小学校～ボーモント校が提携
・日本電信電話札幌支社～パシフィックノースウェストベル電話会社が提携
・原田市長親善使節団 22名が訪ポ
- 12月 ・ルイス&クラーク大学海外学習グループ(リチャーズ教授引率) 16名が来札
・イケバナ・インターナショナル札幌支部～イケバナ・インターナショナルポートルランド支部が提携

1966年(昭和 41年)

- 4月 ・1972年札幌冬季オリンピック決定し、シュランク市長が札幌市に祝電
- 5月 ・ルイス&クラーク大学海外学習グループ(リチャーズ教授引率) 18名が来札
・都市視察団6名が来札

- 7月 ・ポ市が札幌市に児童遊具約20点を贈呈し、中島公園と大通公園に設置
- 9月 ・ポ市が札幌市にベンソンの水飲みを贈呈し、大通公園に設置
 - ・ホクレン農業協同組合連合会～パシフィックサブライコーポレイティブが提携
 - ・草和会～ウイラメットアレンジャーズギルドが提携
 - ・宮の森幼稚園～フォスター校が提携
 - ・みなみ幼稚園～ホリールド校が提携
- 12月 ・ルイス&クラーク大学海外学習グループ(ジョンソン教授引率) 27名が来札

1967年(昭和41年)

- 1月 ・札幌アメリカ文化センターがポートランド文庫を開設
- 2月 ・ひぐち美容院～マックレー兄弟美容院が提携
 - ・月寒小学校～レント校が提携
 - ・白楊小学校～コリンズビュー校が提携
- 3月 ・日本キリスト教会札幌桑園教会～聖マルコ教会が提携
- 4月 ・ジェファーソン高校合唱団55名が来札し、公演
 - ・KOIN-TV局が来札し、ジェファーソン高校合唱団札幌公演などを取材
 - ・オレゴン州貿易使節団13名が来札
 - ・ポ市で「日本週間」(Salute to Japan Week)を開催し、札幌がフィルム『雪の都』、写真、児童の絵画、市内書家・画家の芸術作品、物産品などを展示



1967年4月 ジェファーソン高校合唱団札幌公演

- 6月 ・柏丘中学校～エインズワース校が提携
 - ・東高校～グラント高校が提携
 - ・ポートランド州立大学札幌夏期講習学生グループ(ドッジ教授引率) 32名が来札
 - ・札幌山岳会8名が訪ポ
- 8月 ・YMCA親善訪問団(団長 海老沢義道氏) 16名が訪ポ
 - ・プロビデンス号乗組員ポ市出身者 15名が来札
- 9月 ・ロバート・ソートン オレゴン州法務長官が来札し、札幌のバラの会展示会にポ市長杯を贈呈
- 10月 ・札幌山岳会～クラブラツ山岳会が提携
- 11月 ・ポ市親善使節団(団長 フランシス J.アイバンシー議長) 34名が来札
 - ・ポ市姉妹団体約40団体から贈物が到着
- 12月 ・世界姉妹都市コンテスト都市の部で1位を獲得



1967年12月 世界姉妹都市コンテスト最優秀賞の楯を原田市長に手渡すブリアー米領事とダットンアメリカンセンター館長

1968年(昭和43年)

- 1月 ・札幌市がポ市にオジロワシ1羽を贈呈
 - ・ルイス&クラーク大学海外学習グループ(ドールズ教授引率) 24名が来札
- 2月 ・ルイス&クラーク大学生が雪まつり雪像制作に参加
- 3月 ・『都市提携8年のあゆみ』刊行
- 6月 ・全国に先がけ、民泊受入家庭登録制度を実施
 - ・世界姉妹都市コンテスト都市の部で最優秀賞を受賞
- 8月 ・開道100年記念北海道中堅青年海外派遣団が訪ポ
 - ・札幌市議団4名が訪ポ
- 10月 ・札幌青年会議所～ポートランド青年会議所が提携
- 11月 ・オレゴン州貿易使節団(団長 トム・マッコール オレゴン州知事) 12名が来札
 - ・提携委員会に歓迎部会(部会長 阿部謙夫氏)と青年交流部会(部会長 犬飼哲夫氏)を設置

1969年(昭和44年) [姉妹都市提携10周年]

- 6月 ・ポートランド州立大学札幌夏期講座(ドッジ教授引率) 21名が来札
 - ・ポ市が紹介映画『バラの街ポートランド』を製作
 - ・提携10周年企画部会(会長 三浦祐晶氏)を開催
- 7月 ・第7艦隊乗組員のポ市出身者13名が来札
 - ・手稲東小学校～アラメダ校が提携
 - ・香蘭女子学園高校米国視察団38名が訪ポ
 - ・ファッションモデルクラブ「麦」～バシストモデル学院が提携
 - ・国際ローズショーで大森光雄氏が出品したバラが国際グランプリ賞を受賞
- 10月 ・札幌親善使節団(団長 松宮議長) 22名が訪ポ
 - ・ファッションモデルクラブ「麦」が、ポ市でファッションショーを開催
 - ・北海道大学経済学部学生15名がポートランド州立大学で夏期講座
- 11月 ・都市提携10周年記念式典を開催し旭山記念公園ポートランドの森記念植樹(しらかば、ななかまど 153本)
 - ・札幌市で第1回英語弁論大会(高校、大学・一般の部)を開催

1970年(昭和45年)

- 1月 ・ルイス&クラーク大学海外学習グループ(ロバートソン教授引率) 20名が来札
- 2月 ・バシストモデル学院のモデル5名が来札し、雪まつりでファッションショーを開催
 - ・南郷小学校～アトキンソン校が提携
- 5月 ・ポートランド・札幌姉妹都市協会(PSSCA)委員長にロバートE.ドッジ ポートランド州立大学教授が就任
- 6月 ・札幌市の姉妹校26校で姉妹校連絡会(会長 磯貝旭丘高校長)を発足
- 7月 ・アメリカ中小企業視察団(団長 伊藤秀良氏) 22名が訪ポ
- 8月 ・第2回北海道中堅青年海外派遣団19名が訪ポ
- 10月 ・道庁海外研修員6名が訪ポ
 - ・イケバナ・インターナショナルポートランド支部3名が来札
- 11月 ・札幌市海外研修職員2名が訪ポ
 - ・札幌市で第2回英語弁論大会(高校、大学・一般の部)を開催
- 12月 ・北海道大学とポートランド州立大学の交換夏期講座が世界姉妹都市コンテスト団体の部で最優秀賞を受賞し、ドッジ都市提携委員長が来札



1970年12月 小学留学生のジョン・モリスさんとドッジ博士

1971年(昭和46年)

- 3月 ・ポ市が児童・絵画展を開催
- 4月 ・シュランク市長とポートランドゾンタクラブ16名が来札
・札幌ゾンタクラブ～ポートランドゾンタクラブが提携
- 5月 ・海外先進地研修団(団長 佐久間安世氏)22名が訪ポ
・ルイス&クラーク大学海外学習グループ(シユトルツ教授引率)20名が来札
- 6月 ・ポートランド州立大学札幌夏期講座(ドッジ教授引率)29名が来札
・原田前市長が都市提携委員会の名誉委員長に就任
・札幌消費者協会～オレゴン消費者リーグが提携
- 7月 ・中学校英語科教員米国研修団(団長 西村守氏)11名が訪ポし研修
・海外教育事情視察団(団長 中垣正史氏)18名が訪ポ



1971年7月 ハワード P. トレーバー市長補佐が板垣市長訪問

- 8月 ・世界姉妹都市コンテスト都市の部で表彰
・札幌市内姉妹小学校がポ市日本週間へ絵画作品129点を送付
- 9月 ・板垣武四市長夫妻が訪ポ
- 10月 ・北海道大学経済学部学生18名がポートランド州立大学で夏期講座
・シュランク市長親善使節団20名が来札
- 11月 ・札幌青年会議所(団長 畑中俊介氏)17名が訪ポ
・札幌市がポ市にエングタスキーつがいを贈呈
・札幌市で第3回英語弁論大会(高校、大学・一般の部)を開催

1972年(昭和47年)

- 1月 ・喫茶ウェスト～喫茶ジェードウェストが提携
- 2月 ・札幌オリンピックで姉妹都市親善訪問団(団長 フィッシャー氏)103名が来札
・札幌アーチェリー協会～クイバーラトラーズアーチェリークラブが提携
・札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース～ポートランドゴルフクラブが提携

- 3月 ・札幌市議団4名が訪ポ
- 4月 ・ディビット・ゲンスさんが来札し、西高校・ウィルソン高校交換留学プログラムに参加



1972年5月 ポートランドから贈られたバラの苗木を百花園に植える

- 6月 ・札幌四番街商店街振興組合～ポートランドモール205が提携
- 7月 ・クリーブランド高校野球チーム21名が来札し、北海高校、札幌商業高校、札幌経済高校と親善試合を開催
・札幌市で国際親善都市連盟主催都市事業研究会を開催
・バラの女王メアリー・マツニー氏が来札し、札幌夏まつりに参加
- 8月 ・世界姉妹都市活動コンテスト都市の部で表彰
- 9月 ・ニール・ゴールドシュミット次期市長夫妻が来札
・カナダ・アラスカ経済文化視察団(堂垣内知事、杉本道議、平瀬助役等)5名が訪ポ
・第3回北海道中堅青年海外派遣団が訪ポ



1972年9月 ゴールドシュミット次期市長を囲む子どもたち

- 11月 ・札幌市で第4回英語弁論大会(高校、大学・一般の部)を開催。12月に札幌青年会議所が優秀者を第1回親善使節としてポ市に派遣
- 12月 ・北海道大学～ポートランド州立大学が提携
・三ツ輪航空サービス～アズマトラベルサービスが提携
・札幌YMCA～ポートランドYMCAが提携
・シュランク前市長を札幌市名誉市民に選定

1973年(昭和48年)

- 1月 ・北海道YMCA主催国際文化交流北米・カナダ公演団(団長 海老沢義道氏)34名が訪ポし、琴・書道など日本の伝統芸術を紹介
・ルイス&クラーク大学海外学習グループ22名が来札し、雪まつり雪像制作に参加
- 2月 ・ロイド・アンダーソン コミッショナーが来札
- 6月 ・ミスさっぽろ高橋真由美氏が訪ポし、ローズフェスティバルパレードに「Sapporo」と題する花車で参加

- ・ポर्टランド州立大学札幌夏期講座(ドッジ教授引率) 21名が来札
- 7月 ・ライオンズクラブ青少年交換学生4名が訪ボ
- 8月 ・都市提携委員会に募金部会設置(部会長 三浦祐晶氏)
- ・北海道大学学生 4名と北星学園大学学生2名が訪ボし、姉妹校留学プログラムに参加
- 9月 ・ポ市動物園が円山動物園にビーバー1つかいを贈呈
- 10月 ・第1回姉妹都市交換写真コンテストを開催。テーマは「札幌の生活」
- 11月 ・板垣市長親善使節団 27名が訪ボ
- ・札幌市・ポ市交換職員プログラムで下水道局職員1名が訪ボし、1年間ポ市役所に勤務
- ・札幌市で第5回英語弁論大会を開催。「中学の部」を追加。12月に在札9ライオンズクラブが成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- ・ポर्टランド生け花グループ(団長 遍照寺和光氏) 9名が来札



1973年11月 交換職員プログラムを取り交わす

- 12月 ・嵯峨御流北海道司所～嵯峨御流北米司所が提携

1974年(昭和49年) [姉妹都市提携15周年]

- 4月 ・キース・アイズリー PSSCA委員夫妻がYMCA講師として来札
- 5月 ・民泊登録家庭グループが訪ボ
- 6月 ・嵯峨御流南秀月氏が訪ボ
- 7月 ・民泊家庭主婦対象英会話講習会でアイズリー夫妻が講師
- 8月 ・リーダーズダイジェスト誌編集部が札幌の姉妹都市活動を取材
- ・世界姉妹都市コンテストビジネス・プロフェッショナル交換部門と教育交流部門で最優秀賞を受賞
- 9月 ・第4回北海道中堅青年海外派遣団が訪ボ
- ・円山動物園がポ市動物園にエゾタヌキ2頭を贈呈
- 10月 ・オレゴン科学産業博物館(OMSI)の施設拡充のため姉妹団体が品物を寄贈して協力
- ・北海道青年海外科学文化視察団11名が訪ボ
- ・国際文化交流使節団(団長 伊藤千秋氏)29名が訪ボ
- ・登森李雄オレゴン日系人会長が来札
- 11月 ・シュランク前市長及びトレバー前市長補佐官が来札
- ・都市提携15周年記念行事・記念祝賀会を開催
- ・札幌市がポ市に観光映画2本を贈呈
- ・北陵高校～リンカーン高校が提携
- ・第2回姉妹都市交換写真コンテストを開催。テーマは「札幌」
- ・姉妹都市親善訪問団(団長 中村勝美氏)18名が訪ボ
- ・札幌市で第6回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に在札9ライオンズクラブが成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣



1974年11月 姉妹都市提携15周年記念パーティ



1974年11月 シュランク前市長がいつみ幼稚園を訪問

- 12月 ・リチャード E.ジョンソン ポ市職員が交換職員として来札

1975年(昭和50年)

- 3月 ・第3回姉妹都市交換写真コンテストを開催。テーマは「冬の札幌」
- 5月 ・バラの女王ダニタ・ルーズィック氏が来札し、ライラック祭りに参加
- ・北海道テレビ放送～ポर्टランド KATUが提携
- 6月 ・札幌交響楽団姉妹都市親善演奏旅行団(団長 板垣市長)122名が訪ボし、公演
- ・ミスさつぼろ三好真知子氏が訪ボし、ローズフェスティバルに参加
- 7月 ・北海道テレビ放送関係者3名が訪ボ
- ・IAY視察団19名が訪ボ
- 9月 ・ゴールドシュミット市長ほか41名が来札し、日米市長及び商工会議所会頭会議(札幌市)に参加
- ・ポ市が札幌市にインディアン神の仮面を贈呈
- 11月 ・札幌市で第7回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

1976年(昭和51年)

- 3月 ・第4回姉妹都市交換写真コンテストを開催。テーマは「札幌のまつり」
- ・嵯峨御流生け花交流団10名が来札
- 4月 ・札幌アマチュア無線連盟～ポर्टランドアマチュア無線クラブが提携
- 5月 ・札幌ボーイスカウト40名が訪ボし、米国建国200年記念ジャンボリー大会に参加
- ・ドン・シュランダー氏(東京五輪水泳金メダル)が来札
- 6月 ・ポर्टランド州立大学札幌夏期講座(ドッジ教授引率)10名が来札
- ・IAY研修団30名が訪ボ

- 7月 ・山本建築設計事務所～ラッド・ヨドガワ・マッカートン建築会社が提携
- 10月 ・ポートルランド生け花交流団(団長 カズコ・ヘンジョージ氏) 22名が来札し、ポ市が札幌市にバラの苗木を贈呈
- 11月 ・札幌市で第8回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- 12月 ・新川中央小学校～チーフジョセフ校が提携

1977年(昭和 52年)

- 1月 ・札幌工業高校～ベンソン工業高校が提携
- 3月 ・第5回姉妹都市交換写真コンテストを開催。テーマは「札幌の子供たち」
- 5月 ・北海道放送～ポートルランド KGW-TV局が提携
- 7月 ・IAY研修団 45名が訪ポ
- 8月 ・板垣市長親善使節団14名が訪ポ
・札幌市がポ市にライラック苗木を贈呈
・札幌ユース・センター10名が訪ポ
- 9月 ・水墨画池内流墨彩会4名、矢沢アートフラワー教室13名が訪ポ
- 10月 ・天政～ブッシュガーデンが提携
- 11月 ・札幌市で第9回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

1978年(昭和 53年)

- 3月 ・第6回姉妹都市交換写真コンテストを開催。テーマは「スポーツ&ゲーム」
- 4月 ・若菜会(琴)～みやび会が提携
- 6月 ・ポートルランド州立大学札幌夏期講座 10名が来札
- 7月 ・第1回札幌市少年婦人ポートルランド派遣団(団長 神戸市民局長) 31名が訪ポし、札幌市がポ市に映画『札幌雪まつり』を贈呈
- 8月 ・オレゴンスクエアダンサーズ 20名が来札
- 10月 ・札幌・ポートルランド姉妹団体連絡協議会が発足
- 11月 ・ポ市が各姉妹校に青年会議所を通して児童絵画600点を贈呈
・札幌市で第10回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

1979年(昭和 54年) [姉妹都市提携 20周年]

- 1月 ・札幌商工会議所婦人クラブ 30名が訪ポ
- 2月 ・雪まつり大通りHBC広場に大雪像ピトック・マンションを制作
- 3月 ・第7回姉妹都市交換写真コンテストを開催。テーマは「家族生活」
- 6月 ・姉妹団体親善訪問団(団長 秋山擴氏) 46名が訪ポし、サッポロウィークに参加
・ポ市でサッポロウィークを開催
・マラソン選手団(団長 小玉昌俊体育部長) 5名が訪ポし、カスケード・ラン・オフに参加
・全米学生野球チームのポ市出身者3名が来札
- 7月 ・シリオス雑誌ポートルランド編集長が来札
・北星学園大学語学研修グループ31名が訪ポし、姉妹校ルイス&クラーク大学で研修
- 8月 ・親善使節団(団長 ジョーダン コミッショナー) 44名が来札し、ポートルランドウィークに参加
・バラの女王ロシェル・アンダーソン氏が来札し、さつぽろ夏まつりの花車に参加

- ・丸井今井デパートでポートルランドの芸術家が出品するポートルランド美術工芸展を開催
- ・円山動物園～ワシントンパーク動物園が提携
- ・北区連合町内運営協議会～北ポートルランド近隣協会が提携
- ・姉妹団体連絡協議会が札幌で「さつぽろの美'79」を開催し、その益金をポートルランド日本バピリオン建設のため寄付
- ・札幌市で第11回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- 10月 ・チャーター便「北方圏親善の翼」(団長 河崎助役) 146名をポ市へ運航
・マラソン選手団(団長 チャールズ・ギャルフォード氏) 10名が来札し、札幌マラソンに参加
・小沢輝佐子舞踊団 33名が訪ポし、チノミシリ上演
- 11月 ・コニー・マックレディー市長親善訪問団 30名が来札
・ポートルランドユースフィルハーモニック(団長 ロバート・ノール氏) 131名が来札し、公演
・三信倉庫～ルデイ・ウィルヘルム倉庫が提携
・ニューフラワー美容室・クニ美容室～ゲリーラッキー美容室が提携
・橘忍氏、本村隆氏、杉田度忠氏、長谷井真信氏、三浦祐晶氏、小倉和子氏の6氏に姉妹提携功労者として札幌市長が感謝状を贈呈

1980年(昭和 55年)

- 2月 ・中央ライオンズクラブが札幌市役所1階ホールでポ市姉妹校児童の絵画作品を展示
- 3月 ・『都市提携 20年のあゆみ』刊行
- 6月 ・マラソン選手団(団長 花輪明夫氏) 4名が訪ポし、カスケード・ラン・オフに参加
・ルイス&クラーク大学海外学習グループ(コダチ教授引率) 24名が来札
・ポートルランド州立大学札幌夏期講座(ワーツ教授引率) 13名が来札
- 7月 ・第2回札幌市少年婦人ポートルランド派遣団(団長 津坂総務局長) 31名が訪ポ
- 8月 ・日本ボーイスカウト北海道連盟(33名) が訪ポ
- 9月 ・ヨット「シーガル号」(艇長 野村輝之氏) 4名が太平洋横断航海の後、訪ポ
・第8回姉妹都市交換写真コンテストを開催。テーマは「移りかわる札幌の街と市民の表情」
・道青年婦人海外研修グループ(3名) が訪ポ
・札幌市で第12回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- 11月 ・日本ビジネス総合専門学院海外研修グループ(21名)、日本電信電話ユーザー協会(21名) が訪ポ

1981年(昭和 56年)

- 1月 ・ゴールドシュミット米国政府運輸長官(元市長) と子息が来札
・KGW-TV局取材班(団長 ラムゼー・プロデューサー) 4名が来札し、特別番組を制作
- 6月 ・イケバナ・インターナショナル交流団(団長 カズコ・ヘンジョージ氏) 36名が来札
・アメリカ福祉事業研修旅行団(14名) が訪ポ
- 7月 ・ポートルランドボーイスカウト関係者4名が来札
- 8月 ・ポートルランド少年婦人訪問団(団長 リンドバーク・コミッショナー) 34名が来札

- ・札幌草月会3支部～草月会ポートランド支部が提携
 - ・みやび会5名が訪ポ
 - ・札幌市で第13回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- 11月 ・板垣市長親善訪問団 17名が訪ポ
- ・第9回姉妹都市交換写真コンテストを開催。テーマは「喜び」

1982年(昭和57年)

- 2月 ・アイバンシー市長が来札し、北方都市会議に参加



1982年2月 第1回北方都市会議で発表するアイバンシー市長

- 6月 ・姉妹団体親善訪問団(団長 大津慶吾氏) 22名が訪ポ
- ・草月会親善訪問団(団長 小倉和子氏) 38名が訪ポし、生け花展示会を開催
 - ・リンカーン高校日本語講座学生(ジョーンズ教諭引率) 12名が来札し、市内の高校で授業に参加
 - ・向陵中学校～ボーマント中学校が提携
 - ・もみじ台南中学校～マークハム中学校が提携
 - ・手稲東中学校～ファンウッド中学校が提携



1983年7月 少年婦人訪問団さよならパーティ

- 7月 ・第3回札幌市少年婦人ポートランド派遣団(団長 尾崎企画調整局長) 32名が訪ポ
- ・ポートランド州立大学札幌夏期講座(ウォルトン教授引率) 10名が来札
 - ・第10回姉妹都市交換写真コンテストを開催。テーマは「自由題」
- 10月 ・ポ市で開催「鉱物・宝石展」に北海道地下資源調査所の協力で鉱物標本を出品
- ・嵯峨御流生け花訪問団(団長 南秀月氏) 9名が訪ポ
 - ・マラソン選手団(団長 ミシェル・ボウラー氏) 4名が来札し、札幌マラソンに参加
 - ・札幌市で第14回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

1983年(昭和58年)

- 2月 ・北海道青年婦人海外研修団(分団長 浜波優氏) 10名が訪ポ
- 4月 ・KATU-TV局取材班(代表 ベック プロデューサー) 4名、ポ市長補佐が来札し、『Faces & Places』を制作
- ・ポ市ダウタウンにパイオニアコートハウススクエアが完成。札幌市民が179枚の底面レンガを寄付
- 6月 ・北海道大学歯学部(団長 西風歯学部長) 6名が訪ポ
- 7月 ・ポートランド少年婦人訪問団(団長 スローン・コミッション) 32名が来札
- ・リーダーズダイジェスト財団主催世界姉妹都市コンテスト青少年プログラム優秀賞を受賞
 - ・ボーイスカウト海外交流派遣団(25名) が訪ポ
- 8月 ・北九条小学校～バーノン小学校が提携
- ・篠路中学校～ウイタカーコロンビア中学校が提携
 - ・新川高校～ルーズベルト高校が提携
 - ・北星学園大学アメリカ研修旅行団(矢口教授引率) 51名が訪ポ
 - ・北海道幼児教育研究集団北方圏研修旅行団(団長 塩原三男氏) 13名が訪ポ
- 9月 ・ルイス&クラーク大学海外学習グループ(シュナイダー教授引率) 24名が来札
- 10月 ・第11回姉妹都市交換写真コンテストを開催。テーマは「幼い頃」
- ・藤間琴苑舞踊団(30名)、北星学園大学留学生(12名) が訪ポ
 - ・札幌市で第15回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣



1983年12月 ポートランド市長を訪問する英語弁論大会親善使節

- 11月 ・アイバンシー市長親善訪問団 27名が来札

1984年(昭和59年) [姉妹都市提携25周年]

- 2月 ・雪まつり真駒内会場で大雪像ポ市開拓裁判所を制作
- ・ルイス&クラーク大学海外学習グループ 25名が来札し、真駒内会場で雪像2基を制作
 - ・KDDの協力により、雪まつり開会式場で両市長の国際通話を実施
- 3月 ・北星学園大学留学生(土橋信男教授引率) 12名が訪ポ
- ・ボイドコーヒー副社長、バンダインチョコレート社長が来札し、札幌見本市会場を視察
- 5月 ・PSSCA会長ら5名が来札し、札幌国際見本市の出展準備
- ・都市提携記念シンボルマーク及び記念バッジ、記念 Tシャツを制作

- ・丸井デパートで水道局主催札幌とポートランドの水道展を開催
- ・ポートランド歴史保存委員会が開拓裁判所大雪像及びピトック・マンション大雪像(昭和54年制作)に優秀賞を贈呈
- 6月
 - ・第3回姉妹団体連絡協議会主催親善訪問団(団長 大津慶吾氏) 10団体・82名が訪泊
 - ・札幌四番街商店街振興組合の祭りみこしがローズフェスティバルパレードに参加
 - ・ジュニアアイスホッケー選手団(団長 片岡勲氏) 25名が訪泊し、ローズフェスティバル大会に参加
 - ・澄川南小学校～キャピトルヒル小学校が提携
 - ・ポ市経済視察団(団長 アイバンシー市長) 4名が来札し、札幌国際見本市に参加
 - ・3市長が瀋陽市で「日本国札幌市とアメリカ合衆国ポートランド市と中華人民共和国瀋陽市の経済、技術、文化の友好交流及び協力に関する合意書」に調印
 - ・北海道放送が、同時衛星生中継特別番組『今、ふたつの街は』を放映
 - ・婦人文化センターがガート・ボイル女史による婦人講演会を開催
 - ・マラソン選手団(団長 藤原幸雄氏) 4名が訪泊し、カスケード・ラン・オフに参加
 - ・ポートランド州立大学札幌夏期講座(コミニツ教授引率) 15名が来札
 - ・翻訳ボランティアの協力によりポ市の観光案内書『ポートランド・ガイド』を発行
 - ・オレゴンヘルスサイエンス大学歯学部 10名が来札
 - ・リンカーン高校(ジョーンズ教諭引率) 5名が来札
- 7月
 - ・ポートランド長老派教会アジア旅行団(団長 ロン・シモンズ氏) 93名が来札し、北の美の集いグループ(代表 中野北冥氏) が日本の伝統芸術を紹介
- 8月
 - ・第4回札幌市少年婦人ポートランド派遣団(団長 浦田北区长) 35名が訪泊
 - ・第12回姉妹都市交換写真コンテストを開催。テーマは「橋」
 - ・ヨット「シーガル号」乗組員4名が訪泊
- 9月
 - ・ジャンボチャーター便「ポートランド親善の翼」(団長 板垣市長) 353名が訪泊
 - ・ポートランド公演・展示団(団長 福田潤三氏) がアートクエイク祭の「サッポロススペシャルデー」に参加
 - ・姉妹校生徒派遣団(団長 竹内善隆氏) が家庭訪問などの歓迎行事に参加
 - ・札幌市がポ市に陶器(荒磯焼、下沢土泡作)と版画(Reborn、矢崎勝美作)を贈呈
 - ・ヨット「シーガル号」(艇長 野村輝之氏) 1名が世界一周航海の途中、訪泊
 - ・丘珠高校～マーシャル高校が提携
 - ・札幌花き地方卸売市場～オレゴン花き生産者協会が提携
 - ・オレゴン科学産業博物館(OMSI) の施設拡充に伴う競売に札幌市民が品物を提供
 - ・KOIN-TV取材チーム2名が来札
- 10月
 - ・マラソン選手団(団長 トリシア・ノール氏) 2名が来札し、札幌マラソン大会に参加
 - ・「札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市及び瀋陽市、国際ジュニアスポーツ交流代表者会議に関する確認書」に調印
 - ・札幌市で第16回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- 11月
 - ・アイバンシー市長親善訪問団 147名が来札
 - ・アイバンシー市長に名誉市民章を贈呈
 - ・都市提携 25周年記念式典を開催

- ・ポ市が札幌市に仮面(陶製インディアン面、リアン・ピッツ作)を贈呈
- ・ポ市が札幌・ポートランド姉妹団体連絡協議会、札幌市姉妹校連絡会に姉妹提携功労団体の感謝状を贈呈
- ・清田・北野地区町内会連合会～ウエスト・ノースウエスト地区近隣協会が提携
- ・いづみ幼稚園～ヘイハースト校が提携
- ・丸井デパート大通館で姉妹校合同作品展・交換版画展を開催
- ・札幌グランドホテルでポートランドフェアを開催
- ・ふれあい広場でポ市との交流の歴史写真展「ポートランド展」を開催



1984年11月 ウエスト・ノースウエスト近隣協会と清田・北野地区町内会連合会の姉妹都市提携調印記念祝賀会



25周年記念に開催されたポートランド物産展

1985年(昭和60年)

- 1月
 - ・ジュニアアイスホッケー選手団(団長 ジェリー・コプタ氏)、フィギュアスケート選手団(団長 オーネ・スポールディング氏) が来札し、親善試合を開催
- 2月
 - ・雪まつり会場からKDDの協力により公開国際通話を実施
 - ・デービス パシフィックリムグループ社長が来札し、スキーウエア産業の市場調査を実施
 - ・伊藤組がポートランドパックウエストビルに海外事務所を開設。札幌産品コーナーを設置
- 6月
 - ・J.E. バッド・クラーク市長団4名が来札し、札幌・瀋陽友好都市提携5周年記念式典に参加
 - ・FM北海道～ポートランド KMJK107FMが提携
 - ・札幌市立病院～グッドサマリタンホスピタル&メディカルセンターが提携
 - ・カメラのイシオ～ポートランドサンデーズカメラ店が提携
 - ・北海道デザイナーズスクール～オレゴン美術工芸学校が提携
- 7月
 - ・オレゴン州の教師 16名が来札
- 8月
 - ・ポートランドコミュニティーカレッジ 18名が来札

- ・札幌中学校～マウントテーパーズスクールが提携
- ・ポートランド・瀋陽少年婦人訪問団(ポ市 38名、瀋陽 10名)が来札
- ・ポ市造園設計技師2名が来札し、花と緑の博覧会のポートランド庭園造成の打ち合わせ



1985年8月 ポートランド庭園設計者の来札

- 10月
- ・オレゴン花き生産者協会 33人が来札
 - ・札幌市で第17回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣



1985年10月 オレゴン花き生産者協会が姉妹団体交流で来札

- 11月
- ・札幌市の若手経営者5名が訪ポ

1986年(昭和61年)

- 1月
- ・スキークラブ 13名が来札し、札幌のスキークラブと交流
- 2月
- ・ポ市の弁護士1名が来札
 - ・ポ市の教育関係者2名が来札し、教育現場を視察
- 4月
- ・ルイス&クラーク大学国際交流次長が来札
- 5月
- ・ポ市庭園建設技術者1名が来札し、ポートランド庭園の建設指導
 - ・札幌自転車競技連盟代表1名が訪ポ
 - ・ジュニアフィギュアスケート選手団 13名が訪ポ
 - ・札幌体育連盟副会長が訪ポ
- 6月
- ・ジュニアアイスホッケー選手団24名が訪ポし、ローズフェスティバル大会に参加
 - ・ジュニア体操選手団19名が訪ポし、交流演技会に参加
 - ・アイバックインサッポロ3名が訪ポ
 - ・クラーク市長団15名が来札
 - ・ポ市が札幌花と緑の博覧会に庭園を出展
 - ・4姉妹都市における「経済、技術、文化の分野における友好交流及び協力」に調印



1986年6月 花と緑の博覧会会場のポートランド庭園

- 7月
- ・ルイス&クラーク大学関係者が来札
 - ・ガールスカウト札幌地区団6名が訪ポ
 - ・女子バレーボール選手団(団長 ゲーリー・ハツェル氏) 18名が来札し、姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流に参加
 - ・ポートランド YMCA 22名が来札
 - ・第5回札幌市少年婦人ポートランド派遣団(団長 朝倉市民局長) 35名訪ポ
 - ・北星学園大学 25名が訪ポ
- 8月
- ・ボーイスカウトコロンビアパシフィック地区団 19名が来札し、ボーイスカウト札幌地区と提携
 - ・ポートランドオブカン剣道クラブ代表1名が来札
 - ・ポートランドバレーオブオレゴン13名が来札し、花と緑の博覧会参加
 - ・市立札幌病院院長ら3名が訪ポし、グッドサマリタンホスピタルを訪問
- 9月
- ・ルイス&クラーク大学 29名が来札し、姉妹校北星学園大学へ短期留学
 - ・札幌市立図書館長が訪ポし、視察
 - ・札幌市の障害者、福祉関係者15名が訪ポ
- 10月
- ・ポートランド嵯峨御流5名が来札
 - ・札幌市で第18回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- 11月
- ・オレゴンヘルスサイエンス大学2名が来札
 - ・国際ソロプチニスト札幌代表2名が訪ポ
 - ・札幌市が氷彫刻派遣団3名をポ市に派遣
- 12月
- ・ポートランド南東地区代表2名が来札し、白石区と提携

1987年(昭和62年)

- 1月
- ・ジュニアアイスホッケー選手団39名が札幌アイスホッケー連盟の招待で来札し、HTB杯全国選抜アイスホッケー大会などに参加
 - ・コンコーディア大学長が来札し、同大聖歌隊の公演打ち合わせ
- 2月
- ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム・ポートランドスキークラブ4名が来札し、札幌スキー連盟と交流
 - ・クラーク市長団29名が来札し、経済交流の打ち合わせと雪まつりに参加
 - ・ポ市テレビ局 KGWが来札し、雪まつり取材
- 3月
- ・ポイドコーヒー社副社長が来札
 - ・北海道放送とポ市テレビ局 PBSが通信衛星を利用した同時二元放送を実施。テーマは「老人問題について」
 - ・HBCジュニアオーケストラ 44名が訪ポし、公演
- 4月
- ・ノースポートランド地区代表が来札
- 6月
- ・ポ市代表2名が来札し、札幌国際見本市に参加
 - ・グラッドストーン小学校教員代表団9名が来札し、姉妹校の市立厚別西小学校を訪問
- 7月
- ・ポ市ボーイスカウト連盟長が来札

- 8月 ・ポートランド少年婦人訪問団34名が来札し、札幌・ミュンヘン姉妹都市提携15周年記念式典に参加
 - ・ポ市体操選手団が来札し、札幌体操連盟と交流
 - ・水泳選手団(団長 松村郁夫教育長)9名が訪泊し、姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流に参加
 - ・ポ市出身者4名が国際交流員1名、英語指導助手3名として着任
 - ・西岡中学校～タブマン校が提携
- 9月 ・ルイス&クラーク大学学長が来札し、姉妹校北星学園大学を訪問
- 10月 ・ポ市代表2名が来札し、札幌市コンピューターグラフィックシンポジウムに参加
 - ・札幌市で第19回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- 11月 ・ポ市コンベンションマネージャーが来札し、国際プラザ主催ポートランド市の観光とコンベンション事情懇談会に参加
- 12月 ・PSSCA事務局長が来札し、経済交流の打ち合わせ

1988年(昭和63年)

- 1月 ・ポ市開発局諮問委員2名が来札
- 2月 ・ポートランドボイドコーヒー代表3名が来札し、札幌企業と提携の話し合い
- 5月 ・ポートランドメトロポリタンプラス六重奏団6名がライラックライオンズクラブの招待で来札し、公演
 - ・ポートランド州立大学事務長が来札し、姉妹校北海道大学を訪問
 - ・三浦祐晶ポートランド协会会长が訪泊
- 6月 ・ジュニアアイスホッケー選手団70名が訪泊し、ローズフェスティバル大会に参加
 - ・ミスさつぼろ3名が訪泊し、ローズフェスティバルに参加
 - ・民社党北海道連合会工藤寛氏が訪泊
 - ・北海道大学歯学部8名が訪泊し、姉妹校オレゴン医科大学を訪問
 - ・ポ市理科教員団5名が来札し、教育委員会を訪問
- 7月 ・第6回札幌市少年婦人ポートランド派遣団(団長 森市民局長)35名が訪泊
 - ・厚別西小学校教員団15名が訪泊し、姉妹校グラッドストーン校を訪問
 - ・ポ市15名が来札し、道新主催国際ジュニアアートキャンプに参加
 - ・ポートランド州立大学生13名が来札し、北海道大学サマーセミナーに参加
- 8月 ・札幌市総務局長が訪泊し、ポートランド日本庭園25周年記念式典に出席
 - ・オレゴン人形劇師2名が来札し、札幌市こどもの劇場やまびこ座オープン公演。ナッツ・レオの人形を贈呈
 - ・北海道テレビ放送スタッフ2名が訪泊し、日本海ヨットレースの打ち合わせ
 - ・男子バスケットボール選手団7名が来札し、姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流に参加
- 9月 ・JR苗穂駅構内アメリカンコンテナにポートランドコーナーを設置
- 10月 ・札幌で札幌・ポートランド経済セミナーを開催
 - ・オレゴン州政府関係者20名が来札し、札幌・ポートランド経済セミナーに出席
 - ・ポートランドベンサムライオンズクラブ会員17名が来札し、円山ライオンズクラブと交流
 - ・長岡武夫市議が訪泊し、視察
 - ・ウィリアム・スコット ポートランド商業地域開発公社社長が来札
 - ・札幌市理科教員団5名が訪泊し、視察研修

- ・札幌市で第20回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣



1988年10月 札幌で開かれた「札幌・ポートランド経済セミナー」

- 11月 ・北海道放送雪像制作調査団3名が訪泊

1989年(平成元年) [姉妹都市提携30周年]

- 1月 ・北海道開拓記念館紺谷課長が訪泊し、オレゴン歴史博物館訪問
 - ・あゆみ幼稚園保母2名が訪泊し、研修
 - ・ポ市在住の予備役軍人7名が来札
- 2月 ・秋山愛生館秋山孝二氏が訪泊し、経済視察
 - ・バラの女王親善使節団6名が来札し、ポートランド市庁舎雪像完成式に参加
 - ・雪まつり国際雪像コンクール参加チームが来札



1989年2月 来札したバラの女王のケリー・マニングさん

- 4月 ・新川高校5名が訪泊し、姉妹校ルーズベルト高校を訪問
- 6月 ・ポートランドバイブルカレッジ聖歌隊デスティニーが来札し、コンサートを開催
 - ・渡辺交流課長が訪泊し、30周年事前打ち合わせ
 - ・第4回姉妹団体連絡協議会親善訪問団27名(団長 大津慶吾氏)が提携30周年を記念して訪泊
 - ・いけばな嵯峨御流13名が訪泊し、30周年記念日米合同花展を開催



1989年6月 ポートランドバイブルカレッジ聖歌隊が来札

- 7月
 - ・ポートランド提携30周年を記念してチャーター便で約400名の市民(市長団、市民団、姉妹校訪問団、文化団、経済団など)が訪泊
 - ・HBC少年少女合唱団・父母160名が訪泊し、30周年記念公演を開催
 - ・ポ市で札幌・ポートランド経済セミナーを開催
 - ・ポートランドコロンビアリバーガールスカウト10名が来札し、姉妹団体ガールスカウト北海道支部と交流
 - ・ポ市10名が来札し、国際ジュニアアートキャンプに参加
 - ・第17回姉妹都市交換写真コンテストを開催
- 8月
 - ・ポートランド少年婦人訪問団32名が来札
 - ・陸上競技選手団(団長 国島峰夫教育次長)19名が訪泊し、姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流に参加
 - ・アイスホッケー・フィギュアスケート選手団(団長 トニー・ホブソン氏)64名が来札し、札幌カップに参加
 - ・ポ市出身者3名が英語指導助手として着任
- 9月
 - ・ポートランド30周年訪問団65名(市長団、文化団、市民団)が来札し、記念式典・祝賀会、国際ホームステイ会議、国体開会式に出席
 - ・ジェームス・デブリースト オレゴン交響楽団監督夫妻が来札し、30周年記念行事として札幌定期演奏会を指揮
 - ・リチャード E.リード オレゴニアン紙記者が来札し、板垣市長にインタビュー
 - ・ルイス&クラーク大学交換留学生26名が来札し、姉妹校北星学園大学に留学



1989年9月 姉妹都市提携30周年記念式典

- 10月
 - ・マラソン選手団4名が来札し、札幌マラソンに参加。デビット・ステフェンス選手が2位
 - ・札幌市高等学校教員4名が訪泊し、海外研修プログラムに参加
 - ・金田円山動物園長が訪泊し、姉妹団体ワシントン動物園を訪問
- 11月
 - ・マイク・マイルズ氏が来札し、ポートランドパビリオン設置事前調査
 - ・札幌市で第21回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣



1989年11月 熱弁をふるったあとの授賞式(高校の部)

- 12月
 - ・蝶理(株)3名が訪泊し、ポートランドとの経済交流打ち合わせ

1990年(平成2年)

- 2月
 - ・ポートランド青年会議所(団長 ビル・プレム氏)4名が来札
 - ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム(団長 レオン・ローシカ氏)4名が来札し、西武魂の顔を制作
 - ・秋山愛生館秋山孝二氏が訪泊し、経済視察
- 5月
 - ・マーク・ドットソン弁護士が来札し、板垣市長を表敬訪問。エレクトロニクスセンターを訪問
 - ・ジョン F.ベンケ ポートランドフィッシャー放送局社長ほか2名が来札し、姉妹局北海道テレビ放送と交流
 - ・ロス・ピータソン下水処理部長が来札し、本市の下水道事業概要とコンポスト施設を視察
- 6月
 - ・ポートランドパビリオン設計者のビル・ベリー氏が来札し、芸術の森を視察
 - ・三橋牧師夫妻2名が訪泊し、クラーク市長訪問
 - ・グラッドストーン小学校教育団3名が来札し、姉妹校厚別西小学校と交流
 - ・ポートランド企業関係者が来札し、札幌国際見本市に参加
- 7月
 - ・HIMES音楽交流団(団長 河邨文一郎氏)10名が訪泊し、公演
 - ・ポ市4名が来札し、国際ジュニアアートキャンプに参加
 - ・親善使節団(団長 ロバート・モアランド氏)11名が来札し、芸術の森姉妹都市ゾーンのポートランドパビリオン／ポートルンディア女神像公開式に参加
 - ・第7回札幌市少年婦人団34名(団長 中平青少年女性部長)が訪泊し、各種祝賀行事に参加
 - ・札幌・ポートランド経済セミナーを開催し、勝田助役他札幌商工会議所メンバー10名が参加
 - ・札幌市がウォーター・フロントパークの「ともだち広場」に音を奏でる彫刻を寄贈
- 8月
 - ・フィギュアスケート団14名が訪泊
 - ・札幌体操協会選手団14名が訪泊し、札幌・ポートランド体操交流事業に参加
 - ・バーバラ・ハーマンソン他4名が来札し、「999人の第九」コンサートに参加
 - ・ポ市の自動車タイヤチェーンメーカー・セキュリティーチェーン社(SCC社)が東京から札幌に日本支社を移転

- ・ロータリークラブ留学生クリストファー・ドーソンさん、ティモジー・ダインハートさん2名が来札し、1年間滞在
- 9月 ・ポートランドフットビュアマチュア無線クラブ会員4名が来札し、姉妹団体札幌アマチュア無線クラブと北海道ハムフェアに参加
- ・伊藤組伊藤社長、札幌市杉岡国際部長が訪泊し、オレゴンコンベンションセンターへのベル寄贈式及びオープニングセレモニーに出席
- ・マラソン役員団5名が訪泊し、マラソン交流の打ち合わせ
- ・ルイス&クラーク大学生6名が来札し、姉妹校北星学園大学に1年間留学
- 10月 ・サリー・マクレイノルズ ポートランド外国語学校アジア担当部長が来札
- 11月 ・札幌市で第22回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- 12月 ・チャーリー・アルコック ポートランドワールドトレードセンター会長が来札し、札幌における研究会を発足
- ・ポートランド日本語弁論大会優勝者エーリン・ペンティさん他1名が来札
- ・北陵高校姉妹校訪問団9名が訪泊し、姉妹校リンカーン高校と交流

1991年(平成3年)

- 1月 ・(株)濱建・濱田社長ら2名が訪泊し、スナイダールーフイング社と提携
- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム(代表 レックス・ボーラーマン氏)4名が来札
- ・雪まつり訪問団(団長 スティーブン・オルコット氏)13名が来札し、雪まつり開会式等に出席
- ・札幌・ポートランド姉妹団体連絡協議会総会を開催
- 4月 ・ニール・ゴールドシュミット市長/前オレゴン州知事が来札し、板垣市長と交流
- ・山下克彦教授が訪泊し、道教大主催国際理解のための教育プログラムの事前調査
- 5月 ・ポートランド商業会議所関係者5名が来札し、札幌商工会議所と交流、懇談
- ・アイスホッケー選手団35名が訪泊し、アイスホッケー大会に参加
- ・札幌アマチュア無線クラブ6名が訪泊し、姉妹クラブ・ポートランドフットビュアマチュア無線クラブと交流
- 6月 ・円山ライオンズクラブの14名が訪泊し、ポートランドベンサムライオンズクラブと提携
- ・白楊小学校～シットンスクールが提携
- 7月 ・リンカーン高校訪問団8名が来札し、姉妹校北陵高校と交流
- ・ポ市10名が来札し、国際ジュニアアートキャンプに参加
- ・教職員17名が訪泊し、道教大主催国際理解のための教育者プログラムに参加
- ・ポートランド少年婦人団31名が来札
- 8月 ・ノースウエスト体操協会24名が来札し、札幌体操連盟との親善競技会を開催
- ・女子バスケットボール選手団(団長 トンプソン M.ファーラー氏)18名が来札し、姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流に参加
- ・PSSCA理事が来札し、姉妹都市交流実務者会議に参加
- 9月 ・ルイス&クラーク大生8名が来札し、姉妹校北星学園大学に留学
- ・L・フロム女史が来札し、経済交流
- ・アメリカンフェア参加アーティスト3名が来札

- ・ポートランド日本語弁論大会優勝者が来札
- ・市立高等学校教員派遣プログラム4名が訪泊し、視察
- 10月 ・クラーク市長団11名が来札
- ・アイスホッケー選手団20名が来札し、札幌カップに参加
- 11月 ・札幌市で第23回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

1992年(平成4年)

- 1月 ・ポートランド歌劇場専属歌手カレン・パリス・ローさん来札し、2つのニューイヤーコンサートに出演
- ・厚別西小学校教員団12名が訪泊し、姉妹校グラッドストーン校を訪問
- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム(代表 レックス・ボーラーマン氏)4名が来札
- ・スティーブン・オーカット PSSCA副会長が来札



1992年2月 国際雪像コンクールAグループで優勝したポートランドの作品「アメリカ・インディアン」

- 4月 ・ポートランド州立大学生ロバート・コプタさんが来札し、日本語学習のため滞在
- ・国際ロータリー第2510地区とオレゴン州第5100地区との研究グループ6名が来札
- ・ポートランドユースフィル交響楽団111名が来札し、市民会館、市民ロビーコンサート及び市内5校で公演
- 5月 ・アイスホッケー選手団20名が訪泊し、アイスホッケー大会に参加
- ・桂信雄市長訪問団128名が訪泊し、琴・尺八、太鼓、西川流舞踏、フローラルアート/音羽流、桐壱人形いのしし会、札幌市剣道部がアメリカ・ジャパンウィークに参加



1992年5月 ポートランド市で開催されたアメリカ・ジャパンウィークでどさんこ太鼓を披露

- ・開成高校7名が訪泊し、クリーブランド高校と提携
- ・旭丘高校6名が訪泊し、姉妹校ジェファーソン高校と交流
- 6月 ・札幌青年会議所25名が訪泊し、青年会議所全米大会に参加
- 7月 ・ポ市 10名が来札し、国際ジュニアアートキャンプに参加
- ・コロンビアパシフィック連盟ボーイスカウト5名が来札し、日本ボーイスカウト札幌地区と交流
- 8月 ・ポ市出身者1名が英語指導助手として着任
- ・少年軟式野球連盟(団長 前野範行氏) 31名が訪泊し、軟式野球普及と親善試合を実施
- ・西岡北中福田教諭が訪泊し、研修
- 9月 ・ポートランドベンサムライオンズクラブ21名が来札し、姉妹団体円山ライオンズクラブと交流
- 10月 ・ルイス&クラーク大学9名が来札し、姉妹校北星学園大学で留学
- ・UHBの6名が訪泊し、『北緯 43°の旅』番組取材でジョン・ウエトンスクールを訪問、取材
- ・北海道新聞社編集局次長池城康朗氏が訪泊し、オレゴン紙と提携
- ・マラソン選手団が来札し、札幌マラソンに参加
- 11月 ・ポートランド青年会議所理事長ら2名が来札
- ・札幌市で第24回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- 12月 ・北陵高校7名が訪泊し、姉妹校リンカーン高校を訪問

1993年(平成5年)

- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム(代表 レックス・ポーラーマン氏) 4名が来札
- ・ポートランド観光協会関係者2名が来札し、観光促進セミナーに出席
- 3月 ・大学生9名が訪泊し、英語研修
- 5月 ・『999人の第九の会』の17名が訪泊し、『第九演奏会』に参加
- ・イケバナ・インターナショナルポートランド支部代表が来札し、姉妹団体イケバナ・インターナショナル札幌支部創立 30周年記念行事に参加
- 6月 ・元オレゴン大学医学部関係者3名が来札し、叙勲祝賀会に参加
- ・ポートランド商業会議所8名が来札し、国際見本市に参加
- ・ポートランド・ユースフィルPSSCA事務局長夫妻が来札し、(株)伊藤組創建 100年記念行事に参加
- ・ムタレ国際姉妹都市3カ国交流会議代表と札幌市国際部職員が訪泊
- 7月 ・クリーブランド高校5名が来札し、姉妹校開成高校と交流
- ・フィギュアスケート選手団34名が来札し、札幌カップに参加
- ・ジーン・キャンベル全米国際問題評議会職員が来札し、インターンとして日米地域における国際交流団体パートナーシップ促進プログラムに参加
- ・ポートランド少年女性交流団 22名が来札
- 8月 ・少年野球訪問団34名が来札し、札幌市少年野球連盟と親善交流
- ・ポ市 10名が来札し、国際ジュニアアートキャンプに参加
- ・アイスホッケー選手団(団長 ジェイ・ハラディ氏) 32名が来札し、札幌カップに参加
- ・リンドバーグ コミッショナー他2名が来札し、板垣前市長札幌市葬に参列
- 9月 ・オレゴン大学歯学部4名が来札し、姉妹校北海道大学歯学部と交流

- ・札幌市交通システム調査団8名が訪泊
- ・市立高校教員団4名が訪泊
- 10月 ・札幌商工会議所5名が訪泊し、サクラメントでの日米市長会議に参加
- ・土屋ノーマライゼーション住宅研修団が訪泊
- ・嵯峨御流北海道司所28名が訪泊し、姉妹団体北米司所との提携 20周年記念行事に参加
- 11月 ・北海道ウエイトリフティング協会 26名が訪泊し、カナダ/アメリカ親善交流を実施
- ・札幌市で第25回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- 12月 ・オレゴン州地盤の住宅メーカー2名が来札し、モデルハウス建設打診

1994年(平成6年) [姉妹都市提携 35周年]

- 1月 ・岩渕澄川中学校長が訪泊し、視察
- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム(代表 レックス・ポーラーマン氏) 4名が来札
- ・ゲイリー・ペイパーズ氏が来札し、ポートランド・米国都市建築設計展に参加
- ・佐藤忠明北海道管財課係長が訪泊し、視察
- 3月 ・北海道新聞記者が訪泊し、取材
- 4月 ・ポ市都市計画家2名が来札
- 5月 ・札幌アイスホッケー連盟選手団(団長 里見彰三氏) 22名が訪泊し、メモリアルデーホッケー大会に参加
- 6月 ・中澤玲子元向陵中学校教諭夫妻が訪泊
- ・円山ライオンズクラブ会員37名が訪泊し、姉妹団体ベンサムライオンズクラブ創立40周年記念行事に参加
- ・吉田有志 CLAIRニューヨーク事務所職員が訪泊し、研修滞在
- 7月 ・コロンビアパシフィック連盟所属ボーイスカウト少年団3名が来札し、姉妹団体ボーイスカウト札幌地区と交流
- 8月 ・ポートランド州立大学生4名が来札し、国際ブラザ主催日米露学生集中講座に参加
- ・ポ市 10名が来札し、国際ジュニアアートキャンプに参加
- ・桂市長 35周年記念訪問団 191名が訪泊
- ・女子水泳選手団12名が訪泊し、姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流に参加
- ・少年軟式野球団(団長 高橋徹氏) 20名が訪泊し、ポ市少年野球団と親善交流
- ・泉北海道電力社長、樋口常務ら5名が訪泊し、ポートランド電力と交流協定



1994年8月 姉妹都市提携35周年記念行事で盆おどりを披露

- 9月 ・35周年記念ポートランド訪問団の国際アートウィーク招聘画家1名が来札
- 10月 ・ベラ・カツ市長 35周年記念訪問団 27名が来札
- ・マラソン選手団4名が来札し、札幌マラソンに参加。ニーダマイヤー選手が2位

- ・北海道大学歯学部10名が訪泊し、オレゴンヘルスサイエンス大学歯学部と交流
- ・富田房男北海道大学農学部教授が訪泊
- ・ジョンウエットン小学校6名が来札し、姉妹校厚別西小の開校10周年記念行事に出席



1994年10月 35周年記念で行われた天神山国際ハウスでの茶道体験

- 11月 ・札幌市で第26回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

1995年(平成7年)

- 1月 ・35周年記念姉妹校訪問団16名が訪泊
・海外姉妹都市派遣事業入選者・斉藤昇一氏が訪泊
- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム4名が来札
・KRTVデイビッド・アップル氏他2名が来札し、雪まつり取材
・ケン・ハリソン ポートランド電力会長ら5名が来札
・北海道運輸局職員1名が訪泊し、ポ市の交通事情を視察
- 5月 ・SCI3カ国交流プログラム参加者3名が来札
- 6月 ・日経新聞記者2名が訪泊し、取材
・新川高校姉妹校訪問団20名が訪泊し、ローズフェスティバルとボランティアに参加
・リー・ケリー氏が来札し、幌平橋ポートランド広場に彫刻設置
・黒崎 PSSCA理事一家5名が来札
・ポートランド企業関係者が来札し、札幌国際見本市に参加
- 7月 ・体操選手団22名が来札し、札幌体操連盟と交流
・少年野球訪問団15名が来札し、札幌市青少年軟式野球連盟と交流
・リッチモンド小学校訪問団15名が来札し、日本ホームステイプログラムに参加
・少年女性団18名が来札
- 8月 ・フィギュアスケート選手団20名が訪泊
・ポ市10名が来札し、国際ジュニアアートキャンプに参加
・ヘイルズ コミッショナーが来札し、建築学会で講演。幌平橋ポートランド広場で彫刻の除幕式に参加
・アイスホッケー選手団23名が来札し、札幌カップに参加
- 9月 ・海外姉妹都市派遣事業入選者・吉田恵介さんが訪泊
・静修大学学生80名が訪泊し、ルイス&クラーク大学で研修
・市立高校海外教員視察団3名が訪泊
- 10月 ・グッドサマリタンホスピタル病院長が来札し、姉妹病院新市立札幌病院完成祝賀会に出席
- 11月 ・ポートランド商業会議所団3名が来札し、日米市長及び商工会議所会頭会議(横浜市)に参加
・札幌市で第27回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節として
- ポ市に派遣
- 12月 ・海外姉妹都市派遣事業入選者・村山浩さんが訪泊

1996年(平成8年)

- 1月 ・厚別西小学校訪問団27名が訪泊し、姉妹校ジョンウエットン小学校を訪問
- 2月 ・海外姉妹都市派遣事業入選者・神田裕子さんが訪泊
・国際雪像コンクール参加チーム他、雪まつり訪問団18名が来札
- 3月 ・札幌市経済局職員3名が訪泊し、WTCポートランドを視察
- 4月 ・ハルヤマ国際部長、オレゴン高等学校教育庁関係者が来札
- 5月 ・札幌アイスホッケー連盟中学生選手団20名が訪泊し、メモリアルデー大会に参加
- 6月 ・ハート音楽院35名が訪泊し、ローズフェスティバルで演奏
- 7月 ・ボーイスカウト札幌地区アメリカ派遣団28名が訪泊
・福田賢治西岡北中学校教諭が訪泊し、SCI3カ国交流プログラムに参加
・少年女性交流事業22名が訪泊
・リッチモンド小学校訪問団30名が来札し、ホームステイプログラムに参加
・ポ市出身者4名が国際交流員1名、英語指導助手3名として着任
- 8月 ・札幌市12名が訪泊し、オレゴン自然キャンプに参加
・少年軟式野球連盟20名が訪泊し、ポ市少年野球訪問団と交流
・札幌体操連盟19名が訪泊し、ポートランド体操選手団と交流
・ポートランド中央武館剣道クラブ11名が来札し、札幌市役所剣道部と親善交流
・ポ市10名が来札し、国際ジュニアアートキャンプに参加
・女子バレーボール選手団16名が来札し、姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流に参加
・建築協会関係者が来札し、日本建築学会に参加
- 9月 ・札幌商工会議所主催北米経済視察団20名が訪泊
- 11月 ・札幌市で第28回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

1997年(平成9年)

- 2月 ・海外姉妹都市派遣事業入選者・佐々木ヒロ子さんが訪泊
・国際雪像コンクール参加チーム他、雪まつり訪問団10名が来札
- 4月 ・カレン・デヴォール PSSCA事務局長が来札
- 6月 ・オレゴン州国際研修プログラム4名が来札
・オレゴン州政府ブース参加企業関係者10名が来札し、札幌国際見本市に参加
- 7月 ・札幌市国際部及び国際プラザ職員が訪泊し、SCI40周年記念総会及び環太平洋姉妹都市会議(サンディエゴ開催)に出席
・HBCバトン・スタジオ&さつぽろ Jr.バトン・サークル6名が訪泊し、国際大会及び講習会に参加
・少年野球訪問団19名が来札し、札幌市少年軟式野球連盟と交流
・少年女性交流訪問団23名が来札
・ポ市10名が来札し、国際ジュニアアートキャンプに参加
- 8月 ・札幌市中学生20名が訪泊し、オレゴン自然キャンプに参加
・アイスホッケー選手団20名が来札し、札幌カップに参加

- ・ポ市出身者2名が英語指導助手として着任
- 9月 ・手工芸家ら12名が訪泊し、サタデーマーケットに出展
- ・ベンザムライオンズクラブ 21名が来札し、姉妹団体まやまライオンズクラブ創立20周年記念式典に出席
- 11月 ・札幌市で第29回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

1998年(平成10年)

- 1月 ・札幌まるやまライオンズクラブ青少年海外派遣団6名が訪泊
- 2月 ・ロイヤルロザリアン(バラの騎士)33名が来札し、雪まつりに参加
- ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム4名が来札



1998年2月 ポ市より雪まつり訪問団、ロイヤルロザリアン(バラの騎士)来札

- 3月 ・札幌圏の大学生11名が訪泊し、国際プラザ主催ポートランド州立大学英語研修に参加
- 6月 ・札幌アイスホッケー連盟中学生選手団24名が訪泊し、ローズフェスティバル大会に参加
- 7月 ・フィギュアスケート選手団8名が来札し、国際交流大会に参加
- 8月 ・少年軟式野球連盟21名が訪泊し、ポ市少年野球団と交流
- ・ポ市8名が来札し、国際ジュニアアートキャンプに参加
- ・ポ市出身2名が英語指導助手として着任
- ・ボーイスカウト団3名が来札し、秋田県で世界ジャンボリーに参加
- 9月 ・オレゴン高等教育庁アジア部長が来札
- ・ポートランドサタデーマーケット団9名が来札
- 10月 ・北海道職員海外研修2名、北方圏センター調査委員3名が訪泊
- 11月 ・札幌商工会議所主宰北米経済視察団11名が訪泊
- ・札幌市で第30回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

1999年(平成11年) [姉妹都市提携40周年]

- 1月 ・新川高校生徒30名が訪泊し、姉妹校ルーズベルト高校を訪問
- ・体操選手団19名が来札
- 6月 ・40周年記念姉妹都市訪問団172名が訪泊
- ・ポートランド企業関係者が来札し、札幌国際住環境見本市に参加
- 7月 ・少年女性交流団22名が訪泊
- ・札幌市中学生23名が訪泊し、オレゴン自然キャンプに参加
- ・ポ市出身3名が国際交流員1名と英語指導助手2名として着任
- ・少年野球訪問団19名が来札し、少年野球親善交流大会に参加

- 8月 ・男子サッカー選手団18名が訪泊し、姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流に参加
- ・アイスホッケー選手団33名が来札し、札幌カップに参加
- ・ポ市10名が来札し、国際ジュニアアートキャンプに参加
- ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・滝川さんが訪泊
- 9月 ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・石井さんが訪泊
- ・市立札幌病院看護研修2名が訪泊
- ・北海道大学歯学部9名が訪泊し、オレゴンヘルスサイエンス大学歯学部と交流
- ・市立札幌病院創立130周年記念式典参加団2名が来札
- ・マラソン選手団4名が来札し、札幌マラソンに参加
- 10月 ・マラソン選手団40名が訪泊し、ポートランドマラソンに参加
- ・ルーズベルト高校生が来札し、姉妹校新川高校創立20周年に参加
- 11月 ・ポ市副市長姉妹都市40周年親善訪問団24名及びポートランド商業会議所団13名が来札
- ・姉妹都市提携40周年記念ワイン「ローズ・シティ」を販売
- ・札幌市で第31回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

2000年(平成12年)

- 1月 ・40周年記念姉妹校訪問団10名が訪泊



2000年1月 40周年記念姉妹校訪問団

- 2月 ・国際雪像コンクール参加チーム他、雪まつり訪問団8名が来札
- 4月 ・生け花嵯峨御流札幌司所開設30周年記念訪問団10名が来札
- 6月 ・アイスホッケー選手団23名が訪泊し、ローズフェスティバル大会に参加
- 7月 ・札幌商工会議所代表団14名が訪泊
- ・札幌・ポートランド少年女性交流訪問団23名が来札
- 8月 ・ポ市8名が来札し、ワールドユースフェスティバルに参加
- ・少年野球訪問団17名が訪泊し、少年野球親善交流大会に参加
- ・ポートランド・札幌姉妹都市体操交流訪問団17名が訪泊
- ・札幌市24名が訪泊し、オレゴン自然キャンプに参加
- ・フィギュアスケート交流団9名が訪泊
- 10月 ・マークストーリー ラファエルハウス館長が来札し、フォーラムに参加・講演
- ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・高田綾さんが訪泊
- 11月 ・札幌市で第32回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

2001年(平成13年)

- 1月 ・西野誠一真栄小学校教諭が訪泊し、リッチモンド小学校と交流
- 2月 ・国際雪像コンクール参加チーム他、雪まつり訪問団 17名が来札
- 3月 ・国際プラザ主催大学生ポートランド州立大学英語研修 11名が訪泊



2001年3月 大学生英語研修派遣

- 6月 ・新川高校生徒及び教諭9名が訪泊し、姉妹校ルーズベルト高校を訪問
 - ・マグレブ PSSCA専務理事が来札し、札幌ドームオープニングセレモニーに参加
- 7月 ・少年野球訪問団20名が来札し、少年野球親善交流大会に参加
 - ・ポートランドボーイスカウト交流団3名が来札
- 8月 ・アイスホッケー選手団17名が来札し、札幌カップに参加
 - ・札幌市中学生14名が訪泊し、オレゴン自然キャンプに参加
 - ・ポ市7名が来札し、ワールドユースフェストインホッカイドウに参加
 - ・男子サッカー選手団(団長 スコット・ガプティル氏)18名が来札し、姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流に参加
- 10月 ・マラソン選手団3名が来札し、札幌マラソンに参加
- 11月 ・札幌フィルハーモニー管弦楽団40名が訪泊し、コロンビアシンフォニーオーケストラと友好コンサートを開催
 - ・石前隆勇星園高校長、梅原宏之開成高校教諭が訪泊
 - ・札幌市で第33回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催

2002年(平成14年)

- 2月 ・国際雪像コンクール参加チーム他、雪まつり訪問団10名が来札
 - ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・土岐美由紀さんが訪泊
 - ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・武田久子さんが訪泊
- 6月 ・アイス彫刻家豊川重雄氏とアイス刺繍家小川早苗氏が訪泊し、ポートランド美術館主催ジャパンフェスティバルで実演と講演
 - ・アイスホッケー小中学生札幌選抜選手団18名が訪泊し、ローズフェスティバル大会に参加
 - ・ポ市出身ヴァイオリニストめぐみ・ストーズ氏が来札し、札幌フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会にゲスト出演
- 7月 ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・富田美奈子さんが訪泊
 - ・少年野球訪問団18名が訪泊し、少年野球親善交流大会に参加
- 8月 ・ポ市6名が来札し、ワールドユースフェストインホッカイドウに参加
 - ・札幌市中学生5名が訪泊し、オレゴン自然キャンプに参加
- 9月 ・札幌で開催された「病院ボランティア国際フォーラム」で、PSSCAスコット・ガプティル氏講演



2002年9月 病院ボランティア国際フォーラム

- 10月 ・ポートランドベンサムライオンズクラブ18名が来札し、姉妹団体円山ライオンズクラブ創立25周年記念式典に出席
 - ・札幌フィルハーモニー管弦楽団指揮者中田昌樹さんと演奏者2名が訪泊し、コロンビアシンフォニーオーケストラとフレンドシップコンサートを開催
 - ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・兼古結花さんが訪泊
 - ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・山本桂さんが訪泊
- 11月 ・札幌市で第34回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催
- 12月 ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・加藤美由起さんが訪泊

2003年(平成15年)

- 1月 ・国際雪像コンクール参加チーム他、雪まつり訪問団19名が来札
- 2月 ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・桜田文江さんが訪泊
- 3月 ・国際プラザ主催大学生ポートランド州立大学英語研修9名が訪泊
- 5月 ・ポ市林業関係者が来札し、ふれあいの森を視察
- 6月 ・札幌出身オペラ歌手安藤赴美子さん訪泊し、研修
- 8月 ・少年野球訪問団18名が来札し、少年野球親善交流大会に参加
 - ・フランクリン・キンブロー ポートランド企業連合代表が来札し、都心まちづくりフォーラム2003に参加



2003年8月 ポートランド少年野球訪問団の上田市長表敬

- 9月 ・アーネスティン・オーリンドルフ PSSCA理事が来札し、国際ビジネスフォーラムに参加
- 10月 ・新体操選手団17名が来札し、ライラックオープン新体操大会に参加
 - ・札幌市教員海外派遣研修参加者2名が訪泊
 - ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・堂前仁美さんが訪泊



2003年10月 札幌ライラックオープン新体操大会

- 11月 ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・上条啓子さんが訪ポ
- ・札幌市で第35回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。12月、翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

2004年(平成16年)【姉妹都市提携45周年】

- 1月 ・札幌市職員海外派遣研修参加者1名が訪ポ
- 2月 ・国際雪像コンクール参加チーム他、雪まつり訪問団11名が来札
- 6月 ・上田文雄市長45周年記念姉妹都市訪問団84名が訪ポ
- ・生田流箏曲正派若菜会30名が訪ポし、ポ市の箏曲愛好家組織みやび会と姉妹都市提携45周年記念箏曲ジョイントコンサートを開催



2004年6月 45周年ポートランド訪問

- 7月 ・少年野球訪問団18名が訪ポし、少年野球親善交流大会に参加
- ・フィギュアスケート選手団9名が来札し、国際交流大会及び北海道フィギュアスケートフェスティバルに参加



2004年7月 フィギュアスケート国際交流大会

- 8月 ・ダン・サルツマン副市長ほか1名が来札し、さつぽろ世界環境都市会議2004に参加
- ・女子ソフトボール選手団(団長 大聖憲俊氏)19名が訪ポし、姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流に参加
- 9月 ・ドーン・ウチヤマ環境局ウイラメット川流域管理マネージャーが来札し、環境局等と意見交換

- ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・松宮和男さんが訪ポ
- 10月 ・マラソン選手団(団長 スコット・ガプティル氏)2名が来札し、札幌マラソン大会に参加
- ・ヴァイオリニストのシンディ・ペティ氏が来札し、札幌フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会にゲスト出演
- ・新川高校生徒及び引率教諭10名が訪ポし、姉妹校ルーズベルト高校を訪問
- 11月 ・札幌フィルハーモニー管弦楽団が訪ポし、オレゴンプロアルテチェンバーオーケストラ及びオレゴンプロアルテユースチェンバーオーケストラと合同で親善コンサートを開催
- ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・工藤克子さんが訪ポ
- ・札幌市で第36回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌1月、3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- 12月 ・市民海外姉妹都市訪問助成事業入選者・西村麻里さんが訪ポ

2005年(平成17年)

- 1月 ・45周年記念姉妹校訪問団8名が訪ポし、姉妹校を訪問
- 2月 ・トム・ポッター市長45周年記念親善訪問団60名が来札
- ・国際雪像コンクール参加チーム他、雪まつり訪問団17名が来札



2005年2月 姉妹都市提携45周年記念再調印式

- 7月 ・少年野球訪問団22名が来札し、少年野球親善交流大会に参加
- 8月 ・アロハ・ブリーズ選手団22名が来札し、国際親善ソフトボール交流大会に参加
- 9月 ・ケーブルテレビ制作番組 PDX posed撮影クルー6名が来札し、姉妹都市札幌を紹介するPR番組を撮影
- ・ポ市公園レクリエーション局担当者が来札し、豊平川やモエレ沼公園、百合が原公園などを視察



2005年9月 PDXposedクルー来札

- 10月 ・草月流いけばな訪問団5名が訪ポし、草月流いけばな北米セミナーに参加

- ・ポ市在住のパン職人ドミニク・ジュラン氏夫妻が来札し、札幌店 PR
- 11月 ・札幌市で第37回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌2月、3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

2006年(平成18年)

- 1月 ・体操選手団17名が来札し、札幌体操連盟主催スノークリスタルオープン大会に参加
- 2月 ・国際雪像コンクール参加チーム他、雪まつり訪問団14名が来札
 - ・女性交流団6名が来札し、ホームステイをしながら日本料理実習や日本文化体験などの交流事業に参加
 - ・ポ市在住のパン職人ドミニク・ジュラン氏が来札し、札幌店 PR
- 6月 ・アマチュアオーケストラのオレゴンプロアルテ室内管弦楽団指揮者シンディ・ペティ氏ら27名が来札し、札幌フィルハーモニー管弦楽団創立35周年記念合同特別演奏会に参加
- 8月 ・小中学生5名、引率1名が来札し、北海道青少年交流プログラム(IYE)に参加
 - ・女子バスケットボール選手団(団長 スコット・ガプティル氏)18名が来札し、姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流に参加



2006年8月 国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流

- 10月 ・北海道新聞ポर्टランド支局記者による「西海岸の風」の掲載開始
 - ・エリック・トリン PSSCA 事務局長ら5名が来札
 - ・札幌市で第38回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣
- 11月 ・カッツ前市長が旭日中綬章を受賞
- 12月 ・スティーブ・ジョンソン ポートランド州立大学教員が来札し、姉妹都市ポर्टランドを知るセミナー～市民がまんなかのまちづくり～で講演

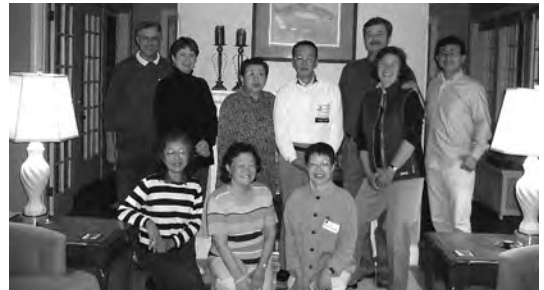


2006年12月 姉妹都市ポर्टランドを知るセミナー
～市民がまんなかのまちづくり～

2007年(平成19年)

- 1月 ・ケーブルテレビ制作会社 PDX posed撮影クルー3名及び同行者2名が来札し、姉妹都市札幌を紹介する PR番組を撮影

- 2月 ・ジョン・オルソン PSSCA 理事が来札し、ポर्टランドセミナーを開催
 - ・国際雪像コンクール参加チーム他、雪まつり訪問団10名が来札
 - ・スコット・ガプティル氏が来札し、2007年 FIS ノルディックスキー世界選手権札幌大会ボランティアに参加
- 5月 ・北海道陶芸会会長夫妻が訪泊し、オレゴン陶芸協会主催芸術作品展の専用ブース打ち合わせ
- 6月 ・札幌市5名が訪泊し、ローズフェスティバル100周年に参加



2007年6月 ローズフェスティバル100周年訪問団とPSSCA

- 7月 ・小中学生5名、引率1名が来札し、北海道青少年交流プログラム(IYE)に参加
- 10月 ・札幌の映画監督1名が訪泊し、The Portland 10 or less Film Festivalに出席。作品が入選
 - ・札幌市で第39回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣

2008年(平成20年)

- 1月 ・宮の森小学校教員4名が訪泊し、姉妹校リッチモンド小学校を訪問
- 2月 ・国際雪像コンクール参加チーム他、雪まつり訪問団15名が来札
 - ・札幌国際大学学生1名が訪泊し、ポ市役所で就業体験
- 4月 ・ポर्टランド日本庭園専務理事が来札し、姉妹都市提携50周年の協議
 - ・北海道陶芸会14名が訪泊し、創立40周年記念事業を開催
 - ・ポर्टランド・タイコ・アート・コーディネーターが来札し、姉妹都市提携50周年の協議
- 6月 ・子ども4名、引率1名が来札し、こども環境サミットに参加
- 7月 ・ポ市テレビ局 KGWのスタッフ3名が来札し、北海道洞爺湖サミットの取材。市内視察や上田市長表敬
- 8月 ・ポ市出身者1名が国際交流員として着任
 - ・生島総務局長ほか4名が訪泊し、50周年事前打合せ
- 10月 ・新川高校生徒10名、引率2名が訪泊し、姉妹校ルーズベルト高校を訪問
 - ・札幌市で第40回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてポ市に派遣



2008年10月 新川高校とルーズベルト高校との合同写真

2009年(平成21年) [姉妹都市提携50周年]

- 2月 ・国際雪像コンクール参加チーム他、雪まつり訪問団9名が来札



2008年10月 新川高校とルーズベルト高校との合同写真

- 3月 ・札幌で姉妹都市提携50周年記念姉妹都市フェスティバルを開催
・オレゴン紙記者が来札し、姉妹都市交流を取材
- 4月 ・交通局が姉妹都市提携50周年記念ウイズユーカードを発売
- 5月 ・ボ市指揮者が来日し、札幌フィルハーモニー管弦楽団が札幌・ポートランド姉妹都市提携50周年を記念する特別演奏会を開催
・中央図書館、全10区役所などで、ボ市紹介パネル展を実施
- 6月 ・上田市長姉妹都市提携50周年訪問団71名が訪泊し、現地の市民と交流
・国際プラザフローラルアート5名が訪泊し、現地生花展への出展及びリタイアメントホームでの生花デモンストレーションを実施
- 7月 ・さっぽろ夏まつり・大通納涼ガーデン大通12丁目会場に札幌・ポートランド姉妹都市提携50周年記念広場を設置
・円山動物園・動物科学館でオレゴンの森を開催し、オレゴン州及びその周辺に生息する動植物を紹介
・幌平橋ポートランド広場で姉妹都市50周年をPR
- 9月 ・ボ市陶芸家30名が来札し、北海道陶芸会創立40周年を記念合同展土と炎の饗宴を開催
・吉田潤喜ヨシダグループ代表取締役会長兼CEOが来札し、講演と上田市長表敬
- 10月 ・マラソン選手団(団長 高橋和夫氏)15名が訪泊し、ポートランドマラソンに参加
・デルタ航空が札幌マラソン成績優秀者に成田-ポートランド間の航空券を提供
・豊平川さけ科学館で姉妹都市提携50周年記念の特別展を開催しさけの保全と河川環境改善の取組を紹介
・ポートランドを知るセミナー～札幌の国際交流の原点～を開催し杉岡昭子氏が講演
・地下街オーロラタウンでオレゴン物産フェアを開催し、地ビールやハーゼルナッツなど名産品を販売
・地下街オーロラタウンでポートランド児童絵画展、オレゴン・ポートランド観光ブースを設置
・札幌市で第41回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。PSSCA本間千代子氏とスコット・ガブティル氏が来札し、大学・一般の部にゲスト審査員として参加。翌3月に成績優秀者を親善使節としてボ市に派遣
- 11月 ・アダムス市長親善訪問団59名が来札し、記念式典や交流レセプション等を開催
・ポートランド州立大学学長が来札し、サステイナビリティウィーク2009に参加

- ・グリーン購入全国フォーラム in北海道で、『全米ナンバー1グリーンシティー「環境」と「観光」の両立』と題し、分科会を開催
・札幌フィルハーモニー管弦楽団15名が訪泊し、オレゴンプロアルテ室内管弦楽団と合同演奏会を開催
- 12月 ・ボ市でSAPPOROショートフェスティバルツアーを開催し、アニメ7作品を上映

2010年(平成22年)

- 1月 ・50周年記念姉妹校訪問団7名が訪泊し、姉妹校を訪問
- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム3名が来札
・ボ市出身国際交流員がFMノースウェーブへ出演し、ポートランドを紹介



2010年2月 ポートランド雪像作りチーム来札

- 3月 ・エイミー・スパウリサノ グリーン・ミーティング産業協会会長が来札し、講演
- 10月 ・デルタ航空が札幌マラソン成績優秀者に成田-ポートランド間の航空券を提供
・札幌市で第42回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてボ市に派遣
- 11月 ・生涯学習センターが公開講座「体感!なるほどアメリカ～札幌姉妹都市ポートランドを知る～」を開催
- 12月 ・ポートランド美術館でノースウェストフィルムセンター主催日本特集プログラム開催し、札幌から日本のショートフィルムプログラムを提供

2011年(平成23年)

- 1月 ・開成高校海外研修生徒39名、引率教諭2名が訪泊
- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム3名が来札
・ボ市公園レクリエーション局職員が来札し、本市環境局と意見交換、市内公園を視察
- 9月 ・新川高校生徒9名、校長、引率教諭が訪泊し、姉妹校ルーズベルト高校、グラント高校を研修訪問
- 10月 ・札幌国際短編映画祭でポートランド特集プログラムを上映
・デルタ航空が札幌マラソン成績優秀者に成田-ポートランド間の航空券を提供
・札幌市で第43回英語弁論大会(中学、高校、大学・一般の部)を開催。翌3月に成績優秀者を親善使節としてボ市に派遣
- 12月 ・ポートランド美術館でノースウェストフィルムセンター主催日本特集プログラム開催し、札幌から日本のショートフィルムプログラムを提供

2012年(平成24年)

- 1月 ・グラント高校生5名、引率2名が来札し、研修



2012年1月 グラント高校生徒来札

- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム3名が来札
- ・グラント高校生徒5名が国際交流ワールドカフェに参加
- ・ポートランド州立大学イーサン・セルツァー氏が来札し、共創フォーラムに参加
- 6月 ・リッチモンド小学校児童4名、保護者2名、引率1名が来札
- ・グラント高校生徒 20名、引率2名が来札
- 10月 ・デルタ航空が札幌マラソン成績優秀者に成田-ポートランド間の航空券を提供
- ・前年の札幌マラソン成績優秀者1名が訪泊し、ポートランドマラソンに参加
- 12月 ・ポートランド美術館でノースウェストフィルムセンター主催日本特集プログラム開催し、札幌から日本のショートフィルムプログラムを提供

2013年(平成 25年)

- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム3名が来札
- 3月 ・平岸高校がグラント高校に電子絵本を贈呈。生徒及びポ市教委とスカイプで交流
- 6月 ・グラント高校生徒3名、引率1名が来札
- 9月 ・体操選手団 20名が来札し、市民体育大会体操競技・新体操大会に参加
- 10月 ・オレゴン陶芸家協会会員が来札し、北海道陶芸会 45周年に出展。国際プラザでセミナー開催
- ・デルタ航空が札幌マラソン成績優秀者に成田-ポートランド間の航空券を提供
- ・前年の札幌マラソン成績優秀者2名が訪泊し、ポートランドマラソンに参加
- 12月 ・スティーブン・ブルーム PSSCA副会長・ポートランド日本庭園 CEOが来札
- ・ポートランド美術館でノースウェストフィルムセンター主催日本特集プログラム開催し、札幌から日本のショートフィルムプログラムを提供
- ・グラント高校2クラスの授業で日本の映画作品を紹介



2013年12月 ポートランド日本庭園の
スティーブン・ブルームCEOに開園50周年記念メッセージを手交

2014年(平成 26年) [姉妹都市提携 55周年]

- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム3名
- 3月 ・市立高校8校生徒及び引率教諭が訪泊
- 4月 ・市立高校生ポートランド派遣帰国報告会を開催



2014年4月 市立高校生ポートランド派遣帰国報告会

- 6月 ・上田市長姉妹都市提携 55周年訪問団 88名が訪泊
- ・体操選手団(団長 二木一重スポーツ担当局長) 10名が訪泊し、姉妹都市親善ジュニアスポーツ交流に参加
- ・グラント高校生徒5名、引率1名が来札
- 9月 ・チャーリー・ヘイルズ市長姉妹都市提携 55周年親善訪問団が来札
- ・ヘイルズ市長が日米協会国際シンポジウム札幌・北海道大会で講演
- ・黒崎美生オレゴン日米協会次期会長が日米協会国際シンポジウム札幌・北海道大会で講演
- ・新川高校生徒6名、副校長、引率教諭が訪泊し、姉妹校ルーズベルト高校、グラント高校を訪問
- 10月 ・デルタ航空が札幌マラソン成績優秀者に成田-ポートランド間の航空券を提供
- ・前年の札幌マラソン成績優秀者2名が訪泊し、ポートランドマラソンに参加
- 12月 ・ポートランド美術館でノースウェストフィルムセンター主催日本特集プログラム開催し、札幌から日本のショートフィルムプログラムを提供

2015年(平成 27年)

- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム3名が来札
- ・札幌国際交流館で姉妹都市紹介パネル展を開催



2015.02 姉妹都市紹介パネル展

- 3月 ・市立高校8校の生徒及び引率教諭が訪泊
- 4月 ・市立高校生ポートランド派遣帰国報告会を開催
- 6月 ・グラント高校生徒9名、引率1名が来札

7月 ・山崎満広ポ市開発局都市開発部事業開発オフィサー、
エイミー・ネイギー WBGCプログラムマネージャーが来札

2016年(平成 28年)

- 1月 ・ステイーブン・ブルーム ポートランド日本庭園 CEOが来札
- 2月 ・ポ市在住「食文化案内人」レッド・ギレン氏が来札し、国際プラザでポートランドの食に関するセミナーを開催
・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム3名が来札
- 3月 ・市立高校8校生徒及び引率教諭が訪ポ
- 4月 ・市立高校生ポートランド派遣帰国報告会を開催
- 6月 ・グラント高校生徒5名、引率1名が来札
- 9月 ・秋元克広市長ら7名が訪ポし、視察



2016年9月 ポートランドでのまちづくり視察

- 10月 ・ポ市在住アーティスト3名が来札し、500m美術館5周年企画札幌・ポートランド姉妹都市交流展『Sister City Brother Project : Portland』を開催

2017年(平成 29年)

- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム3名が来札
- 3月 ・市立高校8校生徒及び引率教諭が訪ポ
- 4月 ・市立高校生ポートランド派遣帰国報告会を開催
- 6月 ・グラント高校生徒 15名、引率1名が来札
- 9月 ・体操選手団 17名が来札し、市民体育大会体操競技・新体操大会に参加
- 11月 ・札幌市議会議員 11人が訪ポし、視察
- 12月 ・オレゴン日系基金主催「央州日報」翻訳プロジェクトが開始

2018年(平成 30年)

- 2月 ・雪まつり国際雪像コンクール参加チーム3名が来札
・札幌市内の小中学生体操選手 16名が引率5名と共に訪ポし現地対応国際大会(ローズシティカップチャレンジ)へ参加
- 3月 ・市立高校8校生徒及び引率教諭が訪ポ
- 4月 ・市立高校生ポートランド派遣帰国報告会を開催
- 5月 ・札幌・ポートランド姉妹都市提携 60周年事業連携連絡会議(代表 町田隆敏副市長)を設置
- 6月 ・オレゴン陶芸家協会関係者5名が来札し、北海道陶芸協会 50周年記念展覧会に参加
・グラント高校生徒 18名、引率1名が来札
- 8月 ・日系スーパー宇和島屋ビーンバートン店で札幌物産展を初開催
町田副市長他9名が訪ポし、60周年事業事前協議と札幌物産展に参加



2018年8月 宇和島屋での札幌物産展開催

- 12月 ・ステイーブン・D・ブルーム ポートランド日本庭園 CEOが来札し、フォーラム「札幌・ポートランド～姉妹都市関係の未来」に参加



2018年12月 フォーラム「札幌・ポートランド～姉妹都市関係の未来」開催

2019年(令和元年) [姉妹都市提携 60周年]

- 1月 ・札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年記念ビール委員会 60人ビールプロジェクトが開始
- 3月 ・市立高校8校生徒及び引率教諭が訪ポ
- 4月 ・北海道陶芸会が訪ポし、ポートランド日本庭園展に出展
・市立高校生ポートランド派遣帰国報告会を開催
- 6月 ・姉妹都市提携60周年記念訪問団(団長 秋元市長) 78名が訪ポ
・グラント高校生徒 20名、引率1名が来札
- 8月 ・町田副市長ほか4名が訪ポし、ポートランド日本庭園主催札幌カルチャーフェスティバルに参加



2019年8月 札幌カルチャーフェスティバル開催

- 10月 ・テッド・ウィーラー市長姉妹都市提携60周年記念親善訪問団が来札
・札幌市立高校生・ポートランド市グラント高校生交流事業に関する協定を関連4団体により締結。
・札幌市で姉妹都市提携60周年記念「米国・ポートランドを知るセミナー ～わたしの街、わたしのくらし～」を開催

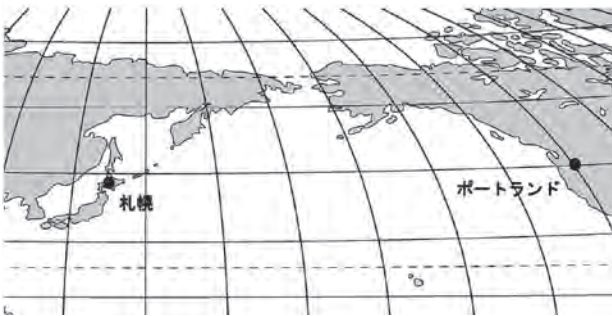
(敬称等については、その当時のものを使用しております)

オレゴン州とポートランド市の概要

オレゴン州

【位置・地勢】

アメリカ西北部の太平洋岸に位置するオレゴン州。面積は約 25 万 km²と広大で、本州及び四国を合わせた面積にほぼ等しく、全米第 10 位の大きさを誇る。北にはワシントン州、東はアイダホ州、南はカリフォルニア州及びネバダ州と接している。オレゴン州中央部やや西寄りにはカスケード山脈が縦走している。海岸地帯北部の東側には広い肥沃な農地が広がっており、南部は低い山々とそれが囲む盆地やゆるやかな丘陵が連なっている。自然豊かで変化に富んだ美しい景観に恵まれた地域である。



【気候】

南北に連なるカスケード山脈により、大きく2つの気候に分かれる。山脈の西側では秋から冬にかけて雨が多いのが特徴。夏は最高気温で 25 度を超える程度で、湿度が低く過ごしやすい。冬でも氷点下になることはほとんどない温暖な気候と言える。雨の少ない5月～9月が最も過ごしやすい時期と言える。また、東側は山脈が雨雲をブロックするため空気が乾燥し、晴天の日が大変多いのが特徴。夏場の最高気温は 30 度をはるかに超える。

【産業・経済】

オレゴン州は、従来、林業、農業、観光業等を主要産業とした。特に、同州は米国有数の森林地帯にあり、森林面積が州の約半分を占めるなど、林業が歴史的に

重要な産業であった。一方、近年では、1980 年代中頃よりハイテク産業が急成長し、主要産業として大きな地位を占めるまでに至っている。また、同州は、多角化の進んだ農業生産地域の中心にあり、食品加工業はオレゴンの地勢と経済の優れた立地を背景に高い評価を得ている。

オレゴン州にとって日本は昔から重要な貿易相手国であり、その関係は現在も続いているが、従来からの貿易品として代表的であった小麦やその他の農水産物品、木材や住宅関連資材に加え、近年ではハイテク関連のハードやソフトが伸びてきている。

【観光】

オレゴン州は、自然豊かなアメリカの中でも、最も美しい州の一つと言われている。オレゴンコースト、フッド山、コロンビア溪谷など、ダイナミックな海岸線、一年中白い雪をいただく壮大な山々、青い空に優美にそびえ立つ岩々、どこまでも連なる溪谷という豊かな自然で有名な観光地が多い。また、ゴルフ、スキー、釣りなど、豊かな自然を生かしたアウトドアのアクティビティも人気がある。



マルトノマの滝

【時差】

日本との時差は 17 時間だが、4 月第 1 日曜日から 10 月最終日曜日まではサマータイムに入り、16 時間となる。日本時間から 17 時間（16 時間）マイナスするとオレゴン州の時間がわかる。

【オレゴン小史】

16世紀中頃、現在のオレゴン州、ワシントン州、アイダホ州、カナダのブリティッシュ・コロンビア州を含む大陸北西部一帯は「オレゴンテリトリー」と呼ばれていた。本格的な西部開拓が始まったのは1803年頃。当時のトーマス・ジェファーソン大統領の命により、オレゴン探索のために開拓した小道「オレゴントレイル」は、その後、オレゴンと開拓民を結ぶ重要な街道となった。長い過酷な旅を経て、オレゴンにたどり着いた開拓民には無償で豊かな土地が与えられたことから、人々はオレゴンを「西のエデン」と呼び、多くの人々が移住を決意した。

1818年にはイギリスとアメリカの共有領土となる。1840年代に入ると、アメリカ人が組織的に入植。この頃からアメリカはイギリスに領有権放棄を求め、1846年には両国でオレゴン協定を締結。その後、アメリカの準州となり、

1859年2月14日、正式な州に昇格した。

1860年代には牧畜、漁業、農業、林業が発展。川を利用して太平洋へ出る交通が開かれるようになり、流通も盛んになっていった。1870年代には大陸横断鉄道の開通とともに産業が発達。1883年にはポートランドまで鉄道が開かれ、魚、穀物、木材をはじめ数多くのオレゴン産物が州外に出荷されるようになった。1930年以降にはダムが建設され、灌漑用水と低コストの電力が供給されるようになり、オレゴンの産業と人口増加は急速に進んだ。

近年のオレゴンはフロンティア精神と自然を愛する心を受け継ぎ、都市部の便利な生活と豊かな自然との共存を大切に考える魅力的な州として、さらなる発展を続けている。

【オレゴン州のプロフィール】

- 面積 約25万km²
- 人口 約389万人（2012年）
- 連邦加盟 1859年2月14日（33番目）
- 州都 Salem（セーラム）
- 主要都市 ポートランド、セーラム、ユージン、グresham
- 州のモットー She Flies with Her Own Wings（1987年採択）
- 州の愛称 Beaver State（ビーバーステート）
- 姉妹県 富山県（このほか、日本の都市とオレゴン州の都市との間で、23都市（2020年12月現在）が姉妹都市提携を締結している親日的な地域）
- 州の花 Oregon Grape（オレゴングレープ、米国北西部海岸地方産のヒイラギナンテンに類する常緑灌木。黒青色の小さな実をつける）
- 州の木 Douglas Fir（ダグラスモミ、北米西部産松科の大木で高さ10mに達する。材質良好で日本ではアメリカ松と称し、建築資材として輸入していた）
- 州の動物 American Beaver（ビーバー）
- 州の鳥 Western Meadowlark（ニシマキバドリ）
- 州の魚 Chinook Salmon（チヌークサケ、太平洋岸で獲れる大型のサケ。キングサーモンと同種）

ポートランド市



ポートランド市街地

オレゴン州最大の都市であるポートランド市は、エコロジーやリサイクルの先進都市であり、公園、自転車専用レーン、橋、自然と文化が調和する美しい環境都市として知られている。

【位置・地勢】

アメリカ西海岸の貿易、商業の重要な拠点であるポートランド市はオレゴン州北西部に位置し、緯度は稚内市とほぼ同じ。ウイラメット川とコロンビア川の合流点に広がる港湾都市で、市の大部分が平地である。また、ポートランド市のシンボリック存在のフッド山（標高 3,425 m）はポートランド市内から車で 1 時間半くらいの場所に位置する。

◆北緯 45° 31'（札幌 43° 03'） 西経 122° 40'

◆面積 約 347km²

【気候】

夏は雨が少なく快晴が続く。冬は降雨量が多く、晴天が少ない。雪はほとんど降らない。この温暖な気候と降雨量が肥沃で広大な森林と豊かな緑地帯を育んでいる。平均気温は1月で約3℃、7月で約21℃である。また、年間降雨量は900mm程度である（札幌は約1,100mm）。

【市名】

市名の由来にはユニークな話が残されている。合衆国東部のメイン州ポートランドから来たペティグロブと、マサチューセッツ州ボストン出身のラブジョイとが、それぞれの出身地の名前をつけることを主張。意見が分かれ、銅貨を投げてその裏表で決めることになり、ペティグロブが勝ち、ポートランドに決まったと言われている。現在の市街地に当たる場所が区画整理されたのは1845年で、1851年には市制が敷かれ、最初の選挙が行われた。

【観光】

オレゴン州は、自然豊かなアメリカの中でも、最も美しい州の一つと言われている。オレゴンコースト、フッド山、コロンビア渓谷など、ダイナミックな海岸線、一年中白い雪をいただく壮大な山々、青い空に優美にそびえ立つ岩々、どこまでも連なる渓谷という豊かな自然で有名な観光地が多い。また、ゴルフ、スキー、釣りなど、豊かな自然を生かしたアウトドアのアクティビティーも人気がある。

【市章】

中央の女神は貿易を表し、海神ネプチューンの三叉戟（ほこ）を持ち、右手側の船と共に港で栄える町の将来を示している。左手で指し示した麦束（小麦）と森林（木材）



ポートランド市の市章

は、今でもポートランド市の重要な輸出物である。1878年に最初の市章が制定され、その後数回の改訂を経て、2005年に現在の市章が制定された。

【歴史】

札幌と同じように開拓者のフロンティア・スピリットで拓かれた新しい街。1804年にニューイングランドから来たサケ捕獲調査隊が、港としての可能性を発見。1806年にはウィリアム・クラークとメリーウェザー・ルイスの探検隊が到着したが、実際に定住者が現れたのは1829年で、フランス系カナダ人と言われている。

【人口】

オレゴン州最大の都市で、人口は約65万人（2019年現在）。ワシントン州バンクーバーを含めたポートランド都市圏の人口は240万人を超える。

【行政】

選挙によって選ばれる市長と4人の副市長（コミッショナー）による委員会制（2020年11月現在。1913年制定）

【観光】

ポートランドは「バラの都市」という愛称を持つ、全米でも指折りの美しい都市。歴史的名所や博物館、森林公園、庭園など、見どころは多彩。また、オレゴン州及びポートランド市は消費税がかからないため、ショッピングも盛んである。主な観光名所は以下のとおり。

- ◆ バラ祭りとバラ園（インターナショナル・ローズ・テスト・ガーデン）・・・毎年6月上旬から下旬にかけて全米でも有数の祭りである「ポートランド・ローズ・フェスティバル（バラ祭り）」が開催される。また、バラ園では春から秋にかけて400種類以上のバラが咲き競う。
- ◆ ポートランド日本庭園・・・1963年開園。平庭、枯山水など8つの庭で構成されている本格的な日本庭園。
- ◆ ポートランド美術館・・・世界各国から収集した絵画、彫刻、写真などを展示・所蔵。
- ◆ オレゴン動物園・・・200種以上の動物をより自然に近い環境のなかで観察することができる。
- ◆ オレゴン科学産業博物館（OMSI）・・・家族で楽しめる大きな科学博物館。アトラクションも豊富。
- ◆ ピトック邸・・・オレゴン州最大の日刊新聞オレゴン紙の創始者ヘンリー・ピトック氏が1914年に建てたルネサンス様式の豪邸。

【フード&ドリンク】

太平洋とカスケード山脈に囲まれたポートランドは、新鮮な海の幸、山の幸に恵まれた土地。サケ、エビ、カニ、ホタテなどを使ったシーフード料理は特に人気が高い。ビールやワインの醸造も盛んである。特に、ビールは長い歴史のあるブリュワリー・パブ（パブを備えた醸造所）が多数ある。

地元産のオーガニック素材にこだわる消費者が多く、マーケットやレストランでは地元食材がリーズナブルな価格で消費者に提供されている。ローカルコミュニティにできる限りの利益還元を優先する持続可能な社会に配慮した取組を実践している。

【ショッピング】

数多くのデパート、専門店をはじめ、大規模なショッピング・モール、住宅地に隣接したショッピング・センターなど、多様な商業施設がある。また、3月からクリスマスまでの土日開催されるフリーマーケット「サタデーマーケット」はポートランドの名物。手作りのアート&クラフトを中心に多くの露店や屋台が並び、毎週末たくさんの人で賑わう。



ポートランド市のショッピング街

【イベント】

毎年6月に開催される「ポートランド・ローズ・フェスティバル（バラ祭り）」は、100年以上の歴史を持つポートランド最大のイベント。アメリカ国内外から約200万人も見物客が訪れる。伝統的なバラのショー、エアショー、熱気球クラシック大会など、多数の関連イベントが開かれるが、一番のハイライトは花のパレードとして全米で有数の規模を誇る「グランド・フローラル・パレード」。美しい花とハイテク技術を駆使した山車の行列は、ポートランドの初夏の風物詩。

また、9月～10月に行われる「ポートランドマラソン」は、ウォークからフルマラソンまでと競技内容が幅広く、多くの市民に愛されているマラソン大会だ。



ローズフェスティバルでのパレード

【交通】

◆電車とバス/トライメットが運行するマックス（MAX）の愛称で親しまれている路面電車 LRT（ライトレール・トランジット）は、1986年に最初の路線が開通した。現在、ポートランド市中心街から東のグレシャム、西のヒルズボロを結ぶ「ブルーライン」、市中心街から西のビーバートンとポートランド国際空港を結ぶ「レッドライン」、市中心街からポートランド北部に位置するエクスボセンターに向かう「イエローライン」、市中心街か

らポートランド南東部に位置するクラカマス・タウンセンターに向かう「グリーンライン」及び市中心街から南部のミルウォーキーに向かう「オレンジライン」の5本の路線を有している。また、同じくトライメットが運行する路線バスは、市内及びその近郊に多くの路線を有し、市民の日常の移動手段として利用されているとともに、市内の見どころにアクセスする際にも便利な乗り物である。この他にも、ポートランド市が運行する路面電車（Street Car）もあり、トライメットと同じ料金システムとなっている。



ポートランド市内を走るマックス

- ◆自転車／ポートランドは全米で最もサイクリングに適した街に選ばれたこともある自転車利用者に優しい街である。例えば、自転車専用車線の幅が広く、車道との境界もはっきりしており、バスや電車にも自転車を持ち込むことができる。
- ◆ポートランド国際空港／カナダ、メキシコ、ドイツなどとの間で国際線が運航している。日本からは羽田発のデルタ航空の直行便利用で約9時間。
- ◆鉄道／ダウンタウンの北側にあるユニオン・ステーションにアムトラックの3種類の長距離列車が発着している。1896年に建てられたユニオン駅は45mの時計塔で有名。
- ◆高速道路／多数の州を貫通する巨大な高速道路5号線と84号線はポートランドで交わる。5号線については、北はカナダから南はメキシコまで、シアトル、サクラメント、ロサンゼルス、サンディエゴの各都市を経てアメリカ西海岸を結ぶ。84号線はポータラ

ンドが起点となり、ソルトレイクシティを經由して中西部、東海岸へと延びている。

【港湾】

ポートランド港は太平洋岸から約 170 km 内陸に位置する西海岸最大級の港である。1980 年に千葉港と姉妹港提携を締結した。

【ポートランドの姉妹都市】

- 1959 年 札幌（日本）
- 1983 年 グアダハラハラ（メキシコ）
- 1987 年 蔚山（大韓民国）
- 1987 年 アシュケロン（イスラエル）
- 1988 年 蘇州（中華人民共和国）
- 1988 年 高雄（台湾）
- 1988 年 ハバロフスク（ロシア）
- 1991 年 ムタレ（ジンバブエ）
- 2003 年 ボローニャ（イタリア）

【関連ホームページ】

- ◆ポートランド市（英語）
<https://www.portlandoregon.gov/>
- ◆オレゴン州政府駐日代表部（日本語）
<https://www.oregonjapan.org/>
- ◆ポートランド観光協会（日本語あり）
<https://www.travelportland.com/>



市役所新庁舎の女神像

資料編

盟約書、決議文、合意書

ポートランド市と札幌市との間における 姉妹都市提携に関する盟約

アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市と日本国北海道札幌市とは、相互に産業・経済・文化の交流を図るとともに両市の友好を深めることを念願し、併せてアメリカ合衆国と日本国との親善を促進し、ひいてはこれが世界平和に貢献する所以であることを確信し、ここに両市が姉妹都市として提携することを盟約する。

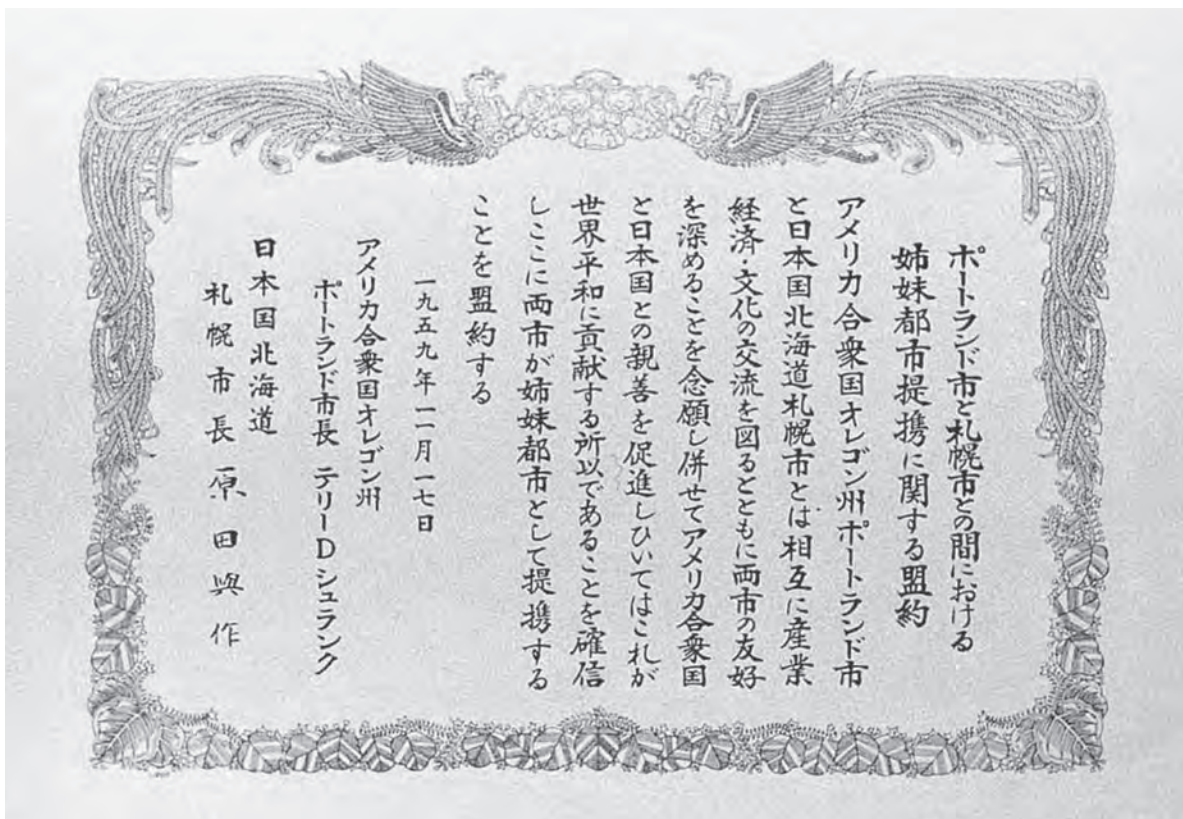
1959年11月17日

アメリカ合衆国オレゴン州

ポートランド市長 テリー D. シュランク

日本国北海道

札幌市長 原田 興作

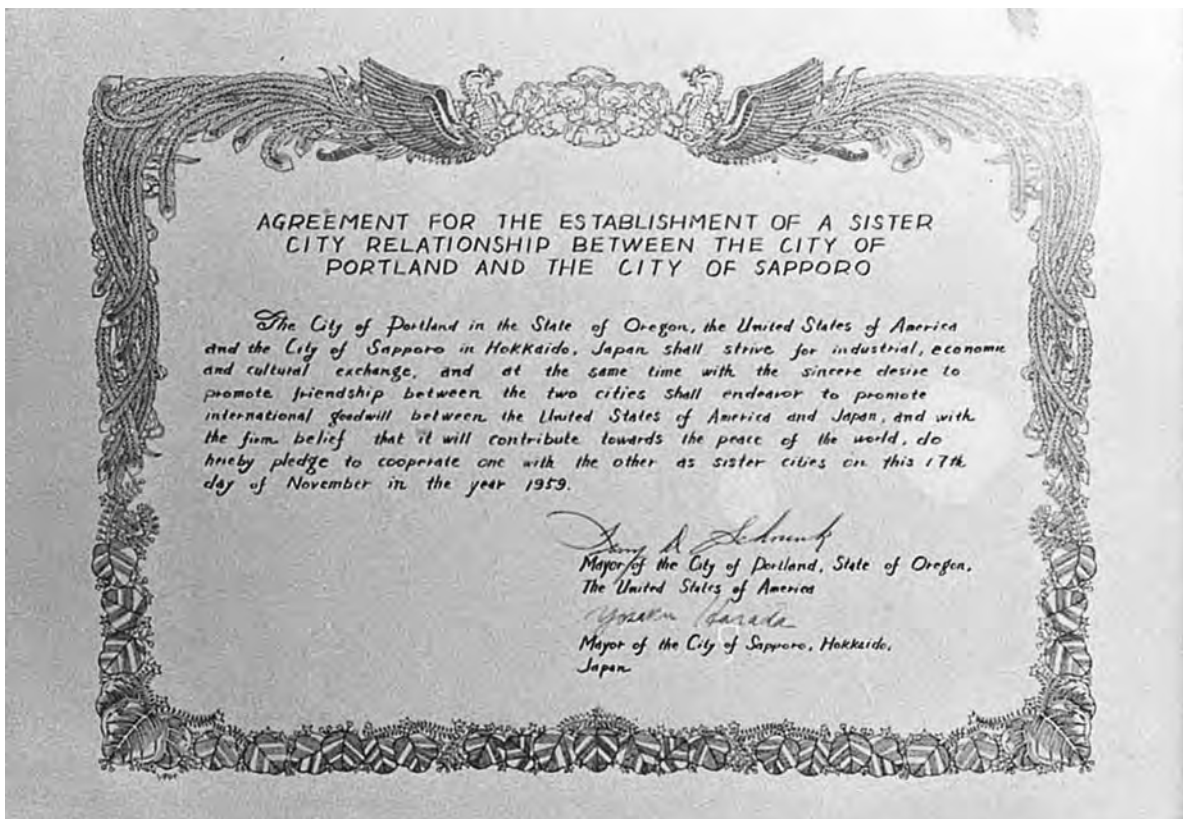


AGREEMENT FOR THE ESTABLISHMENT OF A SISTER CITY RELATIONSHIP BETWEEN THE CITY OF PORTLAND AND THE CITY OF SAPPORO

The City of Portland in the State of Oregon, the United States of America and the City of Sapporo in Hokkaido, Japan shall strive for industrial, economic and cultural exchange, and at the same time with the sincere desire to promote friendship between the two cities shall endeavor to promote international goodwill between the United States of America and Japan, and with the firm belief that it will contribute towards the peace of the world, do hereby pledge to cooperate one with the other as sister cities on this 17th day of November in the year 1959.

Mayor of the City of Portland,
State of Oregon,
The United States of America
Terry D. Schruck

Mayor of the City of Sapporo,
Hokkaido, Japan
Yosaku Harada



札幌市議会 ポートランド市議会 決議文

決議案第1号

札幌市とポートランド市との間における姉妹都市
提携の促進に関する決議

国際間における都市提携の推進が、外国都市市民相互の友好を深め、都市相互の発展に寄与し、ひいてはこれが、国際間の親善と平和の促進に貢献する所以に鑑み、本市がアメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市との間に姉妹都市提携に関する盟約を結ぶに至ったことは極めて意義深いものがある。

よって、本市議会はここに決議を行い、この都市提携が、全市民の理解と協力のもとに推進されるべきことを確認するとともに、今後本市とポートランド市との間に教育、文化、産業、経済の交流が積極的かつ、永続的にすすめられ、もって両市が一層繁栄し、両市民の友好関係がますます強化され、ひいてはこのことが世界平和の確立に大きく寄与することを期待するものである。

右決議する。

昭和 35 年2月8日

札幌市議会

決議第 28194 号

国際間の理解は世界の平和と繁栄にとって欠くべからざるものであり、そしてかかる理解の推進はわが国民においてもまた他国民においても必須のことであるがゆえに、また

ポートランド市は太平洋における合衆国側の主要な港として、太平洋の彼岸に所在する都市との間に長い間にわたって恵みある貿易関係を続けてきたところであり、そしてその貿易関係は当市およびオレゴン州、さらにアメリカ合衆国と太平洋西岸諸都市および諸国との双方に裨益せんがため助長、推進さるべきであるがゆえに、また

日本国北海道札幌市は、オレゴン州ポートランド市と同様の大きさであり、同様の気候と地理的条件に恵まれ同様の目的を持つ現代的な発展都市である。されば、札幌市とポートランド市の都市提携は、両市の市民が目標とし強く願う相互の理解と共感を増進せしめ、そして両市市民の生活を豊かなものとするがゆえに、また

札幌市および市長原田興作殿は、オレゴン州ポートランド市とこの姉妹都市提携を樹立することを応諾する意を示され、かくして原田市長およびシュランク市長は昭和 34 年 11 月 17 日当提携樹立の盟約を行ったがゆえに、さればこそ、ここにオレゴン州ポートランド市議会はこれによりアメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市と日本国北海道札幌市との間に姉妹都市提携が樹立されたことを決議し、またさらに

ポートランド市民に代り、札幌市に友好と善意の手をさしのべて産業、経済、文化の交流を図り、またこれに伴う諸企画を推進することを決議し、またさらに

ポートランド市とその市民は札幌市とポートランド市の友好関係を促進することを心から希求し、またわれわれ国民の間において如上の善意と理解が世界の平和に寄与するものであることを確信して、国際間の善意を促進するため努力することを決議し、さらにまた

この決議の正文書1通を日本国北海道札幌市原田市長に送付するよう市監査役に指示する決議を行う。昭和 34 年 12 月 24 日市議会において可決。

ポートランド市長 テリー D. シュランク

総務委員 スタンリー W. アール

財務委員 オーマンド R. ビーン

公営企業委員 マーク A. グレイスン

公共事業委員 ウィリアム A. ボウズ

ポートランド市監査役 レイ・スミス

RESOLUTION No.28194

WHEREAS international understanding is indispensable to world peace and prosperity, and it is essential to develop such understanding in our own people as well as in the people of other countries, and

WHEREAS the City of Portland, as a major port of the United States for the Pacific Ocean, has long had beneficial trade relations with the cities located on the other side of the Pacific, which trade relations should be fostered and strengthened for the mutual benefit of this city, the State of Oregon, and the United States of America and of the cities and nations on the west coast of the Pacific, and

WHEREAS the City of Sapporo in Hokkaido, Japan, is a modern and progressive city similar in size to the City of Portland, Oregon, with similar climate, geographical advantages, and similar objectives to the City of Portland, so that affiliation between the City of Sapporo and the City of Portland will bring to both cities increased richness of comprehension and of sympathy with the desires and objectives of the citizens of these cities, which must enrich the lives of their citizens, and

WHEREAS the city government and the Hon. Yosaku Harada, Mayor of the City of Sapporo, have indicated their willingness to establish such a sister city relationship with the City of Portland, Oregon, and Mayor Harada and Mayor Schruck agreed on November 17, 1959, upon the establishment of such a relationship ; therefore, be it

RESOLVED by the Council of the City of Portland, Oregon that a sister city relationship hereby is established between the City of Portland, Oregon, in the United States of America and the City of Sapporo in Hokkaido, Japan, and be it

FURTHER RESOLVED that on behalf of the citizens of the City of Portland the hand of friendship and goodwill is extended to the City of Sapporo for industrial, economic and cultural exchange, and to promote projects pertaining thereto, and be it

FURTHER RESOLVED that the City of Portland and its citizens sincerely desire to promote friendship between the City of Sapporo and the City of Portland and will endeavor to promote international goodwill between our nations with the firm belief that such goodwill and understanding will contribute to the peace of the world, and be it.

FURTHER RESOLVED that the City Auditor is directed to send a certified copy of this resolution to Mayor Harada of Sapporo in Hokkaido, Japan.

Adopted by the Council, December 24, 1959.



The image shows five handwritten signatures in black ink, each with a printed name and title below it. The signatures are arranged in a roughly rectangular pattern. The top signature is the largest and most prominent. Below it are two smaller signatures, one on the left and one on the right. At the bottom center is another signature, and to its right is a fifth signature.

Henry D. Schruck
Mayor of the City of Portland

Stanley W. Earl
Commissioner of Public Affairs

Edward O'Brien
Commissioner of Finance

Mark A. Grayson
Commissioner of Public Utilities

Wm. A. Bowers
Commissioner of Public Works

Ray J. Miller
Auditor of the City of Portland

日本国札幌市とアメリカ合衆国ポートランド市と中華人民共和国 瀋陽市の経済、技術、文化の友好交流及び協力に関する合意書

1984年6月24日 於：瀋陽市

札幌市とポートランド市と瀋陽市の3市長は1984年6月24日瀋陽市で友好的に会合し、3市は友好と平等互恵の基盤に立って、3市間の経済、貿易、科学、技術、文化、教育、体育等の友好交流を積極的に発展させ、相互理解と親善を深め、3市の繁栄に貢献することに合意する。

本書は、日本語、英語、中国語で作成され、同じ効力を有する。

日本国	アメリカ合衆国	中華人民共和国
札幌市長	ポートランド市長	瀋陽市長
板垣武四	フランシス J. アイバンシー	李 長 春

経済、技術、文化の分野における友好交流及び協力

1986年6月28日 於：札幌市

札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市および瀋陽市の市長と代表は1986年6月28日札幌市で会し、友好と平等互恵の基盤に立って、4市間の経済、科学、技術、芸術、体育、教育等の友好交流を積極的に発展させ、相互理解と親善を深め、4市の繁栄に貢献することをここに念願するものである。

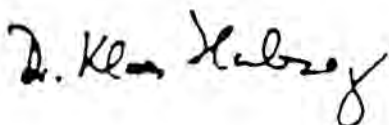
日本国札幌市長

板垣武四

アメリカ合衆国
ポートランド市長



ドイツ連邦共和国ミュンヘン市代表



中華人民共和国
瀋陽市代表



札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市及び瀋陽市、 国際親善ジュニアスポーツ交流代表者会議に関する確認書

札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市及び瀋陽市の代表者は、スポーツを通じ、青少年の健やかな育成を目指すと共に、青少年の諸外国での見聞を広め、重ねて4都市間の親善を図るため、1984年10月6日、札幌市で会合し下記事項について確認をした。

記

1. 1985年に関する交流の方針

- (1) 開催期日 瀋陽市で開催される第2回北方都市会議の会期（1985年9月19日～22日）を目どとする。
- (2) 開催都市 瀋陽市
- (3) 参加都市 札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市、瀋陽市
- (4) 参加対象 12歳～14歳の少年（男子）
- (5) 競技種目 サッカー
- (6) 費用 瀋陽市までの旅費は参加都市の負担とする。滞在費は瀋陽市で負担する。
- (7) 役員・選手 20人以内とする。

2. 1986年以降に関する交流の方針

- (1) 開催期日 毎年開催することとし、その前年の開催都市において、各都市代表者により協議する。
- (2) 開催都市 別表のとおり
- (3) 参加都市 札幌市、ポートランド市、ミュンヘン市、瀋陽市
- (4) 参加対象 12歳～14歳の中学生レベルで位置づける。
- (5) 競技種目 その前年の開催都市において、各都市代表により協議する。
- (6) 費用 開催都市までの旅費は参加都市の負担とする。滞在費は開催都市の負担とする。
- (7) 役員・選手 20人以内とする。

3. その他

上記事項を各都市で検討し、結果を札幌市に報告することとする。

本書は、日本語・英語・中国語で作成する。

1984年10月7日

札幌市教育長 ポートランド市カスケード・ラン・オフ理事
遠藤 高志 トリシア・ノール

ミュンヘン市スポーツ局長 瀋陽市体育委員会秘書長
エルヴィン・クフナー 呂 順興

札幌市・ポートランド市姉妹都市提携 45 周年を記念した 姉妹都市提携に関する合意書

日本国札幌市とアメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市との 姉妹都市提携合意書

背景

1. 世界中の都市の間で国際理解を深めていくことを目指し、ドワイト D. アイゼンハワー大統領によって姉妹都市プログラムが策定された。
2. ポートランド市民および札幌市民は、ともに、姉妹都市交流を通じ、お互いに学び合うことを誓った。
3. 1959年11月17日、札幌市とポートランド市は、両市間の友好関係を促進するために、姉妹都市提携を結んだ。
4. この趣印は、双方の都市にとって初めての姉妹都市提携であった。
5. 札幌市とポートランド市は、経済、環境、文化および教育の分野で共通の価値観と関心を有しており、このことが長年にわたる多くのプロジェクトや交流の実現につながり、ひいては、両市および両市市民の関係をより密接にすることに寄与した。
6. 札幌市とポートランド市は、この素晴らしい姉妹都市関係の45周年を祝うため、ここポートランド市に集い、この意義ある関係を将来に向けてさらに強固なものにするために改めて相互に努力していくことを誓う。

合意

上記をふまえ、札幌市とポートランド市は、以下の重要な姉妹都市交流促進の
交流を行うことを改めて誓う。

札幌市民およびポートランド市民が、今後も経済、教育、文化等の交
流に参加することを奨励する。

札幌姉妹都市協会およびポートランド・札幌姉妹都市協会など、姉妹
都市関係推進のための活動を行う組織を支援する。

上記の証として、札幌市長およびポートランド市長は、2004年6月11日その
名において本姉妹都市提携合意書を作成した。

上田文雄
日本国
札幌市長
上田文雄

Jim Franzen
アメリカ合衆国オレゴン州
ポートランド市長
ベック・カッツ

札幌市とポートランド市との間における 姉妹都市提携に関する合意書

日本国札幌市とアメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市とは、相互に産業、
経済、文化の交流を促るとともに両市の友好を深めることを志願し、併せて日
本国とアメリカ合衆国の親善を促進し、ひいてはこれが世界平和に貢献する所
以であることを確信し、1959年11月17日、両市は姉妹都市として提携した。
以来、経済、文化、スポーツ、教育など幅広い分野において、市民交流を基
礎とした数多くの交流が行われ、両市及び両市市民の友好関係の発展に寄与し
てきた。

札幌市とポートランド市は、姉妹都市提携45周年をここ札幌で祝うに際し、
この意義ある関係を将来に向けてさらに強固なものにするため、次の事項につ
いて合意し、その実現に努めていくことを誓うものとする。

1. 両市は、相互に産業、経済、文化の交流を図り、両市の友好を深めるとい
う姉妹都市提携の理念を引き続き具現化するため、両市の特色を生かした取り
組みに一層努めるものとする。

2. 札幌市民及びポートランド市民が、今後も幅広い分野で交流に携わること
ができるよう、両市は市民の姉妹都市交流への参加を奨励し、その裾野の拡大
を引き続き目指すものとする。

3. 特に、札幌姉妹都市協会及びポートランド・札幌姉妹都市協会に代表され
る、姉妹都市交流の推進のための組織への支援を通じて、市民交流が主体の姉
妹都市交流が促進されるよう努めるものとする。

上記の証として、札幌市長およびポートランド市長は、2005年2月7日そ
の名において本姉妹都市提携に関する合意書を作成した。

上田文雄
日本国
札幌市長
上田文雄

Gary Bahr
アメリカ合衆国オレゴン州
ポートランド市長
トム・ボッター

札幌市・ポートランド市

姉妹都市提携再調印に係る合意書

ポートランド・札幌 姉妹都市提携 再調印に係る合意書

アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市と日本国北海道札幌市は、50年にわたる産業、経済及び文化の交流を通じて築き上げられた名高く、かけがえない友情の絆をここに祝い、銘記する。両市は、アメリカ合衆国と日本国における友好と親善を、今後も促進していくことを誓う。この長い年月の貴重な協力関係と、相互に尊重する姿勢により、ポートランド市はアメリカ人が最も住みたい街に、札幌市は日本で最も魅力的な街にそれぞれ発展してきた。両市は、今後も共に協力し、学び合いながら経済的繁栄及び持続可能な社会と環境を構築するという共通の目的の実現にさらに近づくとともに、より良い世界市民が住む都市として成長していくことを確信する。2009年6月5日、姉妹都市として互いに協力していくことを、ここに改めて確認し、誓約する。

RENEWED AGREEMENT IN THE CONTINUING AND GROWING RELATIONSHIP BETWEEN THE CITY OF PORTLAND AND THE CITY OF SAPPORO

The City of Portland in the State of Oregon, the United States of America and the City of Sapporo in Hokkaido, Japan, commemorate a celebrated and treasured bond of friendship built upon fifty years of industrial, economic and cultural exchange. The two cities commit to continue promoting goodwill between the United States of America and Japan. In the process of continuing our valued tradition of collaboration and mutual appreciation, Portland has achieved acclaim as one of the United State's greatest places to live and Sapporo has developed as Japan's most attractive city as well. We believe that, by working together, we will move ever closer to realizing our shared goals of economic prosperity and social and environmental sustainability while learning about each other, which leads the cities to being better citizens of the world. We hereby renew and re-pledge to cooperate with one another as sister cities on this 5th day of June in the year 2009.



札幌市・ポートランド市「創造交流」宣言

札幌市・ポートランド市 「創造交流」宣言

1959年の姉妹都市紛議から55年、札幌市とポートランド市は、充実した交流を通じて、かけがえのない友情を築き上げるとともに、互いに多くを学び、高めあってきた。

両市は、姉妹都市の名にふさわしく多くの似た特徴を持ち、それゆえに、両市の交流は、互いの発展にも大きく寄与してきた。

今日、札幌市における芸術・文化の重要な創発拠点である「芸術の森」において、両市は新たな誓いを立てる。

まちづくりにおいて最も重要なことは、市民自治、市民の主体的なまちづくり活動である。

そして、その市民が、文化芸術の表現に代表される多様な創造性を持つことは、魅力的なまちづくりに大きく寄与し、また、それぞれの生活も充実させる。

これまで、両市は、市民の一人一人が創造性を発揮しうるまち、「創造都市」を目指し、あるいは実現してきた。

今後、両市は、互いに学びあい、協力しながら、市民の創造性を核としたまちづくりを推進し、市民が創造性を発揮しながら心豊かに生活できる創発都市として、より一層成長していくことを、ここに誓う。

2014年9月5日

上田文雄

日本国北海道
札幌市長
上田 文雄

Charlie Hales

アメリカ合衆国オレゴン州
ポートランド市長
チャーリー・ヘイルズ

Sapporo-Portland Declaration of Creative Exchange

Through the fruitful exchanges carried out between the City of Sapporo and the City of Portland over these 55 years since the founding of our sister city affiliation in 1959, our cities have built up an irreplaceable friendship while coming to learn much from each other and support one another's growth.

As is fitting of the title "sister cities", our two cities exhibit many similarities. It is because of this that exchanges between our cities have come to make great contributions to our mutual development.

Today, here at the Sapporo Art Park which serves as a central hub for culture and the arts in Sapporo, our two cities pledge to make a new commitment.

Most important to city development are the autonomy and self-driven initiative of citizens.

These citizens, possessing a colorful spectrum of creativity taking form in artistic and cultural expression, markedly contribute to the development of a more attractive city whilst fulfilling their own lifestyles.

Thus far our cities have aimed to become, and, more specifically, have achieved becoming "creative cities" which take full advantage of the creative potential of each and every citizen.

We, the City of Sapporo and the City of Portland, hereby vow to continue learning from one another and cooperating with one another in promoting city development with citizen creativity at its core, and, in harnessing this citizen creativity as creative cities in which citizens may lead enriched lives, to further the prosperous development of both our cities.

September 5, 2014

Charlie Hales

Charlie Hales
Mayor of the City of Portland,
State of Oregon,
United States of America

上田文雄

Fumio Ueda
Mayor of the City of Sapporo,
Hokkaido, Japan

姉妹提携団体一覧

No.	提携年月	札幌側団体名	ポートランド側団体名
1	1960年 4月	北海道大学交響楽団	ポートランド州立大学音楽部
2	1960年 5月	東ロータリークラブ	北ポートランドロータリークラブ
3	1960年 9月	全日本写真連盟札幌支部	オレゴンカメラクラブ
4	1961年 6月	全日本精覚流家元直門北海道支部	オレゴン料理長協会
5	1962年 1月	札幌エスベラント会	ポートランド世界理解委員会
6	1962年 4月	北海道札幌旭丘高校	ジェファーソン高校
7	1962年 12月	札幌中央ライオンズクラブ	ダウンタウンライオンズクラブ
8	1963年 10月	聖マーガレット教会	セントポール教会
9	1963年 11月	北海道札幌山の手高校	オレゴンエписコパルスクール
10	1963年 12月	札幌市医師会	マルトノーマ群医師会
11	1964年 2月	札幌市立南小学校	メリーズベル小学校
12	1964年 3月	日本キリスト教会月寒教会	第一コングリゲーション教会
13	1964年 4月	クリスチャン文書伝導団	良書と聖書普及会
14	1964年 9月	札幌婦人団体連絡協議会	ポートランド婦人団体連合会
15	1964年 10月	札幌歯科医師会	マルトノーマ群歯科医師会
16	1964年 10月	札幌市立真駒内小学校	クレストン小学校
17	1964年 10月	札幌市立琴似小学校	エインズワース小学校
18	1964年 11月	北海道札幌西高校	ウイルソン高校
19	1965年 1月	北海道札幌新川小学校	ヤングサン校
20	1965年 2月	北海道日米協会	オレゴン日米協会
21	1965年 3月	日本キリスト教会北光教会	ノースミンスター教会
22	1965年 3月	北海道札幌月寒高校	レイノルズ高校
23	1965年 4月	札幌市立幌西小学校	ジョン・ジャコブ・アスター小学校
24	1965年 4月	手稲養護学校	ホラディーセンター
25	1965年 4月	肢体不自由児総合療育センター	シュライナーズ肢体不自由児病院
26	1965年 4月	パークホテル	ベンソンホテル
27	1965年 5月	ロイヤルホテル	ポートランド・ヒルトンホテル
28	1965年 5月	北海道文教大学付属明清高校	セント・メアリーズ高校
29	1965年 5月	北星学園大学	ルイス・アンド・クラーク大学
30	1965年 10月	日本電信電話(株)札幌支店	ノースウエストベル社
31	1965年 12月	イケバナインターナショナル 札幌支部	イケバナインターナショナル ポートランド支部
32	1966年 9月	みなみ幼稚園	ホリールード校
33	1966年 9月	ホクレン農業共同組合連合会	バシフィックサブライ・コーポレイティブ
34	1966年 9月	草和会	ウィラメットアレンジャーズギルド
35	1967年 2月	札幌市立月寒小学校	レント校
36	1967年 2月	国際ビューティーサロンひぐち美容室	マクレー兄弟美容院
37	1967年 3月	日本キリスト教会札幌桑園教会	聖マルコ教会
38	1967年 6月	札幌市立柏丘中学校	ウェストシルバン校
39	1967年 6月	北海道札幌東高校	グラント高校
40	1967年 10月	札幌山岳会	クラグラッツ山岳会
41	1968年 10月	札幌青年会議所	ポートランド青年会議所
42	1969年 8月	札幌市立手稲東小学校	アラメダ小学校
43	1970年 2月	札幌市立南郷小学校	アトキンソン小学校
44	1971年 4月	札幌ゾンタクラブ	ポートランドゾンタクラブ
45	1971年 6月	札幌消費者協会	オレゴン消費者リーグ
46	1972年 1月	喫茶ウエスト	喫茶ジェードウエスト
47	1972年 2月	札幌アーチェリー協会	クイバーラトラーズアーチェリークラブ
48	1972年 2月	札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース	ポートランドゴルフクラブ
49	1972年 6月	四番街商店街	モール 205
50	1972年 12月	北海道大学	ポートランド州立大学

No.	提携年月	札幌側団体名	ポートランド側団体名
51	1972年12月	北海道YMCA	ポートランドYMCA
52	1972年12月	三ツ輪航空サービス	アズマノ・トラベル・サービス
53	1973年8月	北海道大学歯学部	オレゴン大学歯学部
54	1973年12月	嵯峨御流北海道司所	嵯峨御流北米司所
55	1975年1月	北海道札幌北陵高校	リンカーン高校
56	1975年5月	北海道テレビ放送(株)	フィッシャーズ・ブレイド局
57	1976年4月	日本アマチュア無線連盟北海道事務局	ポートランドアマチュア無線クラブ
58	1976年7月	山本建築設計事務所	ラッド・ヨドガワ・マッカートン建築会社
59	1976年12月	札幌市立新川中央小学校	チーフ・ジョゼフ校
60	1977年1月	北海道札幌工業高校	ベンソン工業高校
61	1977年5月	北海道放送(株)	KGW AM-TV
62	1977年10月	天政	ブッシュガーデン
63	1978年4月	若菜会	みやび会
64	1979年8月	円山動物園	ワシントン・パーク動物園
65	1979年8月	北区連合町内運営協議会	北ポートランド近隣協会
66	1979年11月	札幌三信倉庫	ルディ・ウィルヘルム倉庫
67	1979年11月	ニューフラワー美容室・クニ美容室	ゲリーラッキー美容室
68	1981年8月	札幌草月会	ポートランド草月会
69	1982年6月	国際ソロプチミスト	国際ソロプチミスト・ポートランド
70	1982年6月	ガールスカウト北海道支部	コロンビア・リバー・ガールスカウト
71	1982年6月	札幌市立向陵中学校	バーモント中学校
72	1982年6月	札幌市立もみじ台南中学校	マーカム中学校(現:ジャクソン中学校)
73	1982年6月	札幌市立手稲東中学校	ファーンウッド中学校
74	1983年6月	札幌市立澄川南小学校	キャピタルヒル校
75	1983年8月	札幌市立北九条小学校	バーノン小学校
76	1983年8月	札幌市立篠路中学校	ウィンタカー中学校
77	1984年9月	北海道札幌丘珠高校	マーシャル高校
78	1984年9月	札幌花き地方卸売市場	オレゴン花き生産者協会
79	1984年11月	清田・北野地区町内会連合会	ウエスト・ノースウエスト近隣協会
80	1984年11月	札幌いづみ幼稚園	ヘイハースト小学校付属幼稚園
81	1985年6月	市立札幌病院	グッド・サマリタン・ホスピタル
82	1985年6月	石王写真産業(株)	サンデーズカメラストア
83	1985年6月	エフエム北海道	KMJ K 107 FM
84	1985年6月	北海道デザイナー専門学校	オレゴン・スクール・オブ・アート・アンド・クラフト
85	1985年8月	札幌市立札幌中学校	マウント・テーパー校
86	1986年12月	白石区ふるさと会	サウス・イースト・アップリフト・ネイバーフッド・プログラム
87	1986年12月	札幌市立厚別西小学校	ジョン・ウェットン小学校
88	1987年1月	日本ボーイスカウト札幌地区	コロンビアパシフィック連盟
89	1987年2月	琴似ルーテル教会	聖ジェームズルーテル教会
90	1988年8月	札幌市立西岡中学校	ハリエット・タブマン中学校
91	1988年9月	札幌市立北の沢小学校	ウィリアム・ナイト小学校
92	1989年6月	真駒内ロータリークラブ	東ポートランドロータリークラブ
93	1991年1月	(株) 濱建	スナイダー・ルーフィング・カンパニー
94	1991年6月	札幌まるやまライオンズクラブ	ベンサム・ライオンズクラブ
95	1991年7月	札幌市立白楊小学校	スイットン小学校
96	1992年5月	北海道札幌開成高校	クリーブランド高校
97	1992年10月	北海道新聞社	オレゴニアン社
98	1994年8月	北海道電力	ポートランド電力
99	2005年11月1日	北海道札幌山の手高校	セントラルハイスクール
100	2009年11月1日	札幌市立宮の森小学校	リッチモンド小学校
101	2015年7月	北海道情報大学	ポートランド州立大学

※ 団体名は、いずれも提携当時のものである。

主な姉妹都市関係寄贈品及び施設

2019年の提携60周年を記念して、ポートランド市から札幌市へは雨水浸透型花壇、ピースランタンが贈られ、札幌市からは30周年時に札幌市が寄贈した梵鐘の移設に伴うリニューアルに併せ、当該梵鐘を説明するサイネージをポートランドへ寄贈しました。また、昭和41年にポートランドから寄贈され大通公園に設置されているベンソンの水飲みも、60周年を記念し、リニューアルしました。

○ 60周年に交換した記念品



・ 雨水浸透型花壇

ポートランドで導入されている雨水を貯水し地下水脈に流す機能を持った花壇で円山公園の一角に造成された



・ ピースランタン（平和燈籠）

ポートランド日本庭園に設置されている燈籠のレプリカで、中島公園内の日本庭園に設置された



・ 提携30周年を記念して札幌市がポートランド市に寄贈した梵鐘とサイネージ

○ その他の記念品



・ベンソンの水飲み

ポートランド市内各所に置かれている水飲みのレプリカで、大通公園西2丁目に設置された。60周年時に改修された



・石灯ろう

元小樽区長である金子元三郎氏の旧邸から譲り受けた御影石造りの五重石灯ろうで、昭和38年に札幌市がポートランド市に寄贈した



・ポートランド広場（幌平橋歩道橋部）

提携35周年を記念して名付けられた国際広場。ポートランドを紹介する情報板や、同市から寄贈された金属彫刻「サーモンリバー」（リー・ケリー作）を設置



・音を奏でる彫刻

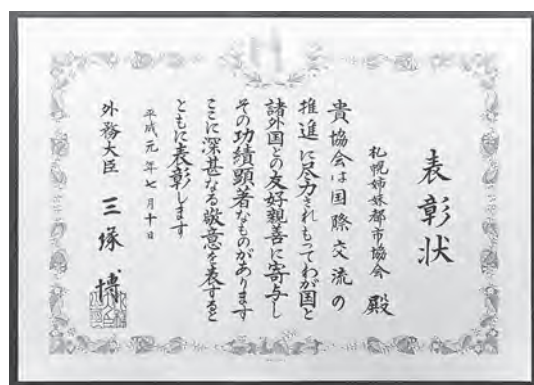
札幌市の寄付金により、ポートランド在住の彫刻家が制作した、風が吹くと音が出る彫刻

○ 主な姉妹都市関係寄贈品及び施設一覧

札幌→ポートランド			ポートランド→札幌		
寄贈年	品名	施設・展示場所	寄贈年	品名	施設・展示場所
1963・1977年 (昭和38・52年)	ライラック苗木		1959年・1962年 1963年・1971年	バラの株	中島公園(百花園)
1963年 (昭和38年)	石灯ろう	ワシントン公園内 日本庭園	1960年 (昭和35年)	オレゴン松苗木	植物園
1968年 (昭和43年)	オジロワシ (1羽)	ワシントン公園動物園	1966年 (昭和41年)	児童遊具 (20点)	中島公園(公園入口) 大通公園(7丁目)
1969年 (昭和44年)	ポートランドの森 (姉妹提携10周年記念)	旭山記念公園植樹	1966年 (昭和41年)	ベンソンの水飲み	大通公園(2丁目)
1971・1974年 (昭和46・49年)	エゾタヌキ (2頭)	ワシントン公園動物園	1973~1974年 (昭和48・49年)	ビーバー(1対)	円山動物園
1988年 (平成元年)	梵鐘 彫刻 (姉妹提携30周年記念)	オレゴン・コンベンションセンター トム・マッコール・ウォーターフロントパーク	1979年 (昭和54年)	アメリカ黒熊(2頭) (姉妹提携20周年記念)	円山動物園
1994年 (平成6年)	ポートランド広場の設置 (姉妹提携35周年記念)	幌平橋の歩道橋スペース	1984年 (昭和59年)	ネイティブアメリカンの陶製仮面 (姉妹提携25周年記念)	
2009年 (平成21年)	サクラ (姉妹提携50周年記念)	ワシントン公園内 日本庭園	1988年 (平成元年)	ログハウス・バシリオン女神像 ポータラント(姉妹提携30周年記念)	札幌芸術の森
2019年 (令和元年)	サイネージ (姉妹提携60周年記念)	オレゴン・コンベンションセンター	1994年 (平成6年)	彫刻 (姉妹提携35周年記念)	幌平橋のポートランド・ スクエア(設置は翌年)
			2009年 (平成21年)	アメリカヤマボウシ (姉妹提携50周年記念)	中島公園(豊平館前)
			2019年 (令和元年)	雨水浸透型花壇ピースランタン(平 和の燈籠)(姉妹提携60周年記念)	円山公園 中島公園(日本庭園)

姉妹都市活動受賞一覧

受賞年	賞 名	
1963年 (昭和38年)	世界姉妹都市コンテスト	「都市の部」努力賞
1966年 (昭和41年)	世界姉妹都市コンテスト	「都市の部」最優秀賞
1967年 (昭和42年)	世界姉妹都市コンテスト	「都市の部」最優秀賞
1968年 (昭和43年)	世界姉妹都市コンテスト	「都市の部」最優秀賞
1969年 (昭和44年)	世界姉妹都市コンテスト	「都市の部」努力賞
1970年 (昭和45年)	世界姉妹都市コンテスト	「団体の部」最優秀賞 北海道大学～ポートランド州立大学
1971年 (昭和46年)	世界姉妹都市コンテスト	国際姉妹都市賞
1972年 (昭和47年)	世界姉妹都市コンテスト	最優秀企画賞
1974年 (昭和49年)	世界姉妹都市コンテスト	「ビジネス・プロフェッショナル交換部門」、「教育交流部門」で最優秀賞
1983年 (昭和58年)	世界姉妹都市コンテスト	青少年プログラム優秀賞
1988年 (昭和63年)	世界姉妹都市コンテスト	「特別業績賞」受賞
1989年 (平成元年)	姉妹都市交流への功績を認められ、札幌姉妹都市協会が日本国外務大臣賞を受賞	
2004年 (平成16年)	日米交流の増進への顕著な功績が認められ、ポートランド・札幌姉妹都市協会が、日米交流150周年記念外務大臣表彰を受賞	



札幌姉妹都市協会に贈られた外務大臣からの表彰状

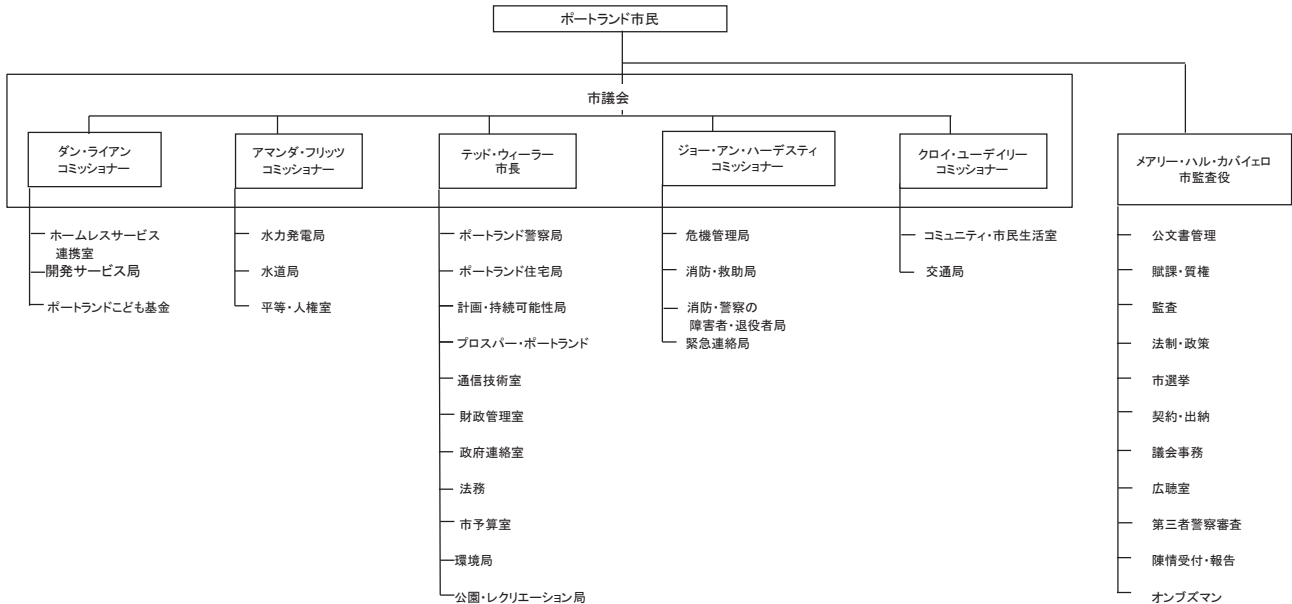


故板垣市長に贈られた国際姉妹都市協会からの表彰状

歴代ポートランド市長・ポートランド市機構図

○ ポートランド市機構図

2020年11月現在



○ 歴代ポートランド市長（姉妹都市提携以降）

市長名	在職期間
テリー D. シュランク	1957年（昭和32年）1月～1973年（昭和48年）1月
ニール・ゴールドシュミット	1973年（昭和48年）1月～1979年（昭和54年）8月
コニー・マックレディ	1979年（昭和54年）9月～1981年（昭和56年）1月
フランシス J. アイバンシー	1981年（昭和56年）1月～1985年（昭和60年）1月
J.E. バッド・クラーク	1985年（昭和60年）1月～1993年（平成5年）12月
ベラ・カツ	1994年（平成6年）1月～2004年（平成16年）12月
トム・ポッター	2005年（平成17年）1月～2008年（平成20年）12月
サム・アダムス	2009年（平成21年）1月～2012年（平成24年）12月
チャーリー・ヘイルズ	2013年（平成25年）1月～2016年（平成28年）12月
テッド・ウィーラー	2017年（平成29年）1月～

札幌・ポートランド姉妹都市提携 60 年のあゆみ

発行年月／ 令和 2 年（2020 年）12 月

発 行／ 札幌市総務局国際部交流課
札幌市中央区北 1 条西 2 丁目
TEL：(011) 211-2032

制作協力／ 公益財団法人札幌国際プラザ

本文中の肩書、名称等は、特に記載が無い限り、発行日時点のものとなります。



Portland



Sapporo



札幌・ポートランド
姉妹都市提携60年のあゆみ

1959 - 2019



さっぽろ市
01-A04-20-2087
R2-1-168